

教 育 要 覧

令和7年度

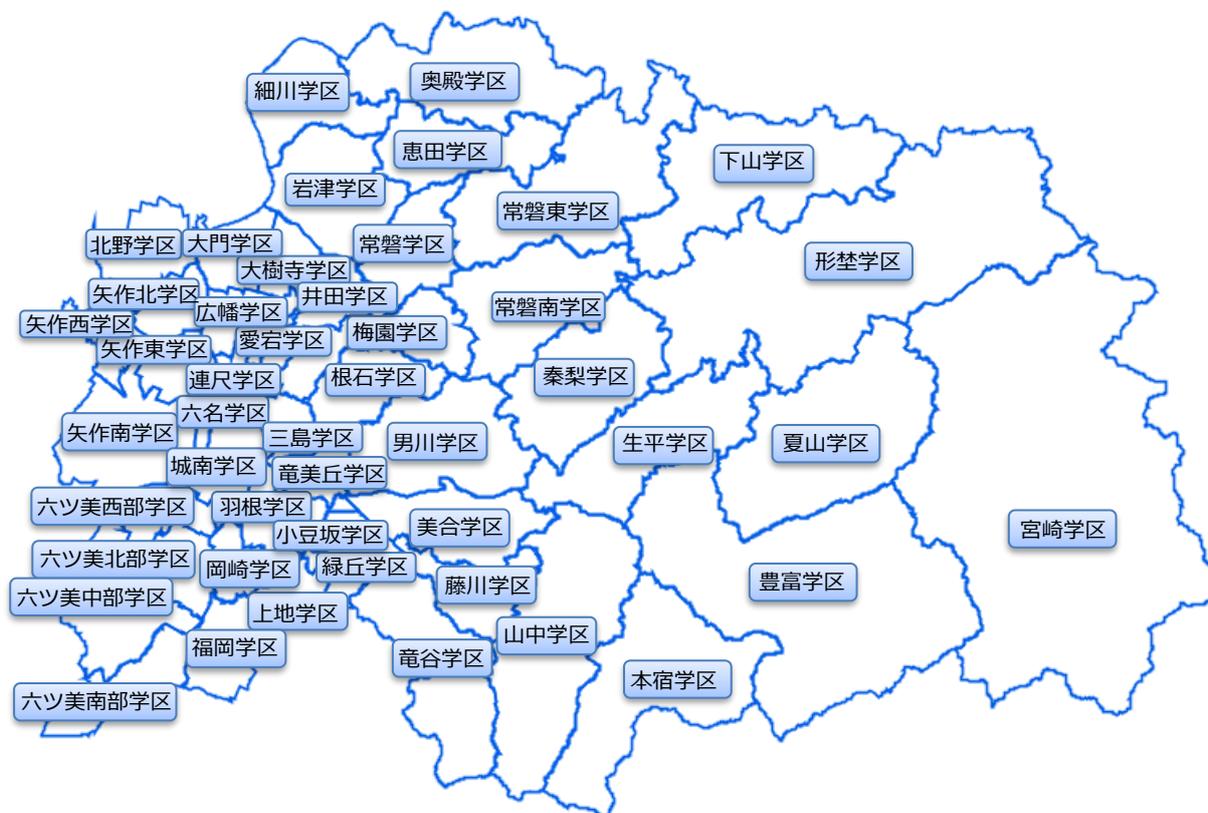
岡崎市教育委員会

I	総説	1	2	家庭教育事業	74	
	第1	市勢の概要	2	第2	社会教育施設等	77
		1	隣接町村合併沿革	1	市民センター	77
		2	人口及び世帯数の推移	2	視聴覚ライブラリー	78
	第2	教育委員会	6	3	図書館交流プラザ	81
		1	教育長・教育委員	4	中央図書館	83
		2	令和6年度教育委員会	5	美術館	90
	第3	教育行財政	9	6	美術博物館	91
		1	令和7年度教育費予算	7	少年自然の家	92
		2	令和5年度教育費歳出決算	8	子ども・若者総合相談センター	93
		3	岡崎市学校教育等推進計画	第3	文化財	96
		4	行政組織図	1	文化財保護	96
		5	職員配置状況	2	旧本多忠次邸	99
		6	事務局・教育機関の事務分掌	第4	社会体育	101
		7	事務の補助執行	1	体育振興	101
II	学校教育	19		2	公益財団法人岡崎市スポーツ協会	104
	1	学校教育の視点	20	IV	資料	108
	2	令和7年度研究発表会・授業公開	21	第1	教育委員会関係	109
	3	時代の要請に応える教育	22	1	歴代教育委員会委員	109
	4	特色ある教育活動・取組	23	2	歴代教育委員会委員長	111
	5	ICT教育	25	3	歴代教育長	112
	6	国際理解教育	30	第2	学校関係	114
	7	特別支援教育	32	1	市内学校数	114
	8	教職員の研修	33	2	進路別卒業生数の推移	114
	9	教育委員会特別委員会	42	3	児童・生徒定期健康診断	115
	10	学校評価(学校経営評価)	44	4	学校事故	117
	11	開かれた学校づくり	45	5	学校保健	119
	12	いじめ・長期欠席対策	47	6	学校施設	120
	13	危機管理対策	50	7	市立小学校概要	121
	14	就学・奨学制度	54	8	市立中学校概要	125
	15	全市的行事	56	9	児童生徒数一覧	127
	16	教育関係表彰	60	10	市立小中学校以外の学校等	129
	17	総合学習センター	61	第3	体育施設	131
	18	教育相談センター	64	1	市内体育施設	131
	19	学校給食	66	2	利用状況	135
III	生涯学習	69				
	第1	生涯学習	70			
		1	生涯学習事業			

I 総説

- 第1 市勢の概要
- 第2 教育委員会
- 第3 教育行財政

第1 市勢の概要



○市制施行 大正5年7月1日

○市役所の位置 岡崎市十王町二丁目9番地

○親善都市 沖縄県石垣市 昭和44年2月19日提携
広島県福山市 昭和46年11月9日提携

○姉妹都市 スウェーデン・ウツデバラ市 昭和43年9月17日提携
米国・ニューポートビーチ市 昭和59年11月27日提携

○友好都市 中国・呼和浩特市 昭和62年8月10日提携

○ゆかりのまち 長野県佐久市、神奈川県茅ヶ崎市、岐阜県関ヶ原町
昭和58年7月1日提携

○観光交流都市 石川県金沢市 平成19年10月18日提携

○市章

岡崎市の市章は、外まわりに竜の爪が宝珠をつかんだ形を配し、その中は岡崎の「岡」の漢字を図案化したもので、岡崎城の故事を取り入れてこの形になったとされている。



○市の花 ふじ（昭和45年6月2日選定）

岡崎公園の西南部、菅生川を望む藤棚に見られるフジの古株「五万石藤」が有名である。昭和38年には市の天然記念物に指定。かつて城の入口付近にあったものを今の場所に移したもので、古くから五万石藤の名で市民に親しまれている。



○市の花 さくら（平成28年7月1日選定）

岡崎城を背景に咲き誇る桜は、本市のシンボルであり、毎年、市内外から多くのかたが訪れ、東海地方随一と言われる夜桜とともに、市民の誇りとなっている。市制施行100周年を機に、市の花として追加された。



○市の鳥 ハクセキレイ（昭和50年3月27日選定）

生活圏が主に水辺で清流のまち岡崎のイメージに合い、矢作川や乙川などの水辺でよく姿を見ることができるところから選ばれた。



○市の木 みかわくろまつ（昭和46年12月21日選定）

市民の投票によって決定しました。西三河には古くから、盆栽、庭木として優れたクロマツが多いことから、岡崎で見られるものを「みかわくろまつ」と称賛してつけられた。



○市歌

岡崎市歌

北原白秋 作詞
山田耕筲 作曲

1 雲にかがやく 竜城の
青葉の嵐 仰ぎ見よ
国に築きし 先傑の
勲は高し この力
奮えよ我等 後永く
堅実の地歩 日に継がん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

2 名にしゆたけき 天恵の
矢作の流 まさに見よ
土は肥えたり 西三河
眺は広し この平野
奮えよ我等 明らけく
営々の業 世に布かん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

3 煙にぎわう 新興の
時代の勢 ここに見よ
音にきこゆる 産業の
誉は高し この栄
奮えよ我等 眉わかく
躍進の都市 いまどよむ
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

1 隣接町村合併沿革

年 月 日	編 入 町 村	編入面積	総面積
明治 22 年 10 月 1 日	町制施行 (30 町村合併)	4.07km ²	4.07km ²
明治 35 年 9 月 23 日	男川村の一部 (大字欠) 合併	1.45km ²	5.52km ²
明治 39 年 5 月 1 日	三島村、乙見村の一部 (大字稲熊、大字小呂) 合併	9.87km ²	15.39km ²
大正 3 年 10 月 1 日	広幡町合併	4.29km ²	19.68km ²
大正 5 年 7 月 1 日	市制施行		
昭和 3 年 9 月 1 日	岡崎村、美合村、男川村、常磐村の一部 (大字箱柳) 合併	31.16km ²	50.84km ²
昭和 30 年 2 月 1 日	岩津町、福岡町、本宿村、山中村、藤川村、竜谷村、河合村、常磐村合併	139.31km ²	190.15km ²
昭和 30 年 4 月 1 日	矢作町合併	22.70km ²	212.85km ²
昭和 35 年 1 月 1 日	旧矢作町の一部 (河野村、宇頭茶屋町、尾崎町、柿崎町、橋目町の一部) 安城市へ編入	△3.12km ²	209.73km ²
昭和 37 年 10 月 15 日	六ツ美町合併	17.32km ²	227.05km ²
平成元年 11 月 10 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		226.97km ²
平成 18 年 1 月 1 日	額田町合併	160.27km ²	387.24km ²
平成 26 年 10 月 1 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		387.20km ²

2 人口及び世帯数の推移

(各年4月1日現在)

年 度	総 数	男	女	世帯数	備 考
大正5年	34,895人	16,485人	18,410人	7,687世帯	7月市制施行
昭和3年	51,700人	25,292人	26,408人	11,825世帯	9月岡崎村他3村合併
10	71,623人	34,196人	37,427人	15,961世帯	
20	97,686人	48,105人	49,581人	20,507世帯	
30	143,575人	68,812人	74,763人	28,634世帯	2月岩津町他7町合併、4月矢作町合併
35	165,453人	79,560人	85,893人	34,566世帯	1月安城市に一部境界変更
37	172,069人	83,557人	88,512人	36,998世帯	10月六ツ美町合併
40	193,559人	94,475人	99,084人	43,075世帯	
50	231,083人	114,186人	116,897人	67,279世帯	
60	281,914人	139,614人	142,300人	83,656世帯	
平成元年	299,628人	149,115人	150,513人	92,504世帯	
10	331,779人	166,249人	165,530人	113,883世帯	
15	348,049人	174,949人	173,100人	126,753世帯	4月中核市に移行
18	367,850人	185,452人	182,398人	138,706世帯	1月額田町合併
20	375,067人	189,605人	185,462人	145,040世帯	
24	378,217人	190,834人	187,383人	149,932世帯	
25	378,249人	190,879人	187,370人	149,060世帯	
26	379,264人	191,515人	187,749人	150,968世帯	
27	380,764人	192,372人	188,392人	152,849世帯	
28	383,493人	194,150人	189,343人	155,905世帯	
29	384,950人	195,001人	189,949人	157,966世帯	
30	386,943人	196,261人	190,682人	160,783世帯	
31	387,887人	196,813人	191,074人	163,104世帯	
令和2年	387,106人	196,578人	190,528人	164,390世帯	
3	385,823人	195,816人	190,007人	165,775世帯	
4	384,996人	195,197人	189,799人	166,994世帯	
5	383,789人	194,477人	189,312人	168,543世帯	
6	383,141人	194,085人	189,056人	170,248世帯	
7	381,638人	193,275人	188,363人	171,844世帯	

第2 教育委員会

1 教育長・教育委員



職 名 教 育 長
氏 名 安 藤 直 哉
教育長就任年月日 令和7年4月1日（4期目）



職 名 委 員・教育長職務代理者
氏 名 上 原 三 十 三
教育長職務代理者
就 任 年 月 日 令和7年4月1日
委員就任年月日 令和4年10月1日（2期目）



職 名 委 員
氏 名 小 森 保 生
委員就任年月日 令和5年10月1日（1期目）



職 名 委 員
氏 名 田 口 千 代
委員就任年月日 令和6年11月17日（1期目）



職 名 委 員
氏 名 千 野 智 子
委員就任年月日 令和3年10月1日（1期目）

2 令和6年度教育委員会の開催状況

開催日	議 案 等 件 名
令和6年4月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 3 岡崎市美術博物館協議会委員の委嘱について 4 岡崎市社会教育委員の委嘱について 5 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会委員の任命について
令和6年5月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 令和5年度岡崎市一般会計継続費繰越計算書について 3 令和5年度岡崎市一般会計繰越明許費繰越計算書について 4 公益財団法人岡崎市学校給食協会の経営状況について 5 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和6年6月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 2 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 3 岡崎市社会教育委員の委嘱について 4 岡崎市小規模特認校の指定について 5 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて
令和6年7月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 2 岡崎市学校給食センター運営委員の委嘱について 3 工事請負の契約の変更の専決処分について (岡崎市立岡崎小学校中棟大規模改修工事) 4 工事請負の契約の変更の専決処分について (岡崎市立甲山中学校南棟大規模改修工事) 5 工事請負の契約の変更の専決処分について (岡崎市立大樹寺小学校中棟大規模改修工事) 6 教科用図書の採択について 7 教科用図書採択地区について
令和6年8月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和6年9月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1 岡崎市スポーツ推進委員の辞任の承認について 2 令和7年度キッズデイズの日程について 3 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について 4 訴えの提起に関する専決処分について 5 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について

I 総 説
第 2 教育委員会

開催日	議 案 等 件 名
令和 6 年 10 月 17 日	1 令和 7 年度教職員定期人事異動方針について
令和 6 年 11 月 14 日	1 和解及び損害賠償の額を定める専決処分について 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和 6 年 12 月 19 日	1 和解に関する専決処分について 2 岡崎市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について 3 令和 7 年度採用以降の市任期付教員の段階的な拡充について 4 令和 7 年度小中学校入学式等儀式の実施日について
令和 7 年 2 月 13 日	1 教育に関する事務の点検・評価について 2 岡崎市視聴覚ライブラリー管理規則の一部改正について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 4 校長等の定期人事異動の内申について
令和 7 年 3 月 25 日	1 岡崎城跡整備委員会委員の委嘱について 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について 3 岡崎市指定文化財の指定について 4 岡崎市教育委員会職員の職名及び補職名規則の一部改正について 5 教育委員会事務局及び教育機関職員の定期人事異動について

〈教育委員会会議〉



第3 教育行財政

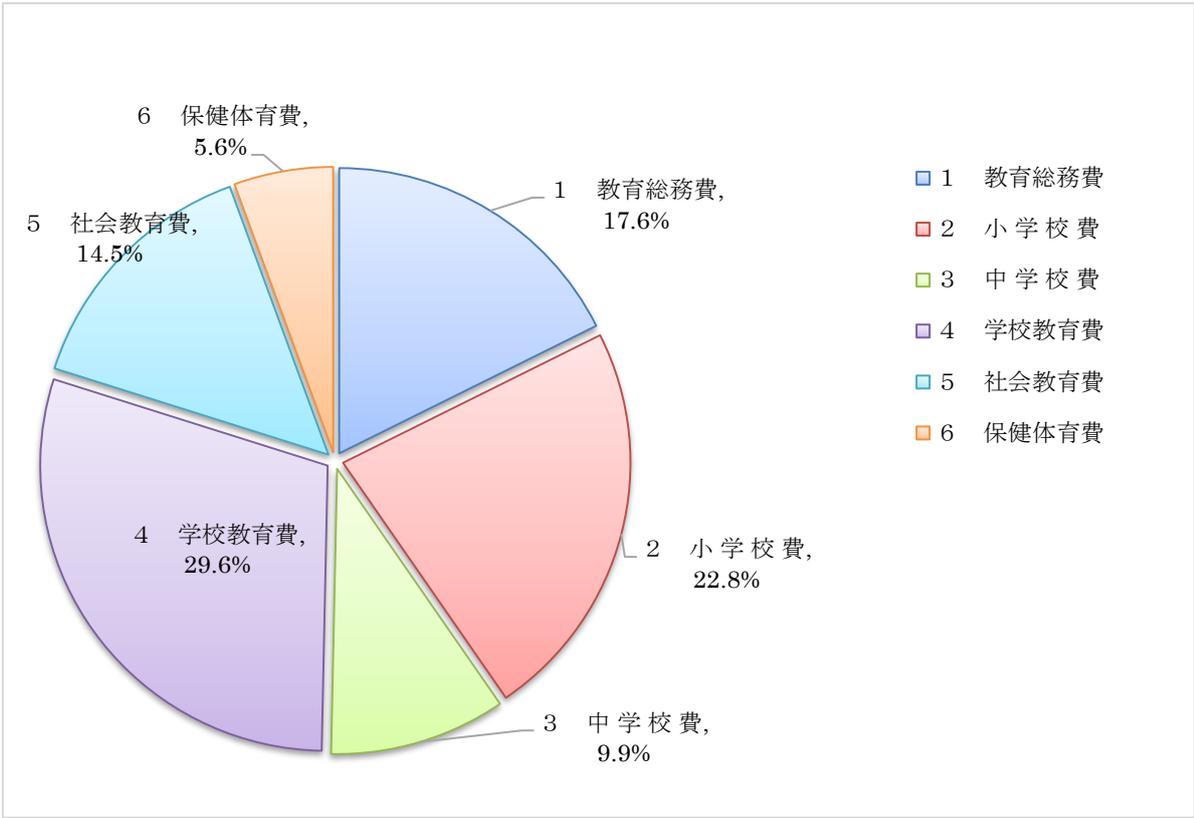
1 令和7年度教育費予算

(千円)

	7年度	6年度	増減	対前年比
1 教育総務費	2,703,137	2,650,784	52,353	102.0%
1 教育委員会費	4,073	3,981	92	102.3%
2 事務局費	1,113,279	1,095,977	17,302	101.6%
3 私立学校振興費	1,585,785	1,550,826	34,959	102.3%
2 小学校費	1,759,971	1,799,193	△ 39,222	97.8%
1 学校管理費	1,537,835	1,583,620	△ 45,785	97.1%
2 教育振興費	221,163	209,969	11,194	105.3%
3 学校建設費	973	5,604	△ 4,631	17.4%
3 中学校費	1,071,879	1,534,823	△ 462,944	69.8%
1 学校管理費	848,581	1,320,759	△ 472,178	64.2%
2 教育振興費	223,298	214,064	9,234	104.3%
4 学校教育費	5,547,446	7,956,191	△ 2,408,745	69.7%
1 教育指導費	1,563,714	1,144,836	418,878	136.6%
2 学校保健費	220,952	225,177	△ 4,225	98.1%
3 学校体育費	131,317	93,510	37,807	140.4%
4 学校給食センター費	3,535,934	6,396,652	△ 2,860,718	55.3%
5 教育研究費	95,529	96,016	△ 487	99.5%
5 社会教育費	3,973,245	2,460,521	1,512,724	161.5%
1 社会教育総務費	13,412	15,740	△ 2,328	85.2%
2 青少年費	45,252	51,931	△ 6,679	87.1%
3 文化振興費	33,846	39,299	△ 5,453	86.1%
4 文化財保護費	94,865	178,963	△ 84,098	53.0%
5 図書館費	554,597	561,417	△ 6,820	98.8%
6 美術館費	64,700	63,025	1,675	102.7%
7 美術博物館費	1,799,320	527,042	1,272,278	341.4%
8 視聴覚ライブラリー費	32,730	39,818	△ 7,088	82.2%
9 市民センター費	188,146	178,971	9,175	105.1%
10 少年自然の家費	54,439	53,768	671	101.2%
11 地域文化広場費	538,832	226,271	312,561	238.1%
12 図書館交流プラザ費	553,106	524,276	28,830	105.5%
6 保健体育費	792,014	853,971	△ 61,957	92.7%
1 社会体育費	688,902	753,749	△ 64,847	91.4%
2 体育館費	64,032	64,426	△ 394	99.4%
3 地区体育館費	39,080	35,796	3,284	109.2%
合 計	15,847,692	17,255,483	△ 1,407,791	91.8%

2 令和5年度教育費歳出決算

項	決算額(千円)	構成比
1 教育総務費	2,685,418	17.6%
2 小学校費	3,465,047	22.8%
3 中学校費	1,512,239	9.9%
4 学校教育費	4,505,151	29.6%
5 社会教育費	2,213,933	14.5%
6 保健体育費	850,008	5.6%
合計	15,231,796	100.0%



3 岡崎市学校教育等推進計画

《計画の位置付け》

本計画は、第7次岡崎市総合計画の教育分野のうち学校教育、社会教育に関して、今後の方針とその実現のために必要な施策を明らかにするものとして位置づけている。また、教育基本法第17条第2項に基づき策定する本市の教育振興基本計画として位置付けられる5つの計画のうちの一つである。

《計画の期間》

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間

《基本理念》

「未来を拓き 豊かに生きる力をもった子どもの育成」
～自立・共生・創造を目指して～

《基本目標》

基本理念の実現に向け、学校教育分野で5つ、社会教育分野で1つの基本目標を定めている。

【学校教育分野】

- ◆未来を生きる素質・能力を育成する魅力ある教育を推進する。
- ◆子どもの多様性や特性を認め、可能性を伸ばす教育を推進する。
- ◆岡崎の人・もの・ことを生かした特色ある教育を推進する。
- ◆教職員が生き生きと働くことができる働き方改革を推進する。
- ◆持続発展可能な教育を実現する学校教育環境を整備する。

【社会教育分野】

- ◆家庭、地域、学校との連携・協議を推進する。

《重点的に取り組む事項》

基本目標の実現に向けて、様々な施策を展開する中で、次の6つの視点から特に今後5年間で重点的に取り組むべきことを重点事項として位置付けている。

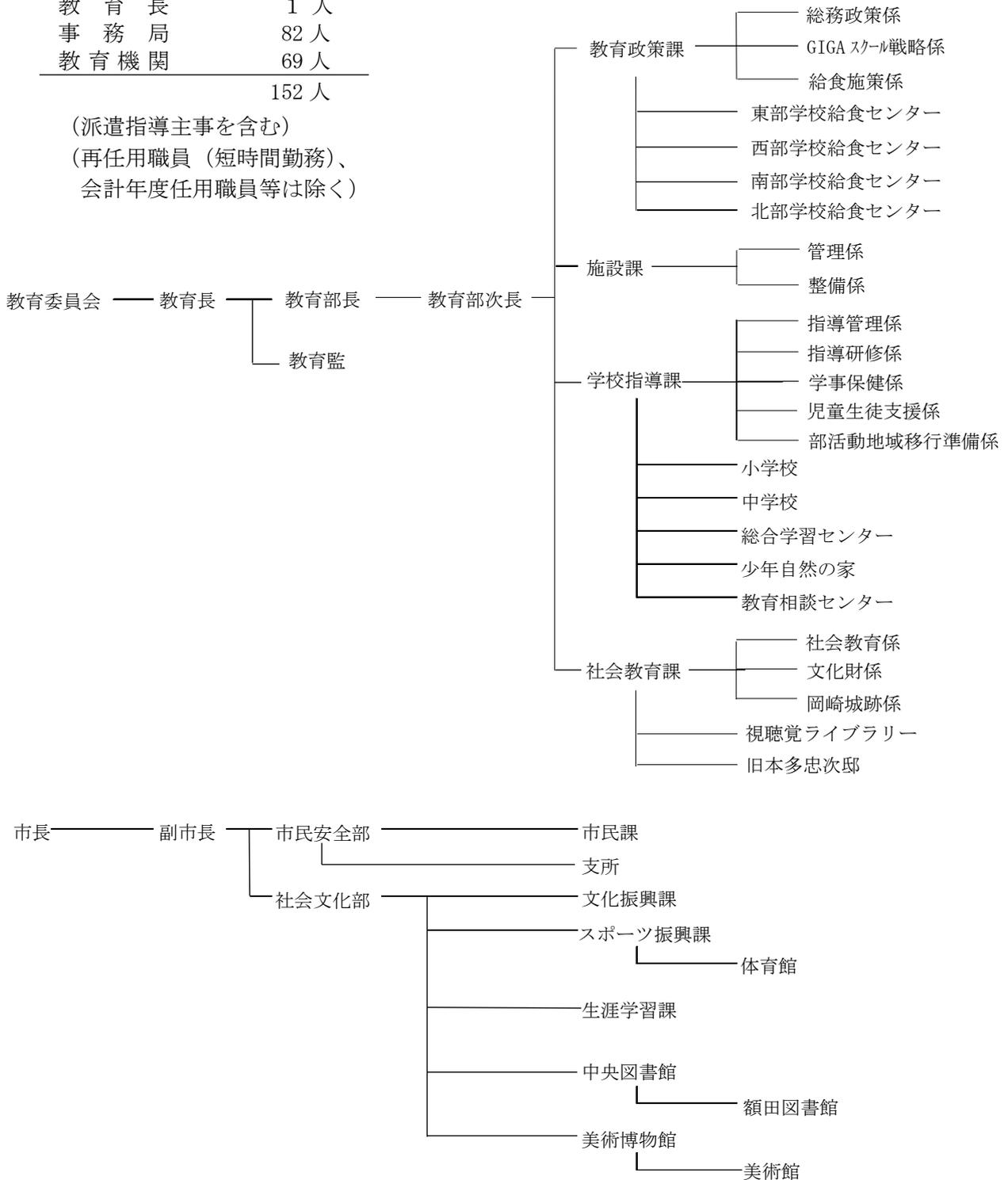
- 1 学び方改革の推進
- 2 子どもの可能性を伸ばす教育の推進
- 3 教育の情報化の推進
- 4 教職員の働き方改革の推進と教職員の育成
- 5 学校施設等の効率的な整備と有効活用
- 6 学校と地域の連携・協働の推進

4 行政組織図

(職員の数) 令和7年4月1日現在

教育長	1人
事務局	82人
教育機関	69人
	152人

(派遣指導主事を含む)
(再任用職員(短時間勤務)、
会計年度任用職員等は除く)



※市長部局については、補助執行に係る部分についてのみ記載

5 職員配置状況

(令和7年4月1日現在)

区 分	行 政 職 員				教育 職員	技能業務 職員	合 計
	部長等	課長等	事務職員 技術職員	専門主事			
事 務 局	2						2
教育政策課		1	13	2		1	17
施 設 課		1	13			8	22
学校指導課		1	9	18			28
社会教育課		1	12				13
小・中学校					14	43	57
学校給食センター		1	1				2
総合学習センター		1	1				2
教育相談センター		1		1			2
少年自然の家			1			2	3
視聴覚ライブラリー			1	1			2
旧本多忠次邸						1	1
合計	2	7	51	22	14	55	151

※ 教育長を除く

6 事務局・教育機関の事務分掌

■事務局

課 名 等	事 務 分 掌
教育政策課	(1) 統合計画、予算及び行政改革に係る事務局内の調整に関する こと。 (2) 教育委員会の会議の庶務を処理すること。 (3) 教育委員会規則その他公表を要する規程を公布すること。 (4) 組織を計画すること。 (5) 文書を收受し、発送し、及び完結文書を整理保存すること。 (6) 公印を管守すること。 (7) 職員の任免、分限、懲戒及び表彰をすること。 (8) 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件を決定すること。 (9) 公務災害補償の事務を処理すること。 (10) 奨学資金に関する事務を処理すること。 (11) 教育行政に関する相談に関すること。 (12) 学校（市立の小学校及び中学校をいう。以下同じ。）の施設の 設置、変更及び廃止の手続をすること。 (13) 学校災害に係る補償等の事務を処理すること。 (14) 西三河地方教育事務協議会と連絡すること。 (15) 岡崎市いじめ問題対策委員会の庶務を処理すること。 (16) 学校の情報システムに関する企画及び調達をすること。 (17) 教育ネットワークの管理及び運用をすること。 (18) 学校の情報セキュリティに関すること。 (19) 学校給食について指導し、及び助言を与えること。 (20) 学校給食センターの整備を計画すること。 (21) 岡崎市学校給食センター運営委員会の庶務を処理すること。 (22) 学校給食センターと連絡すること。 (23) 他の課の所管に属さない事務を処理すること。
施 設 課	(1) 学校その他教育機関の施設の用に供する土地の取得に関する こと。 (2) 学校の施設の保守管理及び修繕に関すること。 (3) 学校の用に供する教育財産（運動場の夜間照明設備を除く。）の 目的外使用を許可すること。 (4) 学校の施設及び設備の整備を計画し、及び工事を施行すること。 (5) 学校の施設及び設備に関する国庫補助金及び県費補助金に関 する事務を処理すること。 (6) 教育機関の施設の整備等に関する技術的調整をすること。

課 名 等	事 務 分 掌
<p>学校指導課</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学校教育について指導し、及び助言を与えること。 (2) 学校事務及びその共同実施について指導し、及び助言を与えること。 (3) 県費負担教職員の人事及び給与について内申すること。 (4) 県費負担教職員のサービスを監督し、及び勤務成績の評定に係る事務を処理すること。 (5) 教科書その他教材の取扱いに関する事務を処理すること。 (6) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会の庶務を処理すること。 (7) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒及び児童の入学、転学及び退学の手続をすること。 (8) 通学区域を設定し、廃止し、及び変更すること。 (9) 就学援助に係る事務を処理すること。 (10) 学校保健について指導し、及び助言を与えること。 (11) 学校の環境衛生に関する事務を処理すること。 (12) 岡崎市立学校衛生委員会の庶務を処理すること。 (13) 就学児童の健康診断に係る事務を処理すること。 (14) 学校医等に関すること。 (15) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに係る事務を処理すること。 (16) 学校、岡崎市総合学習センター、岡崎市少年自然の家及び岡崎市教育相談センターと連絡すること。
<p>社会教育課</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 社会教育に関する事業を計画し、及び実施すること。 (2) 社会教育に係る指導者を養成すること。 (3) 青少年に関する事務を処理すること。 (4) 文化財の保護及び活用に関すること。 (5) 文化財の調査及び研究に関すること。 (6) 文化財に関する講習会、講演会その他の催しを主催すること。 (7) 岡崎市視聴覚ライブラリー及び岡崎市旧本多忠次邸と連絡すること。 (8) 岡崎市社会教育審議会、岡崎市文化財保護審議会、岡崎市文化財保存活用地域計画協議会及び岡崎城跡整備委員会の庶務を処理すること。

■主な教育機関

課 名 等	事 務 分 掌
学校給食センター	小学校及び中学校の児童及び生徒に対し学校給食を実施する事業を行う。
総合学習センター	(1) 教育に関する専門的及び技術的な事項の調査研究を行うこと。 (2) 教育関係職員の研修を実施すること。 (3) 教育に関する情報及び資料の収集及び提供に関すること。 (4) 地域住民等の生涯学習活動のために施設を利用に供すること。
少年自然の家	(1) 少年の自然探究その他自然に親しむ諸活動の指導及び助言をすること。 (2) 少年の集団宿泊訓練及び助言すること。 (3) 少年団体の指導者の養成及びその資質の向上のため、講習会、研修会等を開催すること。 (4) 前各号に掲げるもののほか、少年自然の家の設置の目的を達成すること。
教育相談センター	(1) 教育相談を行うこと。 (2) 教育相談に関する調査及び研究並びに情報の収集及び提供を行うこと。 (3) 不登校の児童及び生徒に対する適応指導教室を実施すること。
視聴覚ライブラリー	(1) 視聴覚教育に関する器材及び資料を収集し、及び利用に供すること。 (2) 視聴覚教育に関する講習会、研究会等を開催すること。 (3) 視聴覚教育の向上及び普及に関し指導すること。 (4) 前3号に掲げるもののほか、視聴覚ライブラリーの設置の目的を達成すること。
旧本多忠次邸	(1) 旧本多忠次邸に関する資料を展示すること。 (2) 文化財を通じた歴史及び文化に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を開催すること。 (3) 文化財を通じた歴史及び文化に関する資料の展示のために施設を利用に供すること。 (4) 前3号に掲げるもののほか、旧本多忠次邸の事業として教育委員会が適当と認める事業を実施すること。

7 事務の補助執行

■市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
教育委員会の事務を補助する職員及び教育委員会の管理に属する機関の職員	(1) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の見積りをする事。 (2) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の執行計画、流用、充用、繰越しその他予算の執行管理をする事。 (3) 教育委員会の所掌に係る事項に関する歳入の徴収、減免及び還付をする事。 (4) 教育委員会の所掌に係る事項に関する支出負担行為の手續をする事。 (5) 教育委員会の所掌に係る事項に関して岡崎市決裁規程(昭和 56 年岡崎市訓第 9 号)に定めるところにより調定並びに支出負担行為及びこれに伴う支出命令をする事。 (6) 岡崎市奨学資金条例(平成 13 年岡崎市条例第 43 号)を実施する事。 (7) 教育委員会の所掌に係る事項に関する教育財産の取得(移築、改築、移設、改設、修繕及び模様替えを含む。)の手續をする事。

■教育委員会が市長部局の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
市民安全部の市民課及び支所の職員	学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、就学すべき小学校又は中学校を指定すること。
社会文化部(スポーツ振興課及び多様性社会推進課を除く。)の職員	文化に関する事(文化財の保護に関する事を除く。)
社会文化部のスポーツ振興課の職員	(1) スポーツに関する事(学校における体育に関する事を除く。) (2) 学校体育施設のスポーツ開放事業に関する事。
体育館の職員	体育館の管理及び運営に関する事。

I 総 説
第 3 教育行財政

補助執行させる職員	補助執行させる事務
岡崎市立中央図書館及び岡崎市立額田図書館の職員	(1) 図書資料を収集し、保存し、閲覧させ、及び貸し出すこと。 (2) 資料展示等を企画し、及び運営すること。 (3) 地域図書室と連絡し、及び運営を支援すること。 (4) 図書館運営に関し必要な事項を処理すること。
岡崎市美術博物館及び岡崎市美術館の職員	(1) 施設を管理し、及び運営すること。 (2) 美術に関する作品その他の資料を収集し、保管し、及び利用に供すること。 (3) 美術に関する作品その他の資料の調査研究を行うこと。 (4) 美術に関する展示会、講演会、講習会、研究会等を企画すること。

Ⅱ 学校教育

1 学校教育の視点

学校教育には、子供が人間として生涯に渡り、心豊かで、力強く生きぬくための基盤となる能力を育成すること、言い換えれば、知・徳・体の調和のとれた、感性豊かな人間形成を図ることが求められているのである。そのためには、教師の「子供の幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」が不可欠であることは言うまでもない。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視しつつ、個に応じた指導を充実するなかで、公共の精神を尊び、一人一人を大切にし、児童・生徒の個性を認め、伸ばす教育を展開することが大切である。そのために、学校や地域の実態に応じて、「自立」「共生」「創造」を核に、特色ある教育課程を編成し、子供が自他を敬愛し喜んで通える、安全で魅力ある学校づくりを目指す。

「教育は人なり」の至言のごとく、岡崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築き、家庭と地域と学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。

指導の重点

- 学ぶ楽しさを実感し、深く考え、学び続けるための
「確かな学力」を育む教育の推進
- 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための
「豊かな心」を育む教育の推進
- 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための
「健やかな体」を育む教育の推進

2 令和7年度研究発表会・授業公開

月日	曜	学校名	領域等	研究主題	委嘱等
10/15	水	城南小	全教科・領域	自ら学びに向かい、他者との関わりの中で、 新たな価値を創造できる子の育成 ～学び方の選択と考えの再構築を通して～	岡崎市
10/22	水	甲山中	全教科・領域	子供たちのウェルビーイング実現に向けた教育の推進	岡崎市
10/29	水	大樹寺小	全教科・領域	「みんなが学びの主人公」となる 全員参加型授業の創造 ～一人一人の発想・感性を生かすD J学習を通して～	岡崎市

3 時代の要請に応える教育

近年、グローバル化、人工知能（A I）の活用などによる技術革新等、10年前では考えられなかったような大きな変化が起きている。このように社会の変化が目まぐるしく、予測困難な時代の中で、子供たちには、自ら課題を解決しようとしたり、感性を働かせ、社会や人生をより豊かなものにしたりしていくことが期待される。

学習指導要領では、学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱からなる資質・能力をバランスよく育てていくことを目指している。

岡崎市教育委員会は、時代の要請を熟慮し、次代を生きる子供たちに必要な資質・能力として、自ら考え判断する力、仲間と協力し実行する力、多様性を理解し、互いを尊重し合って共に生きる力、新たな価値を創造する力が重要だと考え、これらの資質・能力を育成するキーワードとして「自立」「共生」「創造」を掲げた。

教育に真摯に向き合い、基礎的・基本的な内容を重視しつつ、教科・領域の本質に迫る学習活動の展開を通して、子供たちに学ぶことの意味を実感させるとともに、多様な特性をもつ子供たち一人ひとりに個別最適な学びを保障し、資質・能力をよりの確に育成できる教育を実現していく。さらに、地域社会・家庭と連携・協働しながら、ふるさとを愛する心を醸成することや、学校や地域の実態に応じて、創意工夫を凝らした特色ある教育課程を編成すること等を通して、子供たちに確かな知性と豊かな感性を育てていく。

■重点努力事項■

今、私たちが取り組むべき事柄として、以下の三つを挙げる。

(1) 学び方改革の推進

子供の多様性に応じた、一人一人を大切にしたい、個別最適化された教育を研究、推進する。また、一斉授業から脱却し、チーム学習を中心とした、共生の心を育む教育活動を推進する。

(2) 子供支援改革の推進

多様性を認める校内フリースクールを充実させ、長期欠席者等、すべての子供の学校生活を保障する。いじめの未然防止や的確な対応の徹底、外国人児童生徒への支援の充実など、きめ細やかな教育を推進し、温かい学校づくりを実現する。

(3) 部活動改革の推進

部活動の意義を残し、将来にわたってスポーツや文化芸術活動に主体的に関わることができるよう、持続発展可能な形の部活動の地域移行を円滑に推進する。小学校の部活動についても、今後の在り方、大会の持ち方等について検討する。

4 特色ある教育活動・取組

(1) 感性を育む心の教育

本事業は、芸術・文化活動の優れた作品などの鑑賞や体験活動を通して、資質と感性を育み、未来を担う子供たちの健やかな成長を図ることを目的としている。

毎年、小学生を対象に観劇会を実施している。

年度	演 目	公 演 団 体
29	ガンバの大冒険	劇団四季
30	魔法をすてたマジョリン	劇団四季
元	はだかの王様	劇団四季
2	ジョン万次郎の夢（中止）	劇団四季
3・4	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止	
5	人間になりたがった猫	劇団四季
6	エルコスの祈り	劇団四季
7	ふたりのロッセ	劇団四季

(2) 教員補助者活用事業

本事業は、社会全体で学校を支え学校教育の一層の活性化を図ることを目的に、性別や教員免許の有無を問わず、生活経験が豊かで学校教育に理解ある社会人を教員補助者又は養護教諭支援員、特別支援学級支援員として採用し活用するものである。学校の指導計画の下、学級担任の行う指導補助、学校図書館の運営補助、障がいのある児童・生徒への指導補助、養護教諭の執務補助などを行う。

また、令和2年度からは、教員の事務作業などを支援する「教員業務支援員（旧スクール・サポート・スタッフ）」制度を新たに導入し、活用している。

(3) 新しい時代の教育に対応した学校教育環境の整備事業

AI や IoT 技術等の急速な進展に伴い、Society5.0 を生きる子供たちにふさわしい新たな学びが求められている。令和元年度に、文部科学省が「令和時代のスタンダードな学校像」として公表した「GIGA スクール構想」を受けて、本市では他市に先駆けて児童生徒と教員に一人一台端末の整備を完了し、授業等での活用を進めている。また、こうしてデジタル化された学習情報を一層効果的に活用できるよう、令和4年度から教室への電子黒板の導入を段階的に進めている。こうした ICT の日常的な活用を軸とする学び方改革を推進し、多様性をもつ全ての子供たちが、自らの特性を生かし、個別最適化された学習に取り組めるようにし、予測困難な未来社会をたくましく生き抜く資質・能力を育成する。

(4) 未来型教育推進事業

令和3年度に学術情報ネットワーク「SINET」を活用し、自然科学研究機構との連携によりオンライン・サイエンスセミナーを実施した。この実績を踏まえ、新規に「未来型教育推進事業」を立ち上げた。SINET によるオンラインや ICT を活用して、SDGs や STEAM、プログラミング等の未来につながる教育活動を通じ、特色ある学校づくりを推進する事業である。令和4年度よりオンライン・サイエンスセミナーの後継事業として全ての教科・領域を対象とした MIRAI オンラインセミナーとして一括募集型オンライン授業を実施している。また、各校が推進する未来型教育の実践を OK シェア

Ⅱ 学校教育

を活用して集約・共有することで、新たな実践につながることを期待している。

5 ICT教育

本市では、これからの社会で求められる情報活用能力を子供たちに育成することを目的として、高速インターネット網の整備と児童生徒用コンピュータの導入を推進してきた。令和2年度には、1人1台のタブレット端末の整備を完了させ、令和4年度からは各教室への電子黒板の整備を順次進めている。また、教員のICT活用指導力の向上を目指し、校務のデジタル化等の教育DXに積極的に取り組んでいる。

(1) ICT環境整備

現行の学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力や問題発見・解決能力と並んで「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられている。小学校においては、プログラミングの体験的な学習機会を確保すること、中学校においては、計測・制御に加えて動的コンテンツなどに関するプログラムを学ぶことなど、積極的にICT教育が取り入れられている。こうしたICT教育の一層の充実により、これからの予測困難な未来社会を生きる子供たちに、情報を整理・分析し、他者との協働で思考を深めることにより、物事を多角的・多面的に捉え、主体的に新たな価値を生み出す力を育むとともに、情報モラルを身に付け、情報社会に参画し創造していこうとする態度を育てていくことが期待されている。

令和2年度にスタートした「GIGA スクール構想」では、本市は他市町村に先駆けてすべての児童生徒と教員に情報端末(iPad)を一人一台配付し、授業等での運用を開始した。iPadには授業支援クラウドをはじめとする様々なアプリケーションを事前にインストールし、授業で使いやすくなるよう設定を行った。iPadの導入により「思考の可視化」「瞬時の共有化」「試行の繰り返し」などデジタルの良さを生かした様々な学習活動を支援することができるようになり、各学校における授業改革につながることもできた。また、こうしたICT教育環境をさらに有効活用できるよう、令和4年度からは各教室への電子黒板の整備に取り組んでいる。電子黒板の活用により子供たちに教材をわかりやすく提示することができるだけでなく、インターネットを利用して遠隔地と交流したり、iPadのデジタル情報を友達とやりとりしたりできるようになった。こうした、学びのインターフェースとしての電子黒板をiPadと一体的に活用することで、学習効果を上げることができている。

【整備内容等】

- ① 「岡崎版GIGAスクール構想」に基づいた「Myタブレット」(iPad)の運用
- ② 授業における学びのインターフェースとして、教室への電子黒板の整備
- ③ 「岡崎版GIGAスクール構想」による校内高速ネットワークの活用
- ④ SINET(学術情報ネットワーク)への接続による基幹インフラの高速大容量化
- ⑤ 高速ネットワークを活用したオンライン授業の推進
- ⑥ 「Okazakiスマートワーク」による「OKアクセス」や高速プリンタの導入
- ⑦ Microsoftアカウントの利用によるオンライン会議やeラーニングの実施
- ⑧ 実践共有サイト「OKシェア」の導入による、主体的な教員研修の支援

Ⅱ 学校教育

(2) 教育DXの推進

令和4年度、オンラインを活用した教育活動推進のため「未来型教育推進事業」を立ち上げ、各学校における一人一台端末やICT機器等の活用を支援した。それぞれの学校では、特色ある教育活動の一つとしてWebカメラや、Bluetoothスピーカー、プログラミング学習で活用できるミニドローンを購入するなど、教育DXに向けてICT環境を充実させた。

また、学術情報ネットワーク（SINET）への接続による利点を生かしたMIRAIオンラインセミナーも2～3回実施し、のべ1万人を超える市内小中学生が参加した。セミナーでは、世界的に有名な研究者や大学教授など、一流の講師が市内小中学生に向けて授業を行った。子供たちは、自分のタブレットを使って講師が出題するクイズに答え、リアルタイムに感想を言い合えるなど、高速・大容量の通信環境を生かした学習を展開することができた。

さらに、教員による生成AIの活用研究も現在進めている。校務においてAIがどのように利用できるのか。子供たちの健やかな成長に資するという目的のもと、今後探っていきたい分野であると考えている

このように、一人一台端末等GIGAスクール構想で整備された機器や、日々生み出される新しい技術を、授業や校務等で活用する姿が日常的なものとなっており、ICTを活用した教育が各小中学校で展開されている。

(3) 教員のICT活用指導力、情報スキルの向上

児童生徒の情報活用能力を高めるために必要な教員のICT活用指導力及び教育DXに対応した情報スキルの向上を目指して、各種研修を行っている。大別すると、ICTの活用法や情報セキュリティ、情報モラル教育について学ぶ授業力アップセミナー、初任者研修、GIGAスクール環境の利用講習会、ネットワークやセンターサーバの更新に伴う操作講習会などがある。さらに、これらに加えて各学校における校内研修や教員グループによる自主研修も盛んに行われている。

令和6年度は、小学校の2年生と3年生に対し、これまでと異なる機種の子電子黒板が導入されたため、改めて訪問研修を行った。さらに、生成AIについては、その仕組みや利用する上での注意点について研修資料を作成し、各学校に配付した。こうした研修に合わせて、GIGAスクールアドバイザーによる、GIGAスクール環境の利活用やオンライン授業の実施方法、情報モラル指導、岡崎市プログラミング学習等の校内研修、管理職への相談活動等も引き続き実施し、学校の支援にあたっている。

■令和6年度実施研修

- ・授業力・教師力アップセミナー〈基礎編〉（学習情報部と連携）

【期日】7月23日（火）

【内容】情報モラル教育、著作権学習、プログラミング学習の実習

【講師】学習情報指導員

【人数】25名

【会場】福岡中学校

- ・授業力・教師力アップセミナー＜専門編＞
 - 【期日】 7月26日（金）
 - 【内容】 ICTを活用した模擬授業
 - 【講師】 学習情報指導員 太田尚志、鈴木広樹
 - 【人数】 約29名
 - 【会場】 福岡中学校
- ・授業力・教師力アップセミナー＜推進編＞
 - 【期日】 7月30日（火）
 - 【内容】 学習指導要領の趣旨に即した情報教育、著作権、生成AIの活用
 - 【講師】 形埜小学校長 内田雅之
 - 【人数】 23名
 - 【会場】 教育研究所 ICT室
- ・ブラッシュアップ研修
 - 【期日】 7月31日（水）
 - 【内容】 個別最適な学びとICTの活用、協働的な学びとICTの活用
 - 【講師】 GIGAスクール戦略係長 村田貴志 指導主事 杉坂和俊
 - 【人数】 45名
 - 【会場】 総合学習センター 小ホール
- ・初任者研修
 - 【期日】 7月30日（火）
 - 【内容】 ICTを活用した授業改革、情報モラル・セキュリティ、教材づくり
 - 【人数】 約100名
 - 【会場】 上地小学校
- ・現職研修委員会学習情報部主任研修
 - 【期日】 4月11日（木）、4月19日（金）、10月8日（火）、2月14日（金）
 - 【内容】 タブレット端末・授業支援クラウドの活用、ICT環境の整備
 - 【人数】 のべ約270名
 - 【会場】 総合学習センター、各小中学校（Teamsによるオンライン開催）
- ・組織マネジメント研修（新任教務研修）
 - 【期日】 8月1日（木）
 - 【内容】 業務改善に向けた取り組み（教育のDX化）
 - 【講師】 指導主事 杉坂和俊
 - 【人数】 20名
 - 【会場】 総合学習センター 研修室2

Ⅱ 学校教育

■ ICT 機器及び校内 LAN 整備の現状

年度	授業用機器整備		校内 LAN 整備・校務用機器整備	
	小学校	中学校	小学校	中学校
9	PC 教室に 11 台 配備完了			
10		PC 教室に 42 台 配備完了		インターネット導入
11	井田小、藤川小の PC 教室に 22 台配備		インターネット導入	
13	PC 教室に 42 台 配備(10 校)		校内 LAN 整備工事 (10 校)	
14	PC 教室に 42 台 配備		校内 LAN 運用開始 (10 校)	
15		PC 教室の PC 更新 (18 校)		
16	PC 教室に 42 台 配備(2校)		校内 LAN 整備工事(3校) " 運用開始(3校)	
17			校内 LAN 整備工事(1校) " 運用開始(2校)	校内 LAN 整備工事(2校) " 運用開始(3校)
18	PC 教室の PC 更新 (10 校)			校内 LAN 整備工事(3校) " 運用開始(3校) 教職員用 PC 運用開始 (8校)
19	PC 教室の PC 更新		教職員の PC 配備	校内 LAN 整備工事(4校) " 運用開始(4校) 教職員用 PC 運用開始
20		PC 教室の PC 更新 (18 校)	校内 LAN 整備工事(2校) " 運用開始(2校) 教職員用 PC 運用開始 (13 校)	
21	PC 教室の PC 更新 (実施せず)	普通教室の PC 整備	校内 LAN 整備工事(8校) " 運用開始(8校) 教職員用 PC(20 校)	校内 LAN 整備工事(1校) " 運用開始(1校)
22	PC 教室の PC 更新 (8校)		校内 LAN 整備工事 (11 校) 地デジ対応工事(2校) 教職員用 PC 更新(2校)	校内 LAN 整備工事(4校) 改築による整備(1校) 教職員用 PC 更新(3校)
23			地デジ対応工事(1 校)	教職員用 PC 更新(11 校)
24	PC 教室の PC 更新 (20 校)		地デジ対応工事(1校) 教職員用 PC 更新(10 校)	地デジ対応工事(6校) 教職員用 PC 更新(6校)
25	PC 教室の PC 更新 (20 校)	翔南中 PC 教室設置 タブレット PC 導入 (3 校)	教職員用 PC 更新(15 校)	

年度	授業用機器整備		校内 LAN 整備・校務用機器整備	
	小学校	中学校	小学校	中学校
26		PC 教室の PC 更新 (18 校) タブレット PC 導入 (20 校)	教職員用 PC 更新(20 校)	
27	普通教室の PC 整備 (47 校)	普通教室の PC 整備 (20 校)	教職員用 PC 更新(2 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働	教職員用 PC 更新(3 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働
28	PC 教室の PC 更新 (7校)	PC 教室の PC 更新 (1校)	校務支援システム導入	教職員用 PC 更新(11 校) 校務支援システム導入
29		タブレット PC 補充 (3 校)	校内 LAN 整備(5 校) 教職員用 PC 更新(10 校)	校内 LAN 整備(9 校) 教職員用 PC 更新(6 校)
30	タブレット端末(iPad) 整備(47 校) PC 教室の PC 更新 (40 校)	タブレット端末追加 整備(3 校)	校内 LAN 整備(14 校) 教職員用 PC 更新(15 校)	
R1		タブレット端末(iPad) 整備(20 校) 普通教室無線 LAN 環 境の常設化(20 校)	校内 LAN 整備(7 校) 教職員用 PC 更新(20 校) 校長用タブレット端末 (iPad)配備	校長用タブレット端末(iPad) 配備
R2	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末 (iPad)整備 (47 校) Microsoft アカウント配 付	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末 (iPad)整備 (20 校) Microsoft アカウント配 付	教職員用タブレット端末 (iPad)整備(47 校) 校内 LAN 整備(21 校) Wi-Fi 常設化(47 校) 教職員用 PC 更新(2 校) センターサーバ更新・ ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付	教職員用タブレット端末 (iPad)整備(20 校) 校内 LAN 整備(11 校) Wi-Fi 常設化(20 校) 教職員用 PC 更新(3 校) センターサーバ更新・ ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付
R3	オンライン配信用タブレ ット端末配備(再利用)	オンライン配信用タブレ ット端末配備(再利用)	SINET 接続(国実証事業)	SINET 接続(国実証事業) 教職員用 PC 更新(11 校)
R4		電子黒板整備(20 校)	教職員用 PC 更新(10 校)	教職員用 PC 更新(6 校) 地域 BWA ルータ整備(20 校)
R5	電子黒板整備(47 校) ※6 年～4 年教室 特別支援教室(一部)		地域 BWA ルータ整備(23 校) 教職員用 PC 更新(15 校)	
R6	電子黒板整備(47 校) ※2、3年教室		校内 LAN 整備(5 校) 地域 BWA ルータ整備(24 校) 教職員用 PC 更新(20 校)	校内 LAN 整備(9 校)

6 国際理解教育

(1) 中学生三大陸国際理解教育推進事業

未来を担う児童生徒に夢と希望をもたせ、広い視野にたって郷土の発展を考え、国際親善・交流を深めている。昭和 55 年から、姉妹都市（アメリカ・ニューポートビーチ市、中学生 6 名派遣）と友好都市（中国・呼和浩特市、中学生 7 名派遣）との間で学校訪問、ホームステイ等を入れながら、相互訪問の形式をとり、実施してきた。

さらに、平成 16 年度から、この 2 つの事業に加えて、もう一つの姉妹都市であるスウェーデンのウッデバラ市への訪問（中学生 6 名派遣）を始めた。

また、平成 18 年度から 3 年間に限って、旧額田町の交流事業として行ってきたマレーシア・クアラランプール市への訪問（額田中学生 10 名派遣）を継続した。

平成 28 年度から、英語圏を中心とした「中学生三大陸国際理解教育推進業務」に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の向上と異文化理解を図ることにした。ニューポートビーチ市とウッデバラ市に加え、平成 29 年度からオーストラリアのウィトルシー市への訪問を始め、平成 30 年度は、ウィトルシー市からの派遣団を受け入れた。令和元年度は、オーストラリアのウィトルシー市をメルボルン市に変更して、派遣団を送った。令和 2 年度以降は実施していない。

(2) 外国語指導助手派遣事業

外国語指導助手（ALT）を市内の小中学校へ派遣し、英語教育、国際理解教育の推進に役立てている。平成 2 年度夏から市独自で ALT を採用した。平成 25 年度から 20 名に、平成 30 年度から 23 名に、令和元年度から 32 名に増員し、英語教育の一層の充実を図る。

(3) 小学校英語支援員派遣事業

小学校において効果的な英語活動の授業が実施できるように、英語が堪能で小学校英語に理解のある地域の人材を小学校英語支援員として派遣している。平成 22 年度から 18 名に、平成 30 年度には 25 名に増員し、英語活動の授業で ALT や学級担任と協同授業をしたり、教材作りの補助をしたりする。

(4) 帰国・外国人児童生徒教育支援業務

ア 日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」

令和元年度より、帰国・来日して間もなく、日本語をほとんど話せない中学生に対して、学校生活を送る上で最低限必要となる日本語と学校生活等のルールを教える日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」を、南中学校内に開設した。令和2年度より、入級対象を小学4年生以上とし、室長1名、日本語教育講師2名（ポルトガル語、フィリピン語、各1名）に加え、副室長1名、指導員2名、日本語教育講師2名（ポルトガル語、中国語各1名）を増員した。

イ 日本語教育講師巡回訪問

市内小中学校に在籍する日本語教育が必要な外国籍の児童生徒を中心に、日本語教育講師を派遣し、担当教員と共に、日本語教育及び生活適応相談を行っている。現在、日本語教育講師7名（ポルトガル語4名、中国語1名、フィリピン語2名）が、市内拠点校を巡回訪問している。その他、保護者との個人懇談会などに通訳が必要な場合にも随時対応している。

■ 国籍別児童生徒数

（令和7年5月1日現在）

国 籍	児 童 生 徒 数 (人)	
	小 学 校	中 学 校
ブ ラ ジ ル	305	162
フ ィ リ ピ ン	118	53
中 国	96	51
そ の 他	214	71

7 特別支援教育

特別支援教育は、元々通常の学級に在籍する発達障がいのある子供への支援部会と特別支援学級に在籍する子供への支援部会があり、平成17年8月にそれらを統合し、外部機関との連携を図る特別支援教育連携協議会を設置した。連携協議会は、就学前から卒業後まで、何らかの支援を必要とする子供への具体的な支援を検討し、医療、福祉、労働、教育、行政等の関係機関から代表者を募り、横の連携を図っている。

また、校内教育支援委員会を立ち上げ、その運営の責任者として特別支援教育コーディネーターを全小中学校に配置している。関係機関との連携を図るとともに、発達障がい等のある子供への具体的な支援策を検討、実践、評価している。

特別支援学級の教育を担当する部会は、日常の教育内容を研究する部門と交流及び共同学習を推進する部門、就学や進路指導に関わる部門等に分かれている。

(1) 教育支援

ア 教育支援委員会・教育相談会

教育支援委員会は、医師、教師、発達障がいの専門家等で構成されている。障がいのある児童生徒や就学対象児の行動観察や面接、医師の診断、教育相談会等を通して、様々な視点から子供にとって必要な支援の内容及び適切な就学先について、総合的に調査・審議を行っている。

イ 「そよかぜ相談室」

新就学対象児の就学及び、通常の学級に在籍している子供の保護者を対象に、不安や悩みを気軽に相談できる窓口「そよかぜ相談室」を開設している。悩みや不安の解消に効果を上げている。

(2) 中学校特別支援学級進路指導

ア 中学校特別支援学級進路指導部会

進路希望状況や進路希望先など様々な情報交換を行い、生徒の適切な進路先を決定する。

イ 施設見学会

生徒・保護者・担当教師が福祉事業所等への見学会に参加し、就労の状況を直接見ることにより進路選択の正しい情報を得る。

(3) 子どもと親の集いブロック交流会

昭和58年度から開催されてきた「子どもと親の集い運動会」に代わり、平成15年度から市内小中学校を10数ブロックに分け、ブロック単位の「子どもと親の集いブロック交流会」を実施している。令和6年度は17ブロックで、ゲーム大会、レクリエーション、運動会等、様々な内容の交流を行った。

■特別支援学級児童・生徒数

(令和7年5月1日現在)

	知的障がい	自閉症・情緒障がい	病弱・身体虚弱(含院内)	弱視	難聴	言語障がい	肢体不自由	計
小学校	371	514	13	2	5	12	13	930
中学校	134	152	4	0	1	4	9	304

8 教職員の研修

(1) 令和7年度初任者研修（校外研修）年間計画

※ 第1回，第17回（開・閉講式）は新規採用事務職員も参加

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
1	4月9日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用栄養教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養	〔開講式〕 ・講話 ・教育公務員の服務について （不祥事防止） ・危機管理 （熱中症、感染症、アレルギー対策）
2	5月14日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール 教育図書室（見学） ハートピア上地 （見学）	生徒指導 基礎的素養 学級経営 教科指導	・接遇演習（教職員としての1日） ・生徒指導の実際Ⅰ（いじめ対応・防止） ・個別最適な学びⅠ（チーム学習の基本） ・学級づくりの基本（保護者対応含） ・授業づくりの基本
3	5月28日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養 道徳 教科指導 基礎的素養	・子供理解の基本Ⅱ （子供の発達における支援） ・道徳の授業の進め方 ・子供理解の基本Ⅰ（WEBQUの活用） ・保健教育の実際、教員のメンタルヘル ス等
4	6月18日 6月25日	水 水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	愛知教育大学 附属特別支援学校	基礎的素養	・特別支援教育の実際
5	7月23日 7月25日	水 金	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 小ホール他 ハートピア上地	生徒指導	・生徒指導の実際Ⅱ（長期欠席等） 岡崎の教育支援に関わる組織的な取組 について 支援を要する子供への対応策について
6	7月23日 7月24日 8月1日	水 木 金	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 市内小中学校 他	教科指導	・授業力アップセミナー【基礎編】 ・授業の進め方、教材研究等
7 8	7月30日 7月31日	水 木	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	岡崎市 少年自然の家	特別活動	【野外活動】 野外炊飯、ファイヤー実習、カヌー 指導法、落ち葉スキー、フィールド アスレチック、クラフト、テント設 営等
9	8月5日	火	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 小ホール、研修室1 ～4	教科指導 基礎的素養	・教育研究の方法（論文執筆） ・ICTを活用した授業改善、情報モラル 教育、情報セキュリティ、デジタル教材 づくり

Ⅱ 学校教育

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
10	8月28日	木	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	市内小中学校 市内各教育施設 他	教科指導	・実践研究発表と研究協議
11	9月24日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 多目的ホール	キャリア教育 教科指導	・個別最適な学びⅡ (チーム学習の進め方) ・授業分析の方法
12	10月15日	水	小学校初任者 中学校初任者	城南小学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
13	10月22日	水	小学校初任者 中学校初任者	甲山中学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
14	10月29日	水	小学校初任者 中学校初任者	大樹寺小学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
15	1月14日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 多目的ホール	教科指導 生徒指導	・総合的な学習の時間の進め方 (STEAM教育等) ・キャリア教育の進め方
16	1月21日	水	小学校初任者	市内小学校 2校	教科指導 (代表授業参観)	・小学校 初任者研究授業, 授業分析
			中学校初任者	市内中学校 1校		・中学校 初任者研修授業, 授業分析
17	2月18日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用栄養教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 多目的ホール 研修1～4	基礎的素養	・1年間を振り返って(グループ協議) [閉講式] ・挨拶 ・初任者代表挨拶

(2) 令和7年度中堅教諭等資質向上研修【Ⅰ】(校外研修)年間計画

月日	曜	対象	時間	会場	領域	内容
5月21日	水	小中学校教諭 養護教諭① 5・10年経験者	15:00	総合学習 センター	共通研修	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義「中堅教員の役割」 教育の今日的課題 マネジメント 危機管理等
6月から1月 (1日間)		小中学校教諭 養護教諭② 5・10年経験者	終日	異校種 各学校	異校種 体験研修	<ul style="list-style-type: none"> ・異校種の授業に参加 ・研究協議会等に参加 ・生徒指導や教科指導に関する 研修
7月23日 7月24日 7月25日 7月29日 7月30日 8月1日 (いずれか1日)	水 木 金 火 水 金	小中学校教諭 養護教諭③ 5・10年経験者	9:00 13:30	各会場	選択研修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力・教師力アップセミナー での受講(1講座) ※5年経験者は【基礎編】 10年経験者は【専門編】
8月28日	木	小中学校教諭 養護教諭④ 5・10年経験者	13:45	教育研究 大会会場	教科指導 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研究発表と協議
1月28日	水	小中学校教諭 養護教諭⑤ 5・10年経験者	15:00	総合学習 センター	生徒指導 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導総括講話 ・閉講式

Ⅱ 学校教育

(3) 授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】

及びブラッシュアップ研修

7月下旬から8月上旬に実施する。令和5年度から、【基礎編】、【専門編】、【推進編】を階層的に位置付け、段階的に授業力・教師力を高められるようにしている。また、ブラッシュアップ研修は、21年目から教員経験年数により決められた研修を受講するようにし、教員の力量向上を図る。なお、対象者を以下の通りとする。

- 【基礎編】 1～10年目、(必修) 初任者研修対象者
(必修) 教員3年目研修対象者、
(必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者(5年経験者)
- 【専門編】 7～20年目
(必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者(10年経験者)
- 【推進編】 12年目～
ブラッシュアップ研修 21年目～
- 研修A 20年経験者、30年経験者
研修B 22年経験者、32年経験者
研修C 24年経験者、34年経験者
研修D 26年経験者、36年経験者
研修E 28年経験者、38年経験者

■基礎編

(令和7年実施内容)

番	研修名	会場	内容
1	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール2・3、研修室1・2	【国語・書写】 ○硬筆指導につながる！書写指導の基礎・基本 【講師：美川中学校 教頭 名倉訓仁 先生】 ◇実習：書写指導の基礎的な実技実習 ◇講義：硬筆に生かす日常的な書写指導のポイント 【図書館】※小中選択受講制 ○(小学校向け)読書感想画指導の不安を解決！ ◇実習：読書感想画指導の基礎・基本 ◇講義：作品選考のポイント解説 ○(中学校向け)生徒の「読みたい」「調べたい」を引き出す読書活動 ◇実習：生徒の主体性を引き出す読書活動 ◇講義：単元のねらいに沿った読書活動・図書資料の活用とは？
2	保健	総合学習センター 多目的ホール1	○自信をもってできるようになりたい！学校での食物アレルギー対応 【講師：八千代病院薬剤部小児アレルギーエドゥケーター 平島 佳代子様】 ◇講義：食物アレルギーとは ◇講義・実習：学校で必要なアレルギー対応 ◇講義・グループワーク：家庭や医療機関との連携 ◇意見交流：疑問や心配にお答えします
3	音楽	総合学習センター 小ホール	○VIVA 合唱！！～教科書掲載曲を中心とした合唱指導の工夫～ ◇講義：教科書掲載曲の歌唱指導の基礎・基本について ◇講義・実習：発達段階に応じた歌唱指導について
4	理科	岡崎小学校 理科室・家庭科室	○これでバッチリ！2学期からの理科授業 ◇講義：理科の授業を行う上で必要な考え方や授業づくり ◇実習：2学期からの理科授業に活用できる実験の実習 (教科書に掲載されている実験を中心に)
5	家庭	六ツ美西部小学校 家庭科室	○子供も教師も安心！安全なミシンの指導方法 ◇実習：直線縫いだけで見た目も美しい リバーシブル巾着袋の製作 ・ミシンの扱い方 ・子供がスムーズに作業を進めるための工夫 ・方眼紙を使った型紙の活用
6	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール	○これですっきり!!算数・数学科の授業づくり ◇講義：教科書指導書朱註編、板書ブックのここに注目 ◇講義：子供が主体的に動き出す授業づくり基礎・基本 ○授業づくりを実践!! ◇実習：担当学年に分かれて、共通の題材をもとに授業づくりを体感 ○ちょっとした工夫で授業が変わる!! ◇講義：『アイデア集』『基礎学力調査』を利用した授業実践の紹介
7	学習情報	総合学習センター 小ホール	○これでバッチリ！ICT活用の基礎・基本 ◇実習：教科書のQRコードを活用して学ぶ授業づくり ◇実習：情報活用能力の育成を意識した授業づくり ◇体験：知っている便利なiPadの機能の体験

8	総合	総合学習センター 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ○これで総合は大丈夫！～あらゆる困り事が解決できるセミナー～ ◇実践発表：総合的な学習の時間における優秀実践発表 (岩津小：本間 佐知子 先生) ◇講話：SDGs に関わる実践を進める上で必要となる講話と、申請可能な出前授業の紹介（岡崎市役所：商工労政課） ◇座談会：各校の総合的な学習の時間における実践経過発表並びに今後の展開に対する相談会（チーム学習で）
9	技術（【専門編】含む）	常磐中学校 技術室	<ul style="list-style-type: none"> 【専門編】の内容を含む ○子供の「やってみたい」「どうなっているの」を引き出す「授業」「教材」づくり ◇講義：子供に学びを委ねる授業づくり 「計測・制御のプログラミング」の実践より ◇実習：電気的安全利用で使える実験装置づくり 「トラッキング現象から発火するしくみが分かる」教具づくり
10	特別支援	総合学習センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ○こんなときどうする？障がい特性をもつ子供との関わり方 【講師：自閉症啓発キャラバン swing 様】 ◇講義：障がい特性の理解と特性に応じた対応について ◇模擬体験：障がい特性の理解 ○どうしたらいい？特別支援教育における授業づくり ◇講義：実践発表から学ぶ 授業をつくるための基礎基本 ◇グループワーク：子供の実態から考えよう 特別支援教育の授業づくり
11	道徳	総合学習センター 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ○明日の道徳授業に使える！～道徳教育の基礎・基本～ ◇実習：模擬授業を体験！発問の工夫でねらいに迫る！ ◇実習：模擬授業から考える、子供の思考に沿った授業展開とは ◇講義：道徳の授業を始めましょう！道徳教育の基礎・基本 【講師：三島小学校 清水良隆 様】
12	外国語	総合学習センター 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ○子供も先生も「楽しい」と感じる授業づくり ～授業が 100 倍楽しくなる実践の紹介～ ◇講義：導入の仕方や授業の展開など基本的な授業づくりについて学ぶ ◇講義：単語や基本表現を楽しみながら習得する方法について学ぶ ◇実習：チームで模擬授業体験を行い 2 学期に向けた実践的な研修を行う
13	英語	総合学習センター 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動を効果的に取り入れる授業デザイン ～授業構築の基本的な考え方～ ◇講義：英語授業の中心となる言語活動の考え方から実践までの基本を学ぶ ◇講義：英語科として、機能的なチーム学習の在り方を学ぶ ◇講義：ICT（AI 含む）を効果的に活用する方法を学ぶ ◇講義：Our City Okazaki の効果的な使用方法を学ぶ
14	図画工作・美術	総合学習センター 研修室 1・2	<ul style="list-style-type: none"> ○「みる力を育てる」図画工作科の授業づくりのひと工夫 ◇講義：鑑賞の授業の作り方について ◇実践発表：鑑賞の授業の実践発表 ○自信がつく絵の指導のひと工夫 ◇講義・実習：絵に表す活動の指導 ①線画する場面に向けて ②水彩絵の具による彩色ポイント
15	生徒指導	総合学習センター ICT 室	<ul style="list-style-type: none"> ○多様化する子供の思いに寄り添う、生徒支援の基礎・基本 ◇講義：生徒指導提要から読み取る児童生徒支援の在り方 ◇実習：児童生徒の特性や状況の的確な捉え方 「～な子供の姿」をどう捉える？どう支援 する？
16	特別活動	総合学習センター 研修室 5	<ul style="list-style-type: none"> ○学級会だけじゃない！学級の「困った」をみんなで解決できる特別活動 ◇体験：学級づくりに活用できるエンカウンター ◇講義：特別活動の内容、学級活動における学級指導の 1 時間の授業の流れについて ◇グループワーク①：各学校でのクラブ・委員会の取組 ◇グループワーク②：実際の指導について話し合う <基本的な生活習慣の形成> ◇体験：自分で 1 時間の流れを考える <よりよい人間関係の形成>
17	体育・保健体育	岡崎高校 体育館・武道場	<ul style="list-style-type: none"> ○目指せ技能向上！ すぐに実践できる授業づくりのひと工夫 ◇講義・実習：子供の技能を確かに高める授業実践例の紹介と実習
18	社会	岡崎市消防本部 中消防署	<ul style="list-style-type: none"> ○目からウロコ！～これで社会見学は大成功～ ◇フィールドワーク：中消防署で本物の「人・もの・こと」との出会い ◇講義：見学のねらいを見据えた事前指導のポイント ◇講義：社会的な見方・考え方を働かせる発問のコツ ◇グループワーク：主体的な学びを引き出すためには ※会場の都合上、90 名を超えた場合は、御意向に添えずに人数を調整させていただきます場合があります。
19	生活	根石小学校 図書室	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の「やりたい」「調べたい」があふれ出す！ ～生活科授業 はじめの一步～ ◇制作・体験：「すぐにやってみたい」 2 学期以降の授業に活かせる教材教具のアイデア紹介 ◇模擬授業・体験：「これはできそう」 子供の思いや願いを実現する授業展開のポイント (チーム学習を取り入れた生活科授業)

Ⅱ 学校教育

■【専門編】

(令和7年度実施内容)

番	研修名	会場	内容
1	図画工作・美術	総合学習センター 研修室2	○自信をもって学習評価ができる図画工作・美術教育の考え方 ～3観点ごとの学習評価を体感的に学ぶ実技実習と講義～ 【講師：愛知教育大学 准教授 永江 智尚 様】 ◇実技：「外形の模倣」と「表現（工夫すること）」の違いを体験的に学ぶ ◇講義：学習評価の在り方を学ぶ ◇講義：授業評価の視点から、授業改善、指導力向上について考える
2	体育・保健体育	岡崎高校 体育館・武道場	○体育科の授業の見方・考え方を磨く 『体づくり運動』で求める子供の姿と評価の在り方 ◇実技・講義：『体づくり運動』のねらいと評価について考える ○体育科の授業では、どこまで教え、何を子供に委ねるか 『器械運動、水泳、武道、陸上』における授業展開の工夫 ◇グループワーク：個別最適な学びを実現するための学習課題と授業展開を考える
3	理科	自然科学研究機構 分子研・基生研・生理研	○世界最先端！自然科学研究機構の科学者から学び、理科の楽しさに深く、じっくりふれてみよう ◇実習：ものづくり単元で使える実験実習 (第135回国研セミナーを兼ねる) ◇見学：日本の最先端科学を支える施設の見学 ◇講義・実習：2学期の授業で使える学習指導案の作成
4	社会	総合学習センター 多目的ホール1	○「本当に知りたい！」社会科授業づくりのコツ ◇講義：社会科の本質に迫る目標の設定 ◇講義：主体的な学びを支える教師支援 ◇協議：実際の授業を基にした授業改善の方法に関する協議
5	英語	総合学習センター 多目的ホール3	○All Englishのすゝめ ～退かざる者は必ず進む～ ◇講義：教科の本質を踏まえた、より専門的な授業構築の考え方について (学校の教科指導の中核を担い、校内で英語科の授業の方針を提案できるようにする) ◇講義：All English 授業構築の考え方について (All Englishの授業を実施するための考え方や、授業展開の実例を学ぶ)
6	生徒指導	総合学習センター 研修室1	○専門家から学ぶ 「児童生徒の特性や状況の的確な捉え方と長期欠席未然防止」 【講師：中京大学 教職指導官 伊澤 勉 様】 ◇講義・協議：多様化する生徒指導問題への支援と対応 ◇講義・協議：長欠児童生徒における生徒支援
7	道徳	総合学習センター 研修室2	○考え、議論せざるをえない！子供が本音で語り合う道徳科の授業 ◇講義：道徳科の本質を踏まえた発問づくり ◇実習：グループワークで授業展開を考える ◇講義：あなたは大丈夫？道徳科授業の落とし穴を紹介！
8	特別活動	総合学習センター 多目的ホール2	○これからの魅力ある学校づくりは特別活動で＜児童会・生徒会活動＞ ◇講義：岡崎市の実態、事例から学ぶこれからの児童会・生徒会活動 ◇グループワーク：各学校での実際の取組 全ての子供が活躍するための工夫について意見交換 ○少し意識すればできる！キャリア教育について ◇講義：社会的・職業的な自立を目指すキャリア教育 ◇グループ協議：特別活動で行うキャリア教育の実践について考える ◇実習：各教科で行うキャリア教育について考える
9	特別支援	総合学習センター 多目的ホール2・3	○発達特性をかかえる子供の理解と個に応じた支援の在り方について 【講師：岡崎女子大学 准教授 水野 恭子 様】 ◇講義・協議：発達特性をかかえる子供の理解と支援 ○子供の「できた！」が増える 実態把握（アセスメント）から考える自立活動と教科学習 ◇講義：特別支援教育の授業づくり ◇グループワーク：子供の実態から考える授業づくり
10	学習情報	総合学習センター 多目的ホール1	○レベルアップ！ICTを授業に生かすワンランク上の活用術 ◇実習1：ICTならではの透過術 ～スクールタクトで使える透過資料を作成しよう～ ・社会科の地図や書写で大活躍する、透過資料の作り方学びます。 ◇体験：ICTを活用した学びを委ねる模擬授業の体験 ◇実習2：ICTを活用した学びを委ねる授業づくり ・体験と実習2はセットです。「学びを子供に委ねるために、もう一歩進みたい」という人は必見。2学期に行う授業を、一緒に考えましょう。
11	音楽	総合学習センター 研修室1・2	○楽しもう 音楽づくり ～カットーンを利用した創作活動の展開～ ◇講義：DTMの基礎・基本を解説 ◇実習：ICTを活用した指導技術の習得 ◇講義：個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けての指導方法の提案
12	外国語	総合学習センター 研修室5	○「英語で思いを伝えたい」を育てる授業づくり ◇講義：目的・場面・状況を設定した実践例をもとに、子供の話す力を伸ばす授業づくりを学ぶ ◇講義：ICTを効果的に活用する方法を学ぶ ◇講義：小学校英語の評価方法について学ぶ
13	生活	総合学習センター ICT室	○実践事例に学ぶ！子供の気付きの質を高める生活科の授業づくり ◇講義：「こんな授業をやってみよう」単元づくりのポイントと効果的な教師支援を探る ◇協議：気付きの質を高める教師支援について ◇意見交換：活動や体験の重視した授業を実現するための各校の取組について ◇講義：「生活科の本質に迫る」

14	家庭	六ツ美中学校 調理室	<p>【講師：愛知教育大学教授 加納 誠司 様】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「実践こそ理解への近道！和食の要『だし』を知ろう」 ◇講義：だしの取り方と試飲を通して、理解を深めるだしの役割 ・だしの役割を実感できる実践例の紹介 ◇実習：だしを使った簡単な調理
15	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール2・3、研修室1	<p>【国語・書写】※小中選択受講制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供が変わる！ 個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す国語の授業づくり ◇講義：国語科の「見方・考え方」を働かせた個別最適な学びと協働的な学びとは ◇実習：2学期教材を用いた授業づくり <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館で広がる学びの可能性！ 生徒の主体性を高める図書資料の活用方法 ◇講義：学校図書館の役割とは ◇体験：図書資料を活用した授業の体験
16	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール1	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが悩む「わり算」「証明」指導の具体に迫る!! <p>【講師：東京学芸大学 准教授 小岩 大 様】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇講義・実習：子供が数学的な見方・考え方を働かせる指導や子供主体の授業の仕方について 小学校「わり算」中学校「証明」
17	保健	総合学習センター 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな視点で子供の健康課題と向き合う学校保健活動をコーディネート！ ◇グループワーク：直面する健康課題への対応を、段階別に分けてみよう ◇講義：「いまココマップ」の役割と活用 ◇グループワーク：具体的な実践を計画しよう
18	総合	総合学習センター 研修室3	<ul style="list-style-type: none"> ○どうする？どうなる？総合的な学習の時間 <p>【講師：中京大学 教授 久野 弘幸 様】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇講義：総合的な学習の時間における今後の展望 ◇紹介します！ゲストティーチャーを有効活用した実践事例 ◇講義：「主体的・対話的で深い学び」を実現するための教師の出について考える

■ 【推進編】

(令和7年度実施内容)

番	研修名	会場	内容
1	保健・衛生推進研修	総合学習センター 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒と教職員のメンタルヘルス ◇メンタルヘルスに関する講義と実習 ◇児童生徒への心の教育 (ライフスキル教育を中心としたグループワーク) ◇支え合う教職員集団についての意見交流
2	学習評価研修	総合学習センター 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ○「子供の学びを高める学習評価」研修 ◇学びを高める岡崎の子供たちのために - 指導と評価の一体化 - ◇何のために評価を行うのか(評価の魅力・価値・必要性) ◇子供も保護者も納得する評価とは ◇教師と子供、それぞれの PDCA ◇子供の学びをつなぐ、組織的かつ計画的な指導改善と教育課程や学習・指導方法の改善
3	日本語教育推進研修	総合学習センター 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ○これならできる「日本語教育」 ◇日本語教育を行う上での問題点とその解決方法(グループ討議・講義) ◇日本語教育の現状(講義) ◇知っておきたい翻訳機能のいろいろ(講義・実習)
4	特別支援教育推進研修	総合学習センター 多目的ホール2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○これで安心 特別支援教育・教育相談エトセトラ ◇特別支援教育の視点を取り入れた、学校・学級・授業づくりについての講義と演習 ◇教育相談でコーディネーターや役職者が困らないための心得について講義と協議 ◇子供発達支援マネジメントについての講義と演習
5	授業指導研修	総合学習センター 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善のリーダーとして、牽引力を発揮するために ◇授業改善のリーダーとしての心構えの講話 ◇授業づくり指導の視点(実践例より)の講義と実習 ◇学習指導上の課題把握と授業改善(具体例より) ◇教員チームでの授業改善に関する講義
6	食育推進研修	総合学習センター 研修室3	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校全体で取り組む食育推進に関する講義と実習 ◇食育実践事例の紹介 ◇栄養教諭在籍の有無による食育の取り組み方に関する講話と意見交換
7	研究推進研修	総合学習センター 多目的ホール3	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校全体で進める研究の意義、研究主任の役割・心構えの講話 ◇研究理論(目指す子ども像、研究主題、研究仮説、研究の手立て等)の作り方の講話 ◇研究推進を通し、組織的な実践の進め方の講話、意見交換 ◇研究実践事例の紹介 ◇研究推進における不安や悩み、課題等に関する意見交換
8	生徒指導推進研修	総合学習センター 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の成長、発達を支える生徒指導とは ◇生徒指導提要から考える生徒指導の在り方について ◇生徒指導の実践上の視点について ◇学習指導と生徒指導の一体化について チーム学習が有効な訳 ◇多様な子供への支援の在り方について ◇長期欠席対策の「未然防止」「初期対応」「自立支援」 ◇いじめ・長期欠席等の未然防止策等について意見交換と対策案の作成
9	学年経営推進研修	総合学習センター 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ◇学年や教科部における「授業改善の推進役としての心構え」についての講義と意見交換

Ⅱ 学校教育

			<ul style="list-style-type: none"> ◇経験の浅い教職員をどう育てるか、中堅教諭に何を求めるかなど、「人材育成と学年経営」についての講義と意見交換 ◇学校運営に参画する上での不安や悩み、現状抱えている課題等についての意見交換 ◇2学期からの学年経営計画書の作成
10	ICT教育推進研修	形埜小学校 5・6年教室	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習指導要領から読み解く、今学校に求められている情報教育についての講義 ◇シニアリーダーとして知っておきたい著作権・生成AIについての講義と実習

■ブラッシュアップ研修

(令和7年度実施内容)

番	研修名	会場	内容
A	子どもの発達や生活の変化を踏まえた課題	総合学習センター 多目的ホール3	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達に関する脳科学と心理学についての講義 <ul style="list-style-type: none"> ◇脳のはたらきと心の育ち ◇発達障害児の理解と対応 ○子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題についての意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ◇学校の抱える諸課題 ◇課題を予防する生徒指導 ◇カウンセリングマインド
B	国の教育政策や世界の教育の動向	総合学習センター 多目的ホール1	<ul style="list-style-type: none"> ○国の教育政策について① <ul style="list-style-type: none"> ◇第4期「教育振興基本計画」に関する講義と意見交換 ○世界の教育の動向について <ul style="list-style-type: none"> ◇教育先進国の「ICT教育」を中心とした教育事情の講義と意見交換 ○国の教育政策について② <ul style="list-style-type: none"> ◇「令和の日本型学校教育」に関する講義と意見交換
C	学習指導要領の改訂の動向等	総合学習センター 多目的ホール1	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の改訂の動向に関する講義および、持参した学習指導案の見直しと、それを基にした話し合い ○今後、どのような授業をつくっていききたいかのレポート作成と発表
D	学校における危機管理上の課題	総合学習センター 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校における危機管理上の課題や危機管理のあり方に関する講義 ◇どの学校でも起こり得る危機の事例や場面をもとに、危機管理ポイントや対応の仕方についての意見交換
E	ICT研修	総合学習センター 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ◇岡崎市が進めるGIGAスクール構想についての講義 ◇GIGAスクール環境を生かした授業のアイデアの紹介、グループ討議 ◇電子黒板で「協働的な学び」を支援する授業づくりの実習

(4) 小学校教諭免許状取得研修

小学校教諭免許状取得研修は令和5年度より廃止となった。

なお、学校の管理職においては、中学校教員の資質の向上及び円滑な小中学校の人事交流に資するため、大学の通信課程を活用するなどにより小学校教諭2種免許状を取得できるよう各教員に呼びかけ等を行う。

(5) 現職研修事業

現職研修を推進し教職員の資質の向上に努めることを目的として、各小中学校でさまざまな取組が学校独自の年間計画のもとに行われる。計画とその結果は年度の初めと終わりにそれぞれ市教育委員会に報告される。事業内容には教職員に対する研修や研究発表に係わる活動及び研究成果のまとめ等がある。

(6) 新任教師の集い

次年度の新任教師が集い、1年目の教師が企画・運営する諸活動を通じて4月からの教育活動に生かす。研修内容は教師としての基礎・基本を学ぶための、学級開きの心得、授業の基礎・基本、板書の仕方、タブレットの活用法の他、先輩の体験談やフリートークなどがある。

(7) 中堅教諭等資質向上研修

令和3年度より愛知県が主催する研修の大幅な見直しが行われたことに伴い、これまでの「10年経験者研修」を「中堅教諭等資質向上研修」と改めた。

中堅教諭等資質向上研修は在職期間が5年または10年を経過した全教員を対象に、教育公務員特例法第24条に基づき、現職研修の一環として研修を実施し、教員の資質向上と使命感を養うと共に、専門性の向上、得意分野の伸長を図ることを目的として、研修を行う。

(8) 岡崎市教員免許状更新講習

教員免許更新制は、平成 21 年度から導入された国の制度である。

平成 22 年度から、岡崎市の教員免許状更新講習受講対象者に、教員として必要な資質能力が保持されるよう、最新の教育について知識や技能を習得させることを目的とし、岡崎市独自の講習を開設していた。令和 4 年 7 月 1 日に教員免許更新制が発展的解消されたことに伴い、岡崎市教員免許状更新講習を廃止とした。

9 教育委員会特別委員会

市の計画に基づく委託事業等を円滑に企画・運営するために、教育委員会特別委員会が設置されている。それぞれの会の委員は各小中学校の校長・教頭・教諭によって組織され、委員の選出に当たっては、他の会の委員との重複を避け、同じ学校の職員に偏ることがないように配慮されている。

■特別委員会

委員会名	活動内容	委員数
月報「岡崎の教育」編集委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・6班編成の取材・編集 ・「岡崎の教育」毎月配付（PDFデータ） ・月1回の定例編集会議 ・年一回市民への回覧 ・教育関係諸機関への送付 	32名
教職員の研修検討委員会「教員研修OKポータル」	<ul style="list-style-type: none"> ・「教員研修OKポータル」の編集発行（ダウンロード版を含む） ・ダウンロードの仕方や使用方法、活用方法の周知 	5名
教職員の研修検討委員会「新任教師の集い企画・運営」	<ul style="list-style-type: none"> ・「新任教師の集い」の企画運営 	5名
教職員の研修検討委員会「新たな教師の学び」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】、ブラッシュアップ研修に向けた準備と運営 ・新たな教師の学びに向けた調査研究 	9名
特色ある学校づくり推進委員会「コミュニティ・スクール」	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入に向けた研究と資料提供 ・コミュニティ・スクールの理解促進 	6名
特色ある学校づくり推進委員会「未来型の教育」	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全校が参加できるオンライン授業の企画、運営 	7名
部活動地域移行検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック部活動実施状況の把握及び成果・課題の周知 ・子供や教員の部活動地域移行に関する実態調査の実施 	13名
ICT教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡崎市プログラミング学習モデルカリキュラム」の改定 ・タブレット端末活用状況の調査と評価 	12名
郷土読本編集委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校向け「おかざき」3年4年6年・中学校向け「岡崎」の改訂 	10名
授業改善委員会「教育課程研究」	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果分析と本市における課題の把握 ・課題に対する具体的な授業改善の方法や内容の提示 	8名
補助教材検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・公費負担補助教材の検討 	5名
英語が話せるおかざきっ子研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語動画（OK English）の改訂 	12名
いのちの教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのち」を大切にできる子供の育成に向けた実践研究 ・「SOSの出し方」教育等の研究、発信 	6名
教職員の倫理観向上委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の倫理観を向上し、不祥事を未然防止するための研修計画の作成と資料提供 	6名

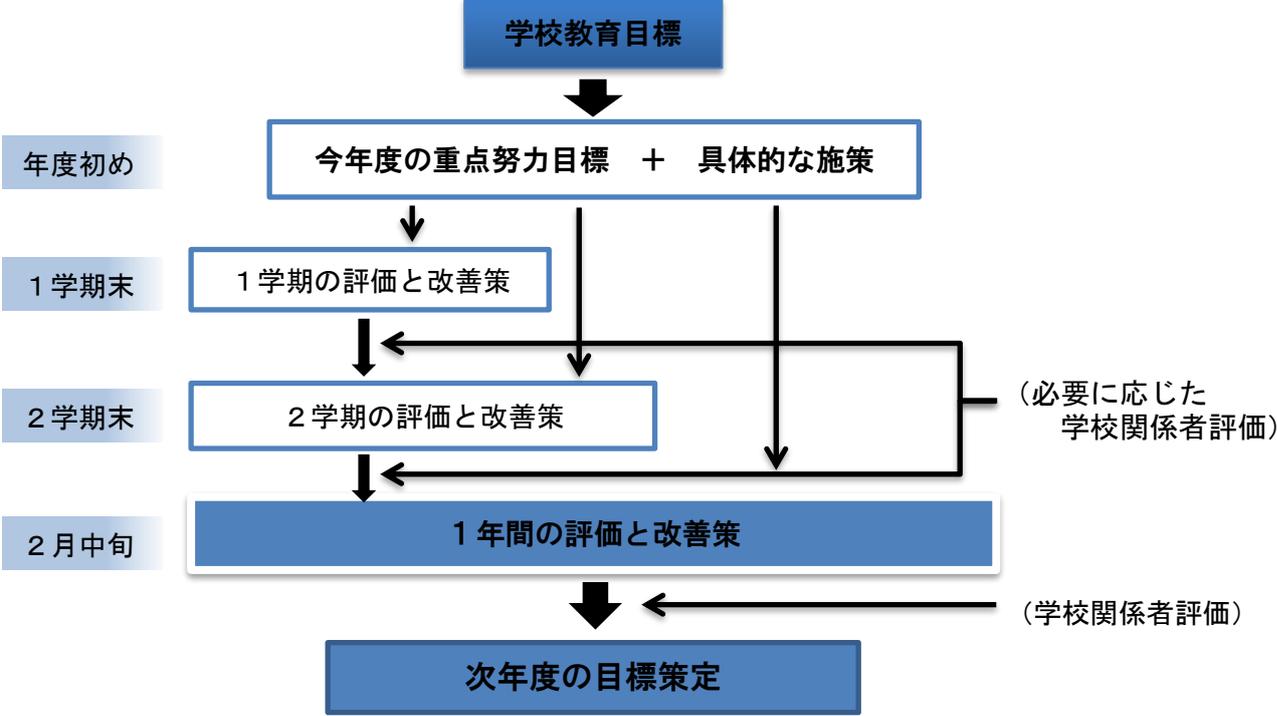
■ その他の関係委員会等

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
教育支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年長児保護者対象就学説明会 ・ 「そよかぜ相談」による就学相談 ・ 教育支援（就学指導）委員会の開催 ・ 教育相談員による教育相談 	23 名
特別支援教育 連携協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な支援を必要とする子供について、教育、医療、福祉、労働等の関係諸機関の連携を図る会を開催 ・ 「みどりファイル」を軸に連携のあり方を検討 	23 名
岡崎市いじめ問題 対策連絡協議会	いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携、その他、いじめの防止等のための対策を推進するために必要な事項に関する情報交換、連絡及び協議	10 名
岡崎市長期欠席等 対策連絡協議会	長期欠席の未然防止と初期対応をはじめとした児童生徒への指導の適正化を図り、将来的な社会的自立を実現するための効果的な対応を検討	11 名
アレルギー対応検討 懇談会	医師・学校関係者で、学校におけるアレルギー対応について必要な事項を検討	11 名
学校事務共同実施 運営委員会	共同学校事務室において事務を円滑に実施するため、学校事務と共同実施の支援、ブロック間の調整のための情報交換及び協議	12 名

II 学校教育

10 学校評価(学校経営評価)

岡崎市立の小中学校を対象に、学校評価は実施されている。年度ごとに教育目標を設定し、その成果を評価することで、教育内容の質の向上を図ることを目的としている。各小中学校では、年度初めに、学校教育目標を基本として、重点努力目標が策定される。同時に、目標達成のための具体的な施策が策定され、学校関係者評価委員会に対して説明されるとともに、市教育委員会に報告される。1学期末と2学期末は、それぞれの学期における目標の達成状況について、校長の教員評価(学校経営評価)が行われる。また、学校関係者評価委員会は、授業や学校行事の参観、教職員や児童生徒との対話を行い、中間評価を実施することもある。3学期には、各小中学校長を中心として、全職員が、「教育活動診断票」に基づき保護者や児童・生徒による外部アンケートを実施し、成果の見られた点や反省点を洗い出すとともに、自己評価を実施する。そして、自己評価の結果及び今後の改善方策についてまとめた上で、学校関係者による評価を実施し、次年度への改善策や目標が策定される。



■学校関係者評価委員会

市内 67 校に設置される。委員会は、各小中学校長・学校評議員 5 名以内(学区有識者、社会教育委員代表、民生児童委員代表、PTA の代表等)、担当教諭 1 名、児童生徒の代表(各校 10 名程度)、その他委員長が必要と認める者で構成され、学校の教育活動に対して、地域や保護者だけでなく、子供の声を取り入れることができる組織作りがなされている。

学校評議員は、校長の求めに応じて、学校運営に関し、意見を述べる。

学校関係者評価委員会は、1 年間に 3 回開催される。1 学期は、各小中学校長が、教育方針、目指す子供像、重点努力目標等を学校評議員に説明する。2 学期は、学校の様子などについて、子供と学校評議員を交えて話し合う。3 学期は、学校評議員による学校関係者評価を行う。

11 開かれた学校づくり

(1) 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携

幼稚園等の「遊び」を通して学ぶ、幼児期の教育活動から、教科学習が中心の小学校の教育活動への円滑な移行を目指し、交流や連携（情報の連携・行動の連携）をさらに一層深めることが求められている。

ア 交流・連携推進の目的

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を幼保小で共通認識し、その視点をもって、子供たちに様々な気付きや思いやりの心を育む。
- ・幼児・児童の発達段階を学習することで、教師の子供理解を高める。
- ・幼小の滑らかなカリキュラムの連携を推進する。
- ・小学校入学当初における生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実させ、小1プロブレムを乗り越える力を身につけさせ、小学校生活への適応を円滑にする。

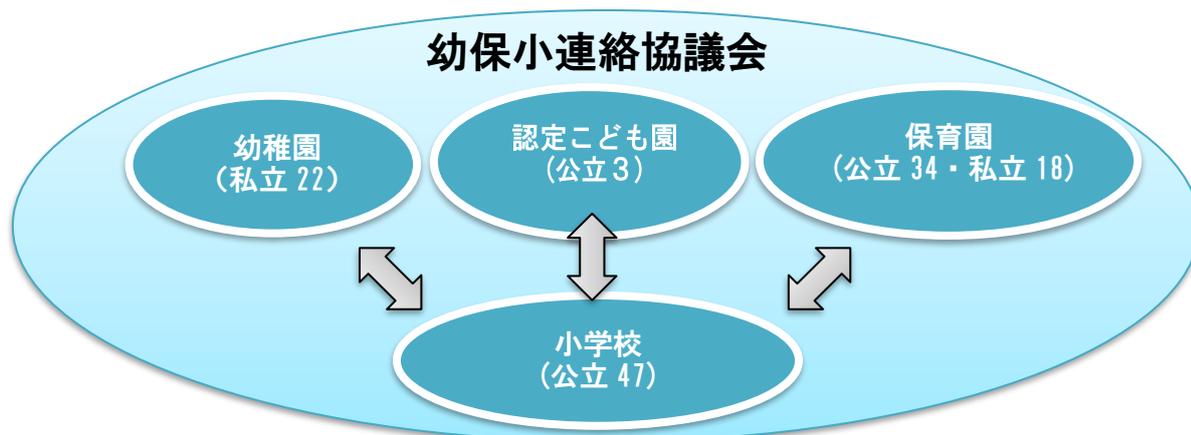
イ 組織的・計画的な取組

岡崎市幼保小連絡協議会を年4回開催する。第3回の拡大会議については、全小学校と、幼稚園・保育園・認定こども園の担当者が参加し、連携活動を推進する。

(2) 岡崎市幼保小連絡協議会

ア 活動の概要

平成17年度、岡崎市教育委員会と岡崎市福祉保健部が中心となり、岡崎市幼保小連絡協議会〈準備会〉を立ち上げ、平成18年度は、それをさらに充実し、正式に発足した。平成21年度からは、会の事務局を岡崎市教育委員会学校指導課とこども部に置き、事業にあたっている。



この協議会は、岡崎市の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校が、それぞれの教育の独自性と連続性を理解し合いながら、交流や連携を図ることにより、子供の生きる力を伸ばし、すこやかな育ちを支えることを目的とする。

Ⅱ 学校教育

イ 主な取組

- (ア) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の推進
- (イ) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の実態把握と分析
- (ウ) 講演会・研修会等の啓発活動
- (エ) 関係諸機関との連携

ウ 組織の構成員

- (ア) 学識経験者
- (イ) 岡崎市小学校長会の代表者
- (ウ) 岡崎市私立幼稚園の代表者
- (エ) 岡崎市公立保育園長会の代表者
- (オ) 岡崎市私立保育園長会の代表者
- (カ) 小中学校教諭、私立幼稚園教諭、私立保育園保育士、公立園保育教諭または保育士

子供たちが豊かな心を育み、健やかに成長するためには、家庭・地域社会との連携もさることながら、学校間の連携（相互交流）も不可欠である。

幼児教育から義務教育の9年間を見通しての幼保小間の連携教育は、一人一人の子供の特性を理解し、発達段階に応じたきめ細かな指導に取り組むことが可能で、その効果も大きい。また、幼保小間の連携は、子供たちの「他を思いやる心」や「自立心」の育成に大いに役立っている。

子供の健全育成に向け、地域や家庭を基盤にした市民総参加による子育てのネットワーク化を図るとともに、幼保小の教師の共通理解のもと、授業参観や行事参観等を通して様々な異年齢交流を展開している。

(3) 中学校区児童生徒健全育成協議会

中学校区児童生徒健全育成協議会は、中学校区のPTAが中心となり、関係諸団体との密接な連携を深め、児童生徒の健全育成を推進するために平成13年度に組織づくりが開始された。小学校、中学校及び関係諸団体と連携を密にして運営することにより、小中一貫した生徒指導と児童生徒及び学区住民の防犯に対する意識高揚を図った。平成15年度には15中学区で組織化された。その後、携帯電話の普及等による問題行動の広域化や変質者被害の多発等を踏まえて、市内全中学校区の校長と地域の代表が集まる情報交換会を2回開催した。平成16年度は、市内の全ての中学校区で組織化を図り、その代表者と校長を集めて、中学校区児童生徒健全育成連合協議会が発足した。平成18年度は、全国で起きた「いじめ自殺」を受け、その対応策を協議した。平成19年度は、「いのちの教育」アクションプランの推進に向けて、子供たちの健全育成に向けた活動を展開した。平成20年度からは、「いのちの教育」アクションプラン推進協議会の地域部会として活動を継続した。平成23年度以降、各中学校区の協議会では、学校・家庭・地域・関係諸団体との連携をより一層確かなものとし、児童生徒の健全育成を地域全体で支える体制が強化されている。

12 いじめ・長期欠席対策

(1) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会

岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会を設けて、いじめや長期欠席に関するそれぞれの事業の連携を図り、児童生徒へ一層きめ細やかな支援を行うために、臨床心理士、医療機関、専門機関の代表等の助言を得て健全育成推進事業、長期欠席対策推進事業を推進する。

(2) いじめ・長期欠席相談室事業

臨床心理士の資格を有する者及び子供の発達段階を理解し、子供の実態を把握する力量があり、人格・行動において社会的信望を有し、職務遂行に必要な熱意をもつ社会人を活用し、悩みを抱える児童生徒及びその保護者へのカウンセリング、担任及び関係教職員への指導助言等を行い、児童生徒の支援につなげる。

ア 長期欠席にかかわる「そよかぜ相談室」

【臨床心理士】

- ・原則として、月曜日から金曜日の午前9時から午後6時と土曜日の午前9時から正午の中で、教育相談センターにおいて、相談活動・ケース会議等を行う。
- ・学校からの派遣要請があり、教育委員会が派遣の必要があると認めた場合、学校現場との連携を基にした緊急派遣を行う。(学校や家庭を訪問、教育相談センターでの教育相談や支援)

イ 実績（平成26年度に心理士を2名から3名に増員）

■臨床心理士による相談にかかった人（延べ人数）（令和7年3月末現在）

	本人	保護者	教員等	合計
平成27年度	854人	1,958人	292人	3,104人
平成28年度	850人	1,977人	321人	3,148人
平成29年度	894人	2,009人	320人	3,223人
平成30年度	788人	1,874人	360人	3,022人
令和元年度	807人	1,939人	286人	3,032人
令和2年度	950人	1,816人	333人	3,099人
令和3年度	686人	1,734人	351人	2,771人
令和4年度	635人	1,818人	289人	2,742人
令和5年度	713人	1,644人	232人	2,589人
令和6年度	719人	1,575人	295人	2,589人

Ⅱ 学校教育

(3) 「キッズ岡崎こころの電話」

ア 概要

昭和 56 年度に始まった全ての市民を対象にした「心の電話おかざき」を、平成 23 年度から「キッズ岡崎こころの電話」とし、小中学校及びその保護者に対象をしばって教育的援助を行う。保護者や先生、友達にも相談できない悩みや問題を、電話で話し合うことにより、多感な時期である小中学生やそれを支える保護者が明るい生活を送れるようにする。また、相談内容によっては専門機関、専門家を紹介して相談者の問題解決を助ける。現在 5 名の専門相談員によって対応している。市内小中学校新入生を対象に、電話番号等の入ったシールを配布した。

【電 話】 83-5660

【受付時間】 火曜日～金曜日 正午～午後 7 時 00 分
土曜日 正午～午後 4 時 30 分

【休 日】 日曜日、月曜日、国民の祝日
12 月 28 日～翌年 1 月 4 日

イ 相談件数 (令和 6 年度)

小学生	中学生	保護者	計
3	3	1	7

(4) メンタルサポートクラブ事業

心の支援者を組織し、長期欠席の児童生徒の家庭を訪問し、良き相談者としての立場から側面的に援助する事業である。

(5) スクールカウンセラー

全中学校 20 校(小中連携型配置校 3 校を含む)及び全小学校 47 校(拠点校 10 校、対象校 37 校)にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員の悩み事相談や長期欠席相談に応じる。

(6) 登校支援員

各学校の要請により、長期欠席児童生徒、保護者への支援を行う。また、長期欠席対策主任との連携による校内教育支援センター巡回指導・支援を実施する。

(7) スクールソーシャルワーカー(アドバイザーを含む)

教育相談・支援体制の充実のため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉士等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて、支援を行う。現在、学校勤務経験者を 5 名、社会福祉士を 5 名、アドバイザーを 1 名、合計 11 名を配置している。

(8) 校内フリースクール（F組）

何らかの事情で学校や教室に行きづらさを感じていたり、集団生活が苦手不安を抱えたりする児童生徒が、教室復帰だけでなく、もてる可能性や能力を最大限に伸ばすことで、社会的な自立に向けた力を育む場所である。令和2年度に3校、令和3年度に5校、令和4年度に6校、令和5年度に6校の中学校に段階的に設置し、市内全中学校へ校内フリースクールを開設した。小学校にも、令和6年度に3校、令和7年度に2校に設置した。担任と支援員を配置し、児童生徒への指導・支援を行っている。

(9) 夜間学級（S組）

何らかの事情で学校や教室に行きづらさを感じており、他の生徒が学校にいる時間帯は登校できないが、夕刻以降であれば登校できる生徒や、家から出ることができない生徒を対象としている。夕方以降の時間帯で、週1回程度開設し、もてる可能性や能力を最大限に伸ばすことで、社会的な自立に向けた力を育む場所である。令和6年度に中学校5校、令和7年度に5校設置し、担任と支援員を配置し、生徒への指導・支援を行っている。

13 危機管理対策

平成 13 年 6 月 8 日に起きた大阪教育大学教育学部附属池田小学校における児童等殺傷事件を受け、学校における危機管理体制の確立が急務となった。岡崎市では、防犯ブザーや、防犯ホイッスルを配布するとともに、直ちに岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを作成した。以後、各校はそれに基づいて各校（園）に危機管理マニュアルを作成し、教職員の対応や役割分担の確認を毎年 4 月に行ってきた。

平成 15 年 12 月 18 日には京都府宇治市宇治小学校に不審者が侵入し、小学校 1 年生が負傷する事件が発生した。そこで、市内の不審者被害の多発の現状を踏まえて、岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを改訂すると共に、平成 16 年 1 月には不審者対策の避難訓練研修会を岡崎警察署の全面協力を得て市内の校務主任が全員参加して行われた。この研修会を踏まえて自校の危機管理マニュアルの見直しを図り、防犯教室を実施すると共に、児童生徒一人一人に引き渡しカードを作成し、参観日などの機会に保護者への引渡し訓練を実施した。また、警察、少年愛護センター、市防犯交通安全課などの専門機関や地域住民との連携も進んでいる。そのひとつに、児童生徒の登下校の安全ボランティアを中心とした S S V（スクール・サポート・ボランティア）の拡充がある。平成 16 年度の中学校区児童生徒健全育成連合協議会の立ち上げもあり、その後、学校・家庭・地域の確かな行動連携が加速した。平成 17 年度には、小 1 児童の下校時を狙った痛ましい事件が広島、栃木で発生し、平成 20 年 5 月には、豊田市で女子高生が殺害される事件も発生した。さらに、平成 23 年 3 月 11 日には、東日本大震災が発生した。

危機管理マニュアルや防犯・防災マップの改善を図るとともに、児童生徒が自ら身を守るという安全意識を育てていくことが急務である。

(1) 携帯用警報ブザー（防犯ブザー）の配布

ブザーは岡崎警察署生活安全課が斡旋するものを選定し、平成 13 年 6 月に小中学校に各 1 個、さらに、9 月には小中学校に職員数 + 5 個を配布した。

(2) 夜間反射材付き防犯ホイッスル・防犯ブザーの活用

防犯ホイッスルは、交通安全にも役立つように、夜間反射材のついた首下げ式のホイッスルを選定した。首にかける紐は、安全のために少し強く引くと二つに分かれるものを採用した。平成 16 年 2 月に市交通安全課が小学校 1、2 年生に配布した。また、市安全安心課から平成 16 年度に新 1 年生を含め、小学生全員に配布され、その有効活用を図っている。

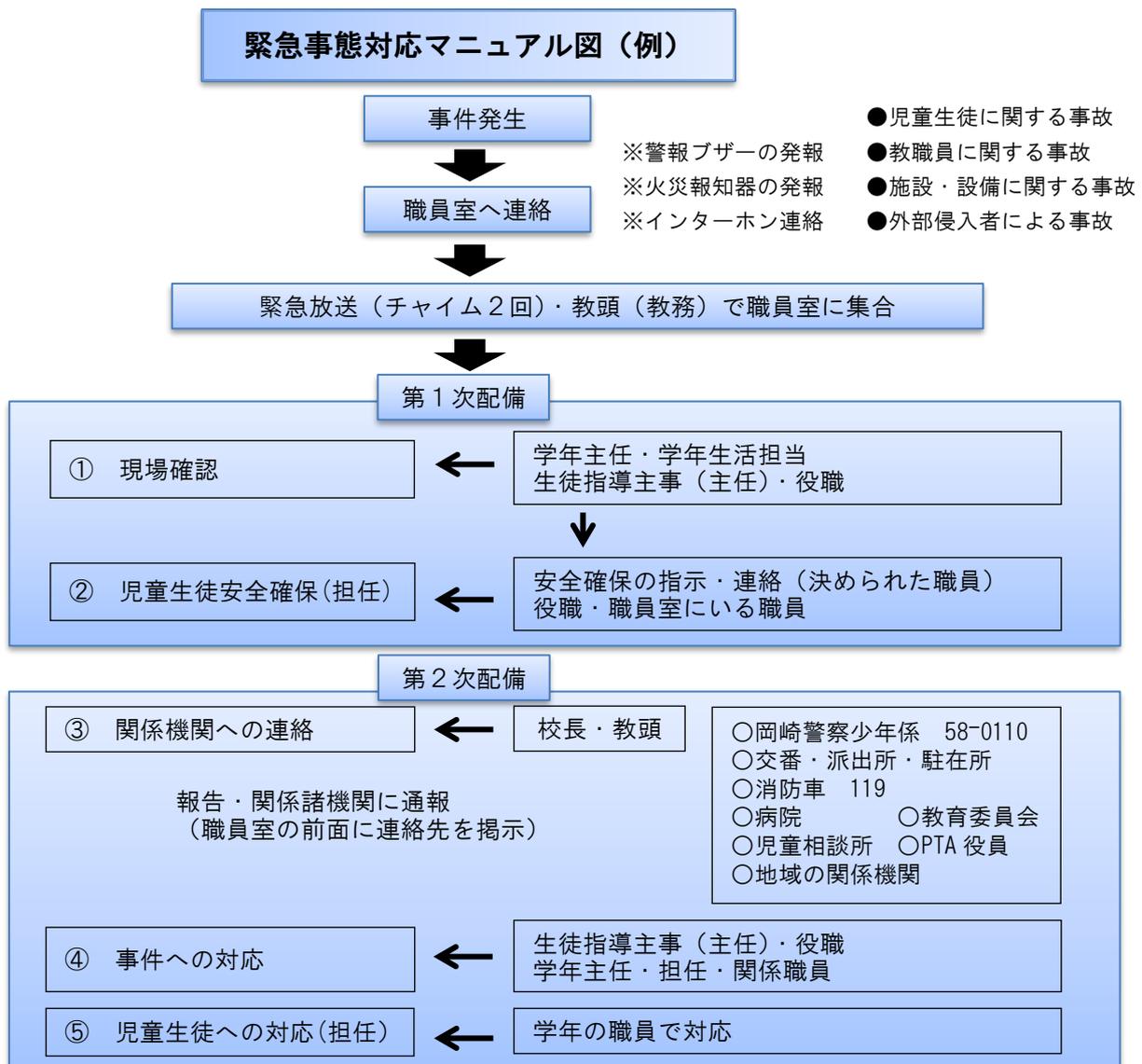
平成 17 年度には、市内全中学生に防犯ブザーを 5 月中旬に配布して、児童・生徒の安全確保に努めている。平成 18 年度以降毎年 4 月、新小学校 1 年生と、新中学校 1 年生に防犯ホイッスル、防犯ブザーを配布している。平成 27 年度は、小学生全児童に対して防犯ブザーを配布した。

なお、平成 28 年度からは、新小学校 1 年生のみに防犯ブザーの配布を行い、平成 29～令和 2 年度は民間から寄贈された防犯ホイッスルも市内全小学生に配付した。

令和3～7年度は以前のとおり、新小学校1年生への防犯ブザーの配付を行った。

(3) 危機管理マニュアル作成

岡崎市小中学校危機管理マニュアルは、「日常の安全確保」「緊急時の安全確保」「家庭や地域社会の協力を得て取り組むべき事項」を骨子として事件の予防策と事故発生時の対応が定められ、実際に取り組むことができるように具体的な内容を明記している。毎年4月当初に各学校においてマニュアルを作成し、その内容について、実際に避難訓練や教職員のみによる訓練を行い、教職員に十分周知するようにしている。また、平成19年度から学校情報メールシステムが確立され、市内全小中学校が緊急時の連絡手段として活用している。平成27年度から校外学習に対する安全管理、平成28年度から組体操における安全対策も加えている。



Ⅱ 学校教育

市立小中学校における大規模地震についての対応

1 児童生徒の安全対策

- (1) 地震に対する危機管理マニュアルの作成や通学路の安全マップの作成等を行い、日ごろから地震における対策をしっかりとっておく。
- (2) 「南海トラフ地震に関する情報（臨時）」が発表された場合は、落ち着いて行動し、テレビ・ラジオ等から正確な情報を収集するよう努めるとともに、児童生徒の安全確保を行う。
- (3) 事前に情報がない状態で地震が発生した場合は、危機管理マニュアルに沿って行動し、児童生徒の安全確保に努める。児童生徒の在宅時は、臨時休校や授業再開の時期など、必要に応じて保護者に連絡する。

2 防災教育

児童生徒に対する防災教育は、教育活動の一環として行うものとし、具体的実施内容は、年間教育計画で定めるところによる。

○地震発生時の非常配備体制

ア 事前の地震情報がない状態で地震が発生したとき

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	①震度3の地震が発生した時	管理職を中心に情報の収集・交換
第1非常配備	①震度4の地震が発生した時	管理職と必要に応じた教職員若干名の配備（市教委への電話連絡）
第2非常配備	①震度5弱の地震が発生した時	教職員の半数程度の配備
第3非常配備	①震度5強以上の地震が発生した時	全教職員の配備

*上記の場合以外においても、各学校の自主的判断により非常配備につく。

*被害の状況に応じて、校長判断で配備を解く。（市教委へ電話連絡必要なし）

*震度5強以上の場合は、全小中学校の避難所が開設されるので、必要に応じて対応する。

イ 南海トラフ地震に関連する情報が出た場合

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	南海トラフ地震臨時情報（調査中）の発表	管理職を中心に情報収集・交換 「南海トラフ地震臨時情報」に注視し、配備について検討する。
第1非常配備	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表	管理職の配備 「南海トラフ地震臨時情報」に注視し、対応につ

		いて検討する。 (市教委へ電話連絡)
第2 非常配備	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒) の発表	管理職の配備 「南海トラフ地震臨時情報」に注視し、準備を行う。

14 就学・奨学制度

(1) 就学援助制度

経済的理由によって、就学困難な児童及び生徒に対し学用品、通学用品費、学校給食費、修学旅行費などの費用の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助者数

(令和7年3月現在)

区 分		準要保護	要 保 護	計	備 考
小学校	人員	1,426 人	84 人	1,510 人	小学校全児童数 21,113 人
	対全児童	6.75%	0.40%	7.15%	
中学校	人員	892 人	39 人	931 人	中学校全生徒数 11,186 人
	対全生徒	7.97%	0.35%	8.32%	
計	人員	2,318 人	123 人	2,441 人	32,299 人
	対全児童	7.18%	0.38%	7.56%	

(%は小数点第3位四捨五入)

(2) 特別支援教育就学奨励制度

学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいの程度に該当する児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒について、その就学経費の一部を補助することにより保護者の経済的負担の軽減を図る。

就学奨励者数

(令和7年3月実績)

区 分	対象 児童・生徒数	扶助者数※	扶助率
小学校	895 人	641 人	71.62%
中学校	297 人	185 人	62.29%
計	1,192 人	826 人	69.30%

※ 扶助者数は辞退者（就学援助制度によって扶助している者等）と費用の支弁を受けなかった者を除いた数。

(3) 奨学資金制度

経済的な理由によって、修学困難な学生に対し修学に必要な資金として年額40万円を無利子で貸付けを行う。教育の機会均等及び有用な人材の育成に寄与することを目的とする。

ア 対象

大学、短期大学、専修学校（専門課程）に在学する学生

イ 貸付実績

年度	人数	金額
令和元年度	40人	16,000,000円
令和2年度	37人	14,800,000円
令和3年度	54人	21,600,000円
令和4年度	57人	22,800,000円
令和5年度	59人	23,600,000円
令和6年度	51人	20,400,000円

(4) 私立高等学校等授業料補助金概要

私立高等学校等に在籍する者の保護者等、授業料を負担している者のうち、公私立学校間における授業料負担の格差是正を図り、もって教育の機会均等の原則を確保し、あわせて市立学校教育の振興に寄与するために、予算の範囲内において、授業料の補助を行う。

ア 補助金額

年額上限12,000円

※ 実質授業料負担額が12,000円未満の場合は、当該授業料額を限度とする。

イ 補助金交付実績

年度	人数	金額
令和元年度	1,869人	22,394,000円
令和2年度	842人	9,952,000円
令和3年度	772人	9,153,000円
令和4年度	695人	8,289,000円
令和5年度	715人	8,506,000円
令和6年度	1,017人	9,002,000円

15 全市的行事

(1) 中学校総合体育大会

市内の全中学生を一堂に集めてスポーツの実践や理解の機会を与えることにより、学校間の親睦とスポーツ精神を養う。令和元年度まで、総合開会式は岡崎市中央総合公園・市民球場で行われ、市内全中学校から約1万1千人の生徒と職員が参加した。令和2、3年度は、緊急事態宣言が愛知県に発令されたことを受け、中止となった。その後も総合開会式は実施していないが、令和5年度からは、コロナ感染拡大防止対策を大幅に緩和し、入場制限等を行わず、通常に近い形で開催することができている。令和7年度の競技は、全12種目を13の会場で実施している。



〈令和元年度 中学生総合体育大会 総合開会式〉

(2) 中学生の主張コンクール

自分の身の回りの生活や社会に関して、中学生らしい清新で建設的な意見を訴える。自分の主張を考え、聞き手に伝えることを意識して文章化することを通じて、自分の考えを認知する能力や論理的思考力を高めるとともに、社会の一員としての自覚を高めることを目的として実施されている。令和2年度までは、夏季休業中に市内各中学校の代表者21人が発表し、市内中学校の生徒及び保護者、一般の方も聴衆者として参加してきた。令和3年度からは、会場に一堂が介しての主張コンクールではなく、各学校において主張作文に取り組み、学級や学年、全校の場で発表する場を設定する形で取り組んでいる。自分の主張を分かりやすく書く力とともに、話す聞く力も高めていく。

(3) 岡崎市小中学校書き初め展

優れた書写の作品を鑑賞し、書写技能を高めることができるようにすること、日常の書写指導の成果を表すことを目的として実施されている。各校から代表者の作品が岡崎市美術館に展示され、毎年6000人近くの来場者がある。平成30年度から2日間開催となっている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催中止となった。令和3、4年度は、感染対策を施し、人数制限を行う中で開催した。令和5年度以降は、従来の形で岡崎市美術館にて開催されている。

(4) 岡崎のハーモニー

市内全小中学校の代表児童生徒が参加して、日頃の練習の成果を発表し合う。岡崎市民会館あおいホールを会場とし、その年のテーマをもとにステージ案を構想し、合唱、オーケストラ、吹奏楽等、多彩な音楽を演奏する。

令和6年度は、東西南北の4ブロックのステージ構成のつながりを意識した華やかな音楽会を目指した。特にエンディングはオーケストラ伴奏と3ブロックによる歌唱で、さらに迫力あるステージとなった。

令和7年度は、4ブロックのステージがつながりをもちながらも、各ブロックのステージ内容に個性が見られる、魅力ある音楽会を目指す。一方でオープニングが1ブロック、エンディングはオーケストラ伴奏と3ブロックによる歌唱の形態を踏襲し、伝統と新しさ、それぞれのよさを感じられる「岡崎のハーモニー」を目指す。

＜プログラム＞

- ・「岡崎讃歌」
- ・「夢 ふくらませ」
- ・北ブロック・西ブロック
- ・東ブロック・南ブロック
- ・吹奏楽ステージ
- ・エンディング



〈ブロックステージの様子〉

合同合唱とオーケストラによる「夢 受け継いで」「さようなら」

(5) 理科作品展

岡崎市の児童生徒の理科への興味・関心を高め科学する心を育てるために、優秀な理科研究物や創意工夫作品を集め展示する。児童生徒の出品作品は、冊子「理科の研究」としてまとめられる。平成11年度から優れた作品に対して木村資生科学賞が、平成18年度から自然科学研究機構から未来の科学者賞が授与されている。また、自然科学研究機構研究員による「自然科学研究機構コーナー」などを設置している。

令和2年度は、Webによる写真での作品公開を行い、令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度からは、再び岡崎中央総合公園武道館に移して開催している。

(6) 技術・家庭科作品展

昭和49年から続いている技術・家庭科作品展。岡崎市内の児童生徒のものづくり意欲の向上と市民の理解を深めるために、小学校の家庭科の授業やクラブ活動、中学校の技術・家庭科の授業や部活動等で製作した作品を展示する。

令和2年度は、12月18日から年度末まで、Webによる写真での公開とした。令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度より、中央総合公園にて、おかざきっ子展、理科作品展とともに同日開催としている。令和7年度も同様の形で開催予定である。

Ⅱ 学校教育

(7) 生徒市議会

昭和48年に生徒模擬市議会としてスタートし、昭和58年に生徒市議会へと名前を変えた生徒市議会は、岡崎市内の全中学校の代表が市政に対するさまざまな問題について質問・提案を行う今年度で51回目を迎える行事である。企画・運営は市内全中学校の生徒会で組織する生徒会連絡協議会が行う。それぞれの学校が独自に市政を学習する機会を通して、質問・提案を作成し、答弁は岡崎市各部局の部長により行われる。中学生が岡崎を見つめ考えることを通して、ふるさとを愛する心を育み、将来の有権者として市政を学習するよい機会となっている。同時に、市内全中学校の生徒会が協力して企画・運営をし、情報交換をするなど、学校間の交流をする絶好の機会にもなっている。

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となったが、翌令和4年度は、3年ぶりに開催することができた。そして、令和6年度は50回を迎え、記念誌「生徒市議会のあゆみ」を刊行した。



〈生徒市議会〉

(8) 小中学生イングリッシュ・フェスティバル

自らの考えを英語で発表できる場を提供することにより、小中学生の生きた英語力の養成を目的に実施される。学習した英語を使い発表することで自信をつけると同時に、他の発表者のスピーチを聞くことにより英語学習の意義が再認識できる。平成15年度から、岡崎市せきれいホールで夏季休業中に開催された。平成20年度から、小学生も参加して開催された。発表されたスピーチの内容は「岡崎市小中学生イングリッシュ・フェスティバル作品集」として1冊の本にまとめられ、市内の小中学生の「読み物教材」としても活用される。平成23年度からは岡崎市総合学習センター大ホールで開催している。発表内容は、スキット・スピーチである。令和2年度以降は実施していない。

(9) 造形おかざきっ子展

児童生徒がより多くの作品に接し、創造する喜びと意欲をいっそう高めるための野外展も、本年度で第62回展を迎えようとしている。

令和元年度から展示会場を岡崎中央総合公園内とし、認定こども園・小中学校（附属3校を含む）の全児童生徒の作品を一堂に展示している。令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、Web上での開催とした。

令和7年度（第62回展）のテーマは、「あーっ！とびっくり世界旅行」である。テーマを「岡崎」から「世界」へ広げ、多様性や文化、風景、人々、歴史を表現するなど、幅広いアプローチを可能にした。



〈造形おかざきっ子展〉

家族や友達と一緒に、作品を直接鑑賞できる野外展のよさを再確認できる機会としたい。

(10) おかざきッズ プログラミング・フェスタ

令和の時代にふさわしい新しい学びの場を岡崎の子供たちに提供し、未来に向かって自己実現できる子供の育成を支援するという目的のもと、子供たちのプログラミングに対する興味や技能を高められるように、令和元年度より実施している。令和5年度より、岡崎市総合学習センターを会場として実施している。各ブースでは、授業での活動よりも一歩進んだプログラミング体験に取り組むことで、プログラミングに対する興味・関心を一層高める機会となった。また、企業等にも依頼して講師や教材を提供いただいたことで、普段は体験できないようなプログラミング活動も紹介することができた。

令和7年度も、総合学習センターにて実施する。引き続き、企業等に協力を依頼し、最先端のプログラミングを体験できる場として開催予定である。

16 教育関係表彰

教育文化賞

岡崎市の教育文化振興に寄与した、個人又は団体の優れた業績及び現に続けている研究・活動を顕彰する。選考は、本人・個人からの申請又は関係機関の推薦を受け、学識経験者・市小中学校長会役員代表・竜城ライオンズクラブ代表・市教育委員会代表から組織された選考委員会により選考される。平成30年度の応募状況は個人の部が10点、団体の部が25点あり、その中から個人の部で1点と団体の部で2点が表彰された。

なお、教育文化賞はこれまでに多くの個人・団体を顕彰してきたが、平成の終わりとともにその役割を果たしたと捉え、平成30年度をもって休止することとした。

17 総合学習センター

岡崎市総合学習センターは教育に関する調査研究、教育関係職員の研修及び教育に関する資料の収集を行うことにより、本市における教育の充実及び振興を図るとともに、市民の生涯学習の場として、ホール、体育室などの施設がある。

また、教育相談センター分室「ハートピア上地」を設置している。

所在地	岡崎市上地三丁目 12 番地 1 (電話：54-1115)	
開設	平成 23 年 8 月	
建築年度	昭和 57 年度 (平成 22 年度・27 年度・令和 2 年度に部分改修)	
敷地面積	15,822.92 m ² (県有地を県から無償貸与)	
構造規模	延床面積	4,922.23 m ² (県から無償譲渡)
	研修棟	鉄筋コンクリート造 3 階建
	多目的ホール棟	鉄骨造平家建
	体育館棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平家建
駐車場	約 270 台	
利用時間	午前 9 時～午後 9 時	
休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日の平日) 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)	

■生涯学習部門

- ・多目的ホール (多目的ホール棟：定員 410 人)
- ・小ホール (研修棟 2 階：定員 120 人)
- ・体育室 (体育館棟：アリーナ面積 701.76 m²)

※バスケットボール・バレーボール 1 面、
バドミントン 3 面、卓球 12 面



【利用状況 (稼働率)】

	多目的 ホール	小ホール	体育室	平均
令和 4 年度	58.1%	44.6%	63.8%	55.5%
令和 5 年度	37.0%	24.8%	67.1%	48.2%
令和 6 年度	35.6%	25.8%	72.3%	50.0%

Ⅱ 学校教育

■教育研究部門（教育研究所）

(1) 施設内容

ア 研修棟 2階

研修室 1（42 人） 研修室 2（72 人） 研修室 3（30 人） 研修室 4（30 人）
研修準備室（8 人）

イ 研修棟 3階

I C T 室（36 人） 研修室 5（36 人）
リサーチセンター
教育図書室（相談室・視聴覚資料室を含む）
教育研究所事務室

(2) 業務内容

ア 教員研修

中核市移行に伴う各種研修（小中初任者研修、新規採用養護教諭研修、中堅教諭等資質向上研修、新任校長・教頭・教務主任研修など）、現職研修部、特別委員会、自主研究サークルなどの研究団体及び個人の研修・研究活動の拠点

イ 教育研究

教育に関わる専門的・技術的な事項及び教育情報の有効利用・提供方法などの調査研究

ウ 教育アドバイザーによる支援活動

主に若手教員に対しては授業づくりや学級づくりについて、管理職に対しては学校運営に関わる問題に対して随時、指導・助言を行う。その他に、各種研修会において講師として指導にあたる。

エ 教育情報の収集・提供

各研究団体及び個人がそれぞれ保存・管理している研究活動の成果の共有化を図り、有効に活用するための体制を整える。

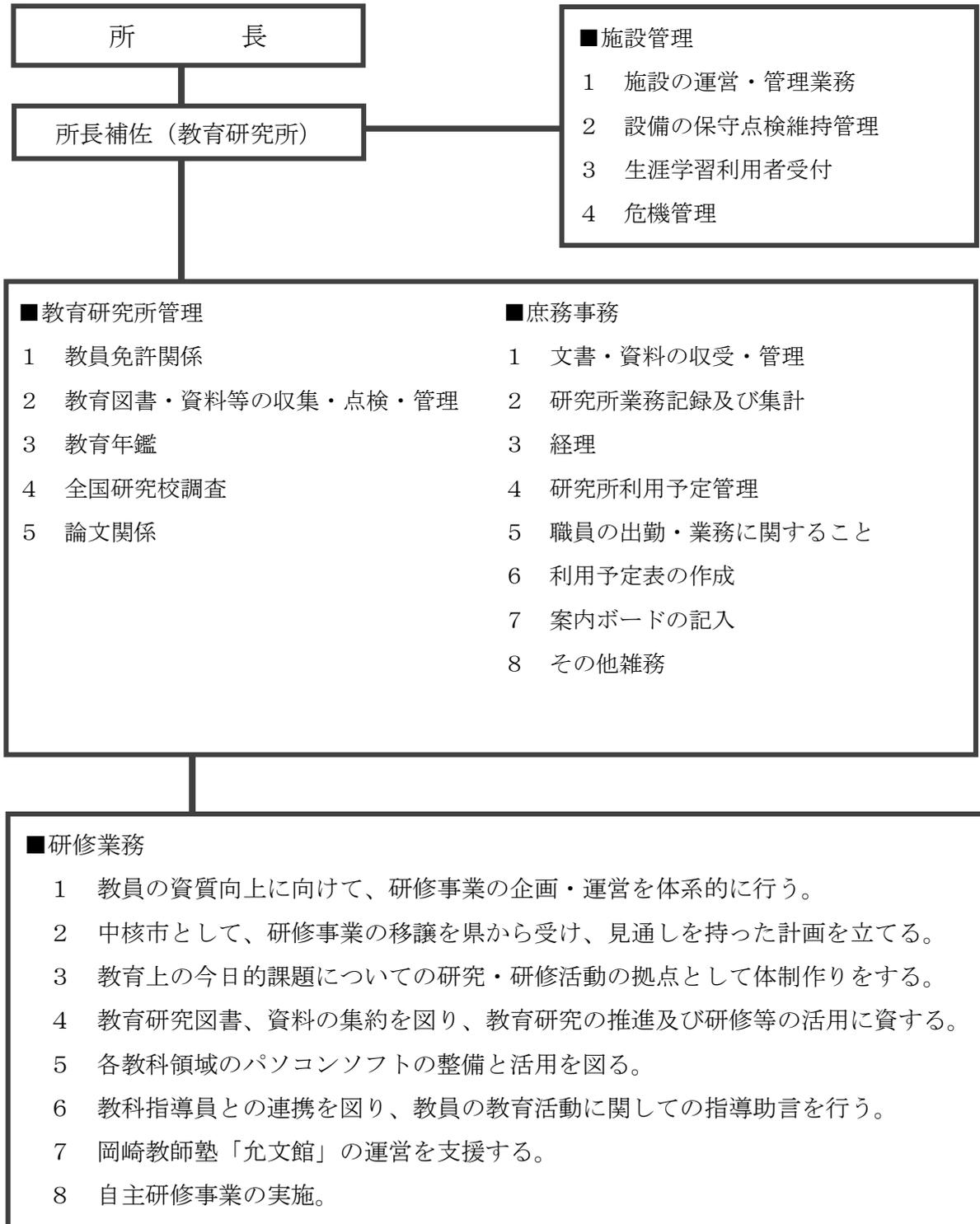
(3) 会場利用状況（令和 6 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	986	1,175	1,370	1,291	1,053	946	750	1,357	622	1,138	1,372	1,043	13,103

(4) 教育資料利用状況（令和 6 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	248	387	341	435	282	259	200	172	195	214	263	184	3,180

(5) 組織及び事業概要



18 教育相談センター

教育研究所の相談部門と長期欠席児童生徒のための校外フリースクールであるハートピア岡崎が合併して、平成22年1月4日に開所した。

「そよかぜ相談室」では、子供の健やかな成長を願って、教育に関する相談に応じ、共に考えながら問題の解決を図っている。相談の対象は、岡崎市在住で来年度小学校へ入学する子供・保護者と、岡崎市内の公立小中学校の児童生徒・保護者・教職員である。

「ハートピア岡崎」では、通所が可能な児童生徒に対して、将来の社会的自立を見据えて支援を行っている。また、通所ができない児童生徒には、家庭訪問や電話による相談の対応も行い、人と対面することに抵抗を感じる児童生徒には、手紙やメール等による相談活動を行っている。平成27年9月には、これまでのハートピア岡崎を「ハートピア竜美」とし、新たに「ハートピア上地」を開所した。

所在地	岡崎市竜美北二丁目6番地1	教育相談センター 電話 71-3201
		ハートピア竜美 電話 71-3207
	岡崎市上地三丁目12番地1	ハートピア上地 電話 58-4831
電話予約 受付時間	月曜日～金曜日 午前9時から午後4時30分（新規、時間変更） 土曜日 午前9時から午後12時（時間変更のみ）	
休館日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）	

(1) 業務内容

■ 「そよかぜ相談室」

ア 長期欠席に関する相談

- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の指導や登校支援に悩む教師からの相談
- ・ ハートピア岡崎への通所や登校支援員による支援に関する相談

イ 就学に関する相談

- ・ 就学先の選択に関して悩む保護者からの相談
- ・ 在籍する子供の就学先に関する学校からの相談

※ その他、特別に教育支援の必要な子供に関する保護者・教師からの相談

ウ 特別支援教育に関する相談

- ・ 家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 児童生徒の指導に悩む教師からの相談

■ 「ハートピア岡崎（竜美・上地）」

ア 通所指導

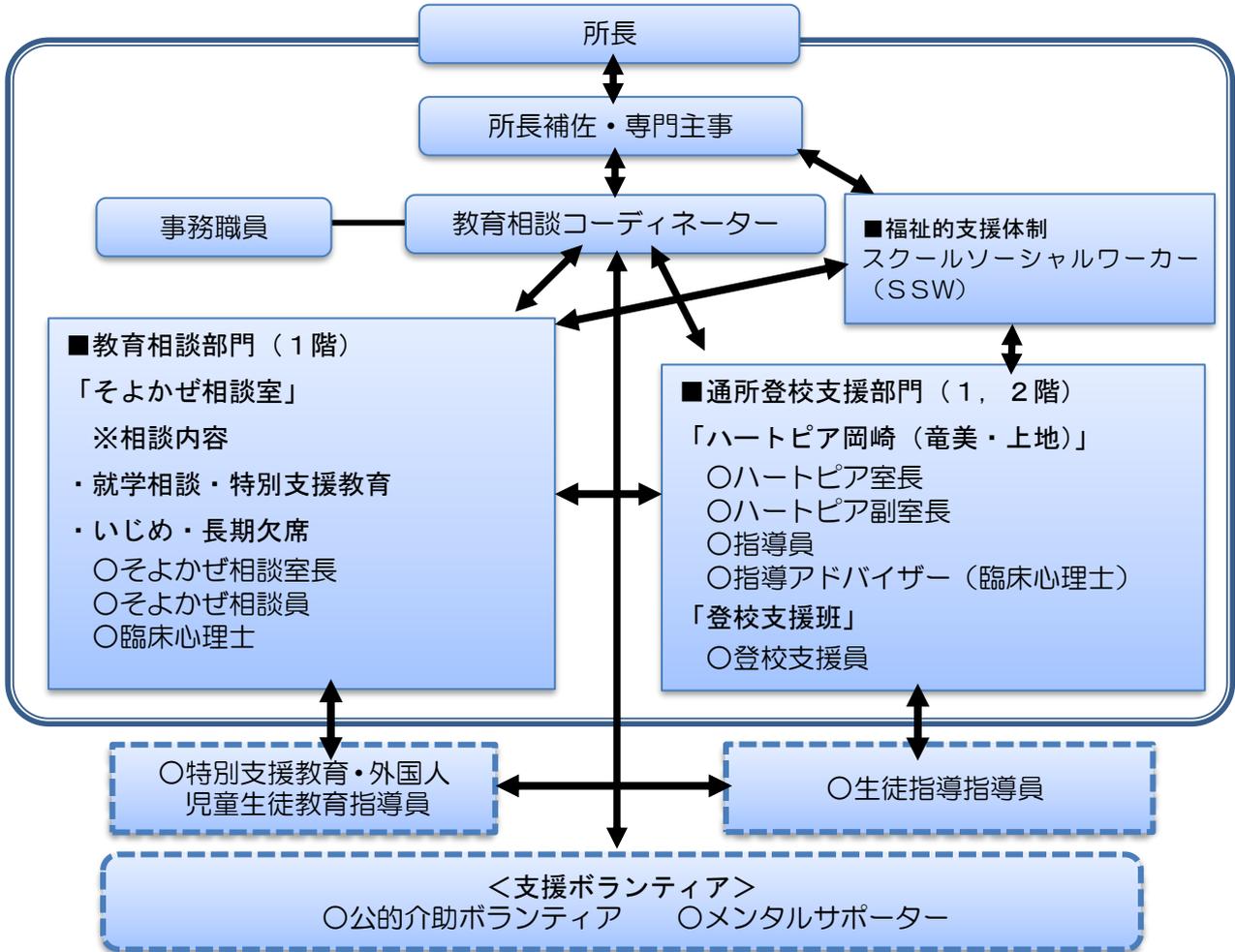
- ・ 社会的自立支援や学校復帰支援
- ・ カウンセリング

イ 登校相談支援活動

- ・ 学校を休みがちな児童生徒に対する相談と支援
- ・ 学校現場との連携を基にした登校支援活動



(2) 組織



(3) 教育相談の状況（令和6年度）

月	相談・支援状況										ハートピア利用状況			
	ハートピア 指導員		臨床心理士		そよかぜ 相談員		登校支援員		SSW		登録 生徒	通所数	面談	見学
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数				
4	99	109	157	222	34	62	17	58	322	479	7	36	7	2
5	110	123	161	217	83	149	24	98	373	554	9	78	1	5
6	147	157	162	221	86	191	65	166	405	657	11	79	1	0
7	88	101	186	260	87	190	49	126	453	614	11	72	0	3
8	11	11	141	213	22	50	30	75	297	377	11	7	0	0
9	102	105	149	217	14	18	65	124	446	585	11	90	0	4
10	76	85	158	209	19	25	68	152	496	689	12	106	4	2
11	151	168	159	233	10	11	76	147	418	570	15	115	5	5
12	113	132	163	228	23	33	57	135	475	604	16	106	1	2
1	107	121	156	233	18	19	75	168	416	544	16	104	0	4
2	103	111	110	163	7	16	50	124	410	571	16	129	0	1
3	110	118	120	173	12	30	34	108	457	616	16	59	0	1
合計	1,217	1,341	1,822	2,589	415	794	610	1,481	4,968	6,860		981	19	29

II 学校教育

19 学校給食

(1) 学校給食センター施設概要

センター名	開設年月日	敷地面積	建物面積
北 部	平成 19 年 4 月 1 日	11,691 m ²	5,391 m ²
東 部	平成 27 年 9 月 1 日	12,282 m ²	6,537 m ²
西 部	令和 7 年 1 月 1 日	9,639 m ²	5,032 m ²
南 部	昭和 57 年 4 月 1 日	4,604 m ²	2,021 m ²

(2) 学校給食センター関係職員

(令和 7 年 5 月 1 日現在)

	市		県	協 会							合計
	所長	所長代理	栄養教諭	事務局長	事務員	栄養士	汽かん員	業務職員 I	業務職員 II	用務員	
北部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	2	80	4	93
東部センター	1	1	3	1	11	3	1	1	101	4	127
西部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	2	0	1	90	4	102
南部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	1	52	3	63
計	1	1	12	1	17	7	3	5	323	15	385

※理事長は含まず。副理事長が事務局長と兼務。

(3) 年度別実施状況

年度	給食回数			年間給食数			
	※こども園	小学校	中学校	※こども園	小学校	中学校	合計
1	173	173	172	74,281	3,938,920	1,905,357	5,918,558
2	164	164	164	73,142	3,842,941	1,812,652	5,728,735
3	68	190	190	32,094	4,288,289	2,068,117	6,388,500
4	0	190	190	0	4,297,280	2,116,458	6,413,738
5	0	187	187	0	4,113,358	2,111,280	6,224,638
6	0	187	187	0	4,075,178	2,137,441	6,212,619

※令和元年度 3 月及び令和 2 年度 4～5 月は、新型コロナウイルス感染症により学校休業のため、実施回数等が減少している。

※こども園は令和 3 年 7 月で終了

(4) 年度別 1 日当りの給食数

年度	※こども園	小学校	中学校	合計	年度	※こども園	小学校	中学校	合計
1	453	24,067	11,963	36,483	4	0	23,785	12,263	36,048
2	462	24,019	11,946	36,427	5	0	23,314	12,460	35,774
3	486	23,857	12,090	36,433	6	0	22,924	12,524	35,448

(5) センター別給食実施状況（1日当たり） （令和7年3月31日現在）

センター名	区分	こども園	小学校	中学校	その他	合計
東 部	校 数	0	19	7	2	28
	学級数	0	258	117	17	392
	食 数	0	6,503	3,960	528	10,991
北 部	校 数	0	13	6	1	20
	学級数	0	217	97	1	315
	食 数	0	5,905	3,250	44	9,199
西 部	校 数	0	8	3	1	12
	学級数	0	185	74	1	260
	食 数	0	5,496	2,572	36	8,104
南 部	校 数	0	7	4	1	12
	学級数	0	168	68	1	237
	食 数	0	4,843	2,274	37	7,154
合 計	校 数	0	47	20	5	72
	学級数	0	828	356	20	1,204
	食 数	0	22,747	12,056	645	35,448

(6) リクエストランチ

児童生徒が自ら選んだ献立を実施することにより、学校給食に対する興味・関心を持ち、望ましい食習慣の実践への意欲の高揚を図っている。募集対象校は1年で19校あり、各学校は、給食実施献立の中から料理を組み合わせることで1食分の献立を応募する。採用された献立はリクエストランチとして、次年度の献立に反映させている。

令和6年度のリクエストでは、主食はごはんやパン、中華めん等が挙げられ、食缶のおかずは、ラーメンのつゆ、カレーシチュー等が多くみられた。フライパットのおかずは揚げ物が多く、とり肉の竜田揚げ、ハムとチーズのはさみ揚げ等、保冷バットやタッパーのおかずはげんきサラダやフルーツゼリーミックス等に人気が集まった。

(7) 令和7年4、12月分の学校給食費の無償化

進級・進学等で教育費負担が集中しがちな年度初めにおける保護者の経済的負担を軽減させるため市立小中学校の児童生徒を対象に令和7年4月分、341,071食の学校給食を無償で提供した。この無償化に伴う歳入影響額は97,327千円となっている。また、令和7年度は12月分についても無償化の実施を予定している。

(8) 食育授業の実施

児童生徒の食に関する指導及び管理を目的として、希望する小中学校に対し食育授業を実施している。令和6年度は小学校43校、305クラスに対し、特別活動や家庭科等の時間を通じて、「食べ物のはたらき」や「バランスの良い食事」、「箸の使い方」等の授業を行い、児童生徒の食に関する総合的な思考力・判断力を養うことができた。

《 M E M O 》

Ⅲ 生涯学習

- 第1 生涯学習
- 第2 社会教育施設等
- 第3 文化財
- 第4 社会体育

第1 生涯学習

1 生涯学習事業

生涯学習市職員出前講座

市職員が講師として、市民で構成される団体が主催する集会等に出向き、市政の説明や職員の持つ専門的な知識・技術を提供することにより市民に多様な学習機会を提供するとともに、市民の市政に対する理解と協力を求め、市民と行政とが一体となってまちづくりへの参加意識の高揚を図ることを目的とする。

(令和6年度実績)

講座名称		出席回数	参加人員
まちづくり	岡崎市の人口	1	200
	男女共同参画及び多様な性の尊重に関する取組	1	255
	都市計画道路	1	10
	集落維持	1	11
	QURUWA 戦略による公民連携まちづくり	1	294
	景観の見方・楽しみ方	3	70
	岡崎市の歴史まちづくり	2	41
	狭あい道路	1	8
	これで解決！空き家の適正管理術	6	123
	小計 9	17	1,012
市民生活・ 環境・自然	市民税のしくみ	1	40
	ペットの災害対策（ペット同伴不可・講義のみ）	1	15
	誰が守る？生物多様性	1	8
	わたしたちと水	3	98
	カーボンニュートラル	1	13
	環境美化	1	33
	資源のゆくえ	3	165
	資源とごみの出し方①ーごみの分別再確認ー	1	25
	上下水道あれこれ	2	42
	わたしのくらしと下水道	5	356
小計 10	19	795	

Ⅲ 生涯学習 第1 生涯学習

講座名称		出席回数	参加人員
福祉 ・ 健康	つながる地域づくり	2	60
	終活のすすめ～スゴロクで第二の人生を考えよう～	6	103
	成年後見制度	2	92
	障害者総合支援法	2	35
	ヘルプマークを知っていますか？	2	40
	障がいについて知ろう	2	34
	障がい者コミュニケーション条例	2	27
	高齢者在宅福祉サービス	1	10
	高齢者虐待の防止	4	80
	「認知症サポーター」養成講座	3	58
	【高齢者対象】認知症を予防しよう	14	382
	【高齢者対象】健康長寿を目指そう	33	816
	【高齢者対象】100歳までしっかり食べよう	7	176
	【高齢者対象】毎日せいかつ体操	9	263
	介護保険制度	3	53
	【概ね20～60歳代対象】働き盛りのかたのメタボ予防	1	70
	はやね・はやおき・あさごはん～子ども向け～	6	918
	【小中学生対象】子どもたちに知ってほしい生活習慣病予防	1	18
	「食育」って何だろう？	3	183
	食中毒予防	2	106
	食中毒予防（啓発ソング）	8	279
	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	1	40
	感染症を予防しよう	2	27
	健康づくりと栄養・食生活	8	180
	健康づくりと栄養・食生活～乳幼児～	1	32
	歯と口の健康づくり	6	213
	【幼児・小中高生対象】生と性の健康教育	17	2,946
	たばこについて知ろう	3	253
	【小学生から保護者対象】子どもたちに知ってほしいがん予防	1	47
	【働き世代対象】がんについて知ろう	1	58
【事業所等対象】メンタルヘルス講座（セルフケア・ラインケア）	6	269	
災害時のメンタルヘルス	2	63	

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

	講座名称	出席回数	参加人員
福祉 ・ 健康	こころの病気について知ろう	4	458
	みんなが誰でもゲートキーパー	4	1,021
	【小中学生対象】気づいて よりそい つながるいのち	3	414
	【高校生・大学生対象】こころのトリセツ	3	707
	【学生・保護者対象】デートDV	3	377
	発達障がいを抱える子どもについて考える	1	41
	岡崎市民病院の役割とかかりつけ医	1	52
	がん基礎知識 もしもがんになったら…	3	53
	認知症予防運動コグニサイズ	5	95
	のどをきたえて誤嚥知らず	11	246
	寝たきり予防はお口から	1	42
	元気な心臓でいるために	6	235
	日常生活での感染対策	4	99
	糖尿病を予防して「ぴんぴんころり」	3	62
	血糖値が高めの方へ	1	18
	私ができる救急対応	8	190
	知ってほしい乳がんのこと	1	13
	あなたの腎臓大丈夫？	1	9
	一緒に考えよう！人生最後の過ごし方	6	100
	心臓病の基礎知識	1	35
	小計 52	231	12,198
交流 ・ 地域	親善都市・ゆかりのまち	1	29
	岡崎市の観光	4	83
		小計 2	5

Ⅲ 生涯学習 第1 生涯学習

講座名称		出席回数	参加人員
防災・安全	防犯講座	22	563
	消費者トラブル未然防止講座	4	215
	交通安全教室	20	621
	備えよう！巨大地震	42	2,131
	逃げ遅れゼロへ！風水害	18	820
	防災・減災講座～いのちを守るために～	50	2,081
	避難所の運営を考えよう～運営方針と避難者への配慮～	25	2,826
	避難所運営ゲーム（HUG）	10	256
	地震に備えた住まいづくり	3	92
	起震車の試乗	90	5,784
	初期消火訓練	14	516
	消防車両の見学	22	942
	小計 12	320	16,847
教育・文化	ニュースポーツの紹介	4	83
	人生が豊かになる学び～生涯学習ってなに？～	2	15
	ツールーズ＝ロートレック《洗濯女》を読み解く	2	41
	中世の山中郷	1	30
	岡崎城	6	126
	岡崎の文化財	3	122
	情報モラル・セキュリティ講座	2	30
小計 7	20	447	
合 計		612	31,411

2 家庭教育事業

(1) 家庭教育推進地区事業

(令和6年度実績)

家庭教育推進地区（2学区、2年間）を選定し、地域での家庭教育推進事業の実施を委託した。委託事業では、親子あるいは3世代のふれあい活動、家庭教育の必要性を認識する地域ぐるみの実践活動が実施されている。

学区	事業名	事業の規模
宮崎学区	学校保健委員会	学校、PTA 33人
	読み聞かせ	学校、学区民（かじか会） 12人
	観劇会	学校、PTA 22人
	稚鮎放流	学校、PTA、学区民 15人
	運動会	学校、PTA、学区民 100人
	お茶つき会	学校、PTA、学区民（朗進会） 35人
	魚つかみ	学校、PTA、学区民 30人
	学芸会	学校、PTA、学区民 90人
	親子探鳥会	学校、PTA 30人
	地域に学ぶ会	学校、PTA、学区民 40人
	敬老まつり	学校、PTA、学区民 100人
	農園活動	学校、PTA、学区民 20人
	スポーツ活動	学校、PTA、学区民 80人
	みやざき音楽会	学校、PTA、学区民 130人
	防犯マップ	学校、PTA 40部
	案内状発行	学区全体 390部
生活習慣チェックカード	学校、各家庭 20家庭	
交通安全活動	学校、PTA、登校付き添い隊 10人	
六ツ美中部学区	学校保健委員会	学校、PTA 119人
	観劇会	学校、PTA 291人
	読み聞かせ	学校、学区民（るるの会） 304人
	親子安全教室	学校、PTA 361人
	学区クリーン作戦	学校、PTA、学区民 800人
	運動会	学校、PTA 800人
	学芸会	学校、PTA 800人
	なのはなプロジェクト	学校、PTA、学区民 800人
	ツナグ秋祭り	学校、PTA、同窓会、子ども会、学区民 1,200人
	米、野菜作り体験	学校、学区民 135人
	各種スポーツ活動	PTA、学区民 1,200人
機関紙なのはな発行	学区全体（回覧板） 170部	
安全安心防災マップ発行	PTA 400部	

通学路点検	学校、PTA、総代会	年3回
生活チェックカード	学校、各家庭	随時
あいさつカード	学校、各家庭	年2回
登下校見守り	学校、PTA、学区見守り隊	毎日
防犯活動	防犯パトロール隊（青パトによる巡回）	毎日

(2) わいわい子育て講座

岡崎子育てネットワークの会と共催で、市民センター6館において子育て講座（各1講座3回）を開催した。

（令和6年度実績）

場所	回数	日時	講師名（所属）	演題	参加人数
中央市民センター	第1回	9月6日(金) 午前10時30分～11時45分	川野 佳代 マリンバ奏者	マリンバミニコンサート	保護者18 幼児21 合計39
	第2回	10月4日(金) 午前10時30分～11時45分	伊藤 典子 人形劇団 ひよっこ	人形劇を楽しもう	保護者19 幼児21 合計40
	第3回	11月1日(金) 午前10時30分～11時45分	望月 貴子 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者18 幼児21 合計39
南部市民センター分館	第1回	9月12日(木) 午前10時30分～11時45分	猪飼 由美子 ベビーマッサージ インストラクター	子育ては楽しく	保護者20 幼児20 合計40
	第2回	10月10日(木) 午前10時30分～11時45分	鳥田 知子 県歯科衛生士会	健康な口の中を 育てるのは？	保護者20 幼児19 合計39
	第3回	11月14日(木) 午前10時30分～11時45分	安藤 千枝 劇団 チャチャチャ	親子で楽しむ 劇団チャチャチャ	保護者18 幼児18 合計36
大平市民センター	第1回	9月11日(水) 午前10時30分～11時45分	平岩 ふみよ 竹の子幼稚園 園長	いまのままで十分	保護者14 幼児16 合計30
	第2回	10月9日(水) 午前10時30分～11時45分	志村 貴子 子育てネットワーク	親子ふれあい遊び	保護者13 幼児13 合計26
	第3回	11月13日(水) 午前10時30分～11時45分	山根 美貴 はっぴーdo ファミリー	子どもの事故と 親子遊び	保護者8 幼児9 合計17
岩津市民センター	第1回	9月10日(火) 午前10時30分～11時45分	霜田 美津子 岡崎子どもの本研究会	絵本とわらべうたで 楽しい子育て	保護者12 幼児14 合計26
	第2回	10月8日(火) 午前10時30分～11時45分	柴田 浪子 4婆シスターズ・岡崎マジックメンバー	楽しいマジック	保護者14 幼児14 合計28
	第3回	11月12日(火) 午前10時30分～11時45分	尹 千織 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者12 幼児13 合計25
矢作市民センター	第1回	9月13日(金) 午前10時30分～11時45分	中根 静奈 abc リトミックスクール	楽しいリトミック	保護者9 幼児11 合計20
	第2回	10月18日(金) 午前10時30分～11時45分	三上 正 マジシャン	三上の楽しいマジック	保護者8 幼児10 合計18
	第3回	11月8日(金) 午前10時30分～11時45分	東 りつ子 ナゴヤ音楽教育研究会	親子でわらべうた	保護者6 幼児7 合計13

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

六ツ美市民センター	第1回	9月19日(木) 午前10時30分~11時45分	西野 えみ 言語聴覚士	ことばの先生の あそびやさん	保護者14 幼児14 合計28
	第2回	10月17日(木) 午前10時30分~11時45分	青山 尚子 音楽教室講師	音楽で楽しく 遊みましょう	保護者14 幼児14 合計28
	第3回	11月21日(木) 午前10時30分~11時45分	市川 水青 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者13 幼児13 合計26

第2 社会教育施設等

1 市民センター

本市における生涯学習拠点施設として、8つの市民センターが設置されている。

市民センターでは、学びのきっかけとなる教養・趣味等の入門講座である「定期講座」が実施されている。さらに、市民自らが団体をつくり、講師を招いて行う「自主講座」も多く実施されている。また、南部（分館）を除く7つの市民センターに設置されている地域図書室では、図書の貸出及び返却ができるほか、時季に応じた企画展示も行っており、市民が気軽に学ぶことができる生涯学習の地域拠点となっている。

施設概要

名称	所在地	敷地面積	延床面積	電話番号	開設年月日
中央	上六名三丁目3番地7	2,636 m ²	1,176 m ²	55-8066	平成3年4月23日
南部	羽根町字貴登野15番地 岡崎市シビックセンター内	5,657 m ²	7,891 m ²	51-1579	平成14年4月22日
南部 (分館)	羽根西新町5番地3	3,815 m ²	1,182 m ²	53-7831	昭和56年4月20日
大平	大平町字皿田6番地	3,984 m ²	1,135 m ²	22-0162	昭和55年4月28日
東部	山綱町字天神2番地9	3,341 m ²	1,181 m ²	48-2922	昭和54年4月16日
岩津	岩津町字檀ノ上26番地2	4,705 m ²	1,142 m ²	45-2512	昭和52年4月25日
矢作	宇頭町字小藪80番地1	5,162 m ²	1,121 m ²	31-3202	昭和53年4月24日
六ツ美	下青野町字天神64番地	1,531 m ²	1,110 m ²	43-2510	昭和51年4月26日

2 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、社会教育と学校教育における視聴覚・情報教育の推進を目的に昭和29年設立された。それから令和の今日まで、教材センターとして、また研修センターとして、中心的教育施設であることが求められ、その役割を果たしてきた。現在、教材・教具（機材）の貸出しを中心に、映像・情報に関する様々な教育サービスの提供を行っており、幼稚園、保育園、小中学校、庁内各部署をはじめ、青少年団体、高齢者団体、法人事業所等幅広く積極的に利用されている。

教材については、16ミリフィルムからDVDまで約5千2百点の作品を収蔵し、社会教育・学校教育合わせて年間約3万6千人に視聴されている。

教具（機材）については、プロジェクター、ビデオカメラ、スクリーン、DVDプレーヤー等、様々な視聴覚機器を保有し、それらを独自に保有することが難しい公共・民間各種団体を対象に貸出しを行っている。貸出数は、年間2～3千点にのぼる。

研修センターとしては、「小中学校ビデオ教室」「情報モラル出前講座」などの各種研修・講座を、年間を通じて行っている。うち「小中学校ビデオ教室」は、映像制作を通じて子どもたちのコミュニケーション能力や表現力の育成を図るユニークな事業である。制作作品は国内の映像作品コンクールや視聴覚ライブラリー実施のふるさと岡崎メディアコンクールで毎年入賞・入選しており、岡崎市の視聴覚・情報教育の輝かしい成果となっている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市菅生町1丁目3番地1（岡崎市役所西庁舎南棟2階） 電話 23-6789 FAX 23-6794
業務時間	午前9時～午後5時（木曜日は、午後7時まで）
休業日	土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12月28日～1月4日）

(2) 主な事業

ア ふるさと岡崎メディアコンクール

生涯学習・学校教育・児童生徒の3部門でビデオ・デジタルコンテンツ教材を募集している。優良賞以上の作品は教材として貸出し、又は配信に供することで学校教育及び生涯学習における活用を行っている。

イ 小中学校ビデオ教室

映像作品制作講習会として小中学生を対象に年2回実施している。1日のうちに、コンテ立案、撮影、編集、鑑賞の一連のプロセスを経験することで、映像制作の方法を身に付けるとともに、コミュニケーション能力や表現力の育成を図る。

ウ ビデオ編集サポート

平成16年1月から、ライブラリー所有のノンリニア編集機を用いて、市民を対象に動画や音声編集の支援を随時実施している。

エ 親子映画会

例年7～8月に、市内市民センターと額田センターで出前映画会を行っている。昔

ながらの16ミリフィルム映画の視聴を通じて、子供たちの感性を育み、親子のふれあいを深める場を提供するとともに、家庭教育の推進に努めている。

(3) 貸出教材視聴者数

年度	区 分	視聴者数 合計 (人)	割合	内 訳 (人)		
				DVD	VHS	16ミリ・その他
2	学校教育	55,264	71.9%	47,701	7,535	28
	社会教育	21,564	28.1%	19,553	259	1,752
	計	76,828	100.0%	67,254	7,794	1,780
3	学校教育	34,457	81.1%	31,661	1,064	1,732
	社会教育	8,017	18.9%	7,681	126	210
	計	42,474	100.0%	39,342	1,190	1,942
4	学校教育	137,545	90.0%	136,999	28	518
	社会教育	15,261	10.0%	12,771	468	2,022
	計	152,806	100.0%	149,770	496	2,540
5	学校教育	15,969	46.2%	15,969	0	0
	社会教育	18,567	53.8%	15,512	115	2,940
	計	34,536	100.0%	31,481	115	2,940
6	学校教育	21,887	60.0%	21,540	2	345
	社会教育	14,556	40.0%	11,413	270	2,873
	計	36,443	100.0%	32,953	272	3,218

(4) 貸出教具（機材）点数

年度	区 分	貸出点数 合計 (点)	割合	内 訳 (点)		
				プロジェクター	プレーヤー	その他
2	学校教育	480	27.0%	72	3	405
	社会教育	1,301	73.0%	292	89	920
	計	1,781	100.0%	364	92	1,325
3	学校教育	513	21.7%	42	1	470
	社会教育	1,854	78.3%	353	74	1,429
	計	2,367	100.0%	395	75	1,899
4	学校教育	551	18.3%	44	2	505
	社会教育	2,455	81.7%	498	83	1,874
	計	3,006	100.0%	542	85	2,379
5	学校教育	451	19.4%	30	2	419
	社会教育	1,878	80.6%	382	99	1,397
	計	2,329	100.0%	412	101	1,816
6	学校教育	434	17.6%	38	2	394
	社会教育	2,031	82.4%	419	90	1,522
	計	2,465	100.0%	457	92	1,916

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(5) 親子映画会参加者数

年度	参加者数 (人)
1	822
4	294
5	585
6	615



〈16ミリフィルム映写機〉

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で
令和2～3年度は取りやめ。

令和4年度は募集人数を会場定員の半分に設定したうえで実施

(6) 教材・教具（機材）保有状況

(令和7年4月1日現在)

教 材	保有数	機 材	保有数
購入映像作品 (DVD)	1,197	プロジェクター	18
購入映像作品 (VHS)	1,838	〃 (教材提示装置付)	1
寄贈映像作品 (DVD)	206	ビデオカメラ	26
寄贈映像作品 (VHS)	453	DVDプレーヤー	8
寄贈 (CD-ROM)	62	VTR (VHS+DVD再生機含む)	3
自作映像作品	297	ワイヤレスアンプ	7
自作デジタルコンテンツ	35	ワイヤレス・有線マイク	8
16ミリ映画 (資料映画含)	794	パソコン (MacBook)	7
スライド (組)	13	ビデオ編集システム	1
録音教材	97	ノンリニア編集機 (ビデオ編集用ノートPC)	19
コンパクトディスク	204	デジタルハイビジョン 配信システム	1
		レコードプレーヤー	1
		16ミリフィルム映写機	8
		モニターテレビ	10
		スライド映写機	2
		OHP	2
		テープレコーダー (ラジカセ)	2
		暗幕	11
		スクリーン	14
		フィルム巻取機	1
		フィルム接合機	1
		フィルム検査機	1



〈所蔵するDVD教材〉

3 図書館交流プラザ 愛称:Libra(りぶら)

「岡崎市図書館交流プラザ」は、図書館を核とした「楽・習・交流」を育む魅力ある生涯学習拠点の形成をメインテーマに、市民の知的・文化的ニーズへの対応による自己実現と自主的な活動及び岡崎らしさの発信により、多様な交流機会を創出することを目的として、平成20年11月1日に開館した。

約100万冊の収蔵能力を持つ中央図書館を始め生涯学習・市民活動・国際交流・男女共同参画の各センター機能を統合した市民活動総合支援センター、ホール、スタジオ、ジャズコレクション展示室、歴史資料展示室など、従来の図書館という枠を超えて幅広い分野にまたがり、知的交流を楽しむ施設となっている。

また、施設の設計や運営計画の検討に当たっては、平成16・17年度の2年間にわたる設計段階における市民検討ワークショップやその後のサポーター支援会議に寄せられた、市民の願いが生かされている。

開館後も、ワークショップ等に参加した市民が中心となって、りぶらサポータークラブを設立し、市民主導の生涯学習活動を支えるサポーターとして活躍している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地	
事業年度	平成16年度 基本設計 平成17年度 実施設計 平成18～19年度 本体工事 平成19～20年度 外構工事	
開館日	平成20年11月1日(土)	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	約18,000㎡(屋内駐車場除く)	
主要施設	中央図書館、市民活動総合支援センター(市民活動センター、国際交流センター)、岡崎むかし館(歴史資料展示室)、内田修ジャズコレクション展示室、ホール(可動席最大292席)、スタジオ(大1、中2、小3計6室)会議室6室、和室、創作室、調理室	
駐車場	約450台	
利用時間	午前9時～午後9時	
休館日	水曜日(祝日に当たる場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日)	

(2) 生涯学習

生涯学習活動支援のため、情報提供・相談人材育成などを行う。

- ア 生涯学習相談
- イ 生涯学習情報の収集・提供
- ウ 生涯学習成果の発表・交流
- エ 生涯学習関係講座

(3) 市民活動

自主的な市民活動を応援し、団体の交流促進と市民活動の活性化を進める。

- ア 市民活動に関する相談
- イ 市民活動情報発信
- ウ 活動場所や印刷機器の利用提供
- エ ボランティア活動の相談

(4) 国際交流

外国人と日本人の相互国際理解を促進するセミナー・講座・ボランティア事業を開催することにより、外国人と日本人との市民交流を推進する。

- ア 言語スタッフによる生活・手続き等の各種市民相談
- イ 多言語情報の提供
- ウ 国際理解セミナーの開催
- エ ボランティア事業補助

(5) 男女共同参画

男女共同参画推進のため、意識啓発・交流・相談・活動支援などを行う。

- ア 弁護士による女性のための法律相談
- イ 相談員による配偶者等からの暴力に関する相談及び女性相談
- ウ 男女共同参画関係講座
- エ 女性活躍推進関係講座
- オ 男女共同参画意識啓発

4 中央図書館

中央図書館は、戦災で焼失してから移転を重ね、昭和46年に明大寺町に設置された。以来30年以上にわたり市民に親しまれてきたが、時代の新しいニーズに対応するため、康生地区の再活性化拠点として建設された生涯学習複合施設「岡崎市図書館交流プラザ」の核として、平成20年11月移転リニューアルした。施設の大規模化、ICタグによる自動貸出や自動出納書庫の導入のほか、ブックスタートの実施、ティーンズコーナー設置、ビジネス支援などサービス向上に努めている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地（岡崎市図書館交流プラザ内）
電話	23-3111
構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造3階建
延床面積	7,895㎡（建物全体約18,000㎡、屋内駐車場除く）
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	水曜日（祝日に当たる場合は開館）、特別整理休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	1階 レファレンスライブラリー 地域資料・参考図書・分類別一般図書、専門雑誌コーナー、レファレンスカウンター、閲覧席（198席）、インターネット席（6席）、データベース席（6席）、持込パソコン利用席（18席）、研究個室（5席）、グループ室（1室）
	2階 ポピュラーライブラリー テーマ別一般図書、視聴覚資料・視聴覚ブース、点字図書・録音資料、新聞雑誌コーナー、ティーンズコーナー、ティーンズルーム、外国語資料コーナー、グループ室（2室）、対面朗読室（2室）、閲覧席（430席）
	2階 子ども図書室 児童書、絵本、紙芝居、閲覧席（80席）、インターネット席（1席）、おはなしのへや、授乳室



Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(2) 蔵書状況

(令和7年3月31日現在)

区分	令和5年度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和6年度末合計	
		購入	寄贈等					
一般書	一般書	523,584	9,680	1,152	20,355	-8,528	995	515,056
	大活字	3,401	101	0	87	17	3	3,418
	洋書	5,400	51	0	204	-147	6	5,253
	小計	532,385	9,832	1,152	20,646	-8,658	1,004	523,727
児童書	児童書	53,344	2,013	133	9,280	-7,057	77	46,287
	絵本	31,852	1,547	121	5,438	-3,638	132	28,214
	紙芝居	2,300	81	0	280	-182	17	2,118
	小計	87,496	3,641	254	14,998	-10,877	226	76,619
ティーンズ資料		9,038	768	53	1,251	-275	155	8,763
参考図書		27,992	236	14	146	135	31	28,127
郷土資料		89,240	112	603	100	147	-468	89,387
視覚障がい用	点字	1,613	21	3	26	-2	0	1,611
	録音図書	5,428	0	78	7	80	9	5,508
	小計	7,041	21	81	33	78	9	7,119
視聴覚資料	ビデオテープ	2,898	0	0	1,485	-1,485	0	1,413
	DVD	6,187	98	3	79	28	6	6,215
	CD	9,507	55	1	3	55	2	9,562
	CD-ROM	40	0	0	0	0	0	40
	AV他	0	0	0	0	0	0	0
	小計	18,632	153	4	1,567	-1,402	8	17,230
中央図書館 合計		771,824	14,763	2,161	38,741	-20,852	965	750,972
児童読書活動支援		51,193	1,626	7	2,351	-158	560	51,035
地域図書室		129,095	6,080	299	17,360	-11,383	-402	117,712

(3) 貸出状況

ア 貸出人数

(令和6年度実績)

月	中央図書館 開館日数	一般(団体、 郵送貸出含む)	児童読書 活動支援	児童	計	地域図書室	合計
4	26	21,977	47	4,485	26,509	11,624	38,133
5	26	22,500	148	4,345	26,993	12,127	39,120
6	26	23,381	91	5,331	28,803	12,721	41,524
7	26	23,304	118	6,273	29,695	13,057	42,752
8	27	24,170	13	6,658	30,841	12,863	43,704
9	26	23,536	137	5,217	28,890	12,338	41,228
10	26	22,767	102	4,681	27,550	13,060	40,610

11	26	22,473	146	4,817	27,436	12,279	39,715
12	24	20,976	120	4,459	25,555	11,241	36,796
1	20	18,993	86	4,058	23,137	11,124	34,261
2	23	22,679	6	4,817	27,502	12,192	39,694
3	27	23,761	0	5,355	29,116	12,781	41,897
計	303	270,517	1,014	60,496	332,027	147,407	479,434

イ 貸出冊数

(令和6年度実績)

月	入館者数	一般書	児童書 (児童読書活動支援含む)	計	地域図書室	合計
4	74,051	74,634	39,149	113,783	43,039	156,822
5	79,201	75,151	48,876	124,027	44,114	168,141
6	87,068	76,279	51,147	127,426	46,476	173,902
7	91,323	76,684	56,782	133,466	47,783	181,249
8	101,301	81,202	48,424	129,626	47,019	176,645
9	88,844	76,731	53,842	130,573	44,760	175,333
10	83,208	72,762	47,325	120,087	47,071	167,158
11	84,920	71,571	52,601	124,172	44,481	168,653
12	72,474	70,573	47,713	118,286	41,546	159,832
1	66,695	63,180	39,823	103,003	40,766	143,769
2	82,664	75,749	39,532	115,281	44,777	160,058
3	79,516	78,543	41,290	119,833	47,489	167,322
計	991,265	893,059	566,504	1,459,563	539,321	1,998,884

※ 団体貸出を含む。

(4) 地域図書室

南部・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美・中央の各市民センター、岡崎げんき館

(5) 物流システムによる図書館、地域図書室の連携

図書館及び地域図書室で借りた図書資料は、いずれの施設窓口でも返却できる。また、図書資料の貸出予約をする際には、利用者は受け取る施設窓口を指定することができる。

(6) 児童読書活動支援

児童の読書活動の推進を目的とし、各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援するため、市内小学校等を対象に平成25年度から実施している。実施内容としては、各校の申込みに応じて教科・単元の資料を配送している。

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(7) 額田図書館

額田図書館は、額田町立図書館として昭和 52 年 3 月に開館した。平成 7 年 3 月に増築し、開架室、閲覧室、子ども図書室、新聞・雑誌コーナー等を備えた施設となった。平成 18 年 1 月、岡崎市と額田町の合併により岡崎市立額田図書館に名称変更し、同年 10 月には中央図書館とシステム統合をした。平成 27 年 10 月から本館に続いてブックスタートの定期開催を行う。平成 30 年 2 月、額田支所周辺施設整備基本計画によって、額田支所や額田会館などの機能を集約した複合施設である額田センター（こもれびかん）内へ移設するにともない、施設規模は縮小となった。書架や閲覧机は地元産材の木材を使用している。地域に根ざした図書館サービスの提供を行っている。

ア 施設概要

所在地	岡崎市榎山町字山ノ神 21 番地 1（岡崎市額田センター内）
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建・一部木造平屋建
延床面積	216 m ² （建物全体 1,976 m ² ）
開館時間	午前 9 時～午後 7 時
休館日	月曜日（祝日に当たる場合は開館し、翌日以後の最初の休日でない日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
施設内容	一般図書、児童図書、地域資料、参考図書、新聞雑誌コーナー、おはなしコーナー、閲覧席（一般 15 席、児童 6 席）

イ 蔵書状況

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

区分	令和 5 年度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和 6 年度末合計	
		購入	寄贈等					
一般書	一般書	14,647	613	45	2,529	-2,452	-581	12,195
	大活字	78	0	0	21	-24	-3	54
	洋書	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14,725	613	45	2,550	-2,476	-584	12,249
児童書	児童書	4,491	182	13	361	-184	-18	4,307
	絵本	4,401	249	5	301	-110	-63	4,291
	紙芝居	546	6	0	0	7	1	553
	小計	9,438	437	18	662	-287	-80	9,151
ティーンズ資料	0	0	0	0	0	0	0	
参考図書	220	3	1	20	-16	0	204	
郷土資料	952	0	42	74	-96	-64	856	
合計	25,335	1,053	106	3,306	-2,875	-728	22,460	

ウ 貸出状況

■ 貸出人数

(令和6年度実績)

月	開館日数	一般（団体貸出含む）	児童	計
4	25	706	137	843
5	27	822	138	960
6	26	729	150	879
7	26	721	183	904
8	27	789	243	1,032
9	25	698	136	834
10	27	771	129	900
11	26	721	134	855
12	24	684	137	821
1	23	635	130	765
2	24	742	139	881
3	26	758	161	919
計	306	8,776	1,817	10,593

■ 貸出冊数

(令和6年度実績)

月	一般書	児童書	計
4	2,012	1,453	3,465
5	2,298	1,570	3,868
6	1,953	1,728	3,681
7	2,033	1,787	3,820
8	2,168	2,132	4,300
9	1,906	1,602	3,508
10	2,071	1,591	3,662
11	1,936	1,592	3,528
12	1,904	1,531	3,435
1	1,776	1,418	3,194
2	2,056	1,613	3,669
3	2,117	1,603	3,720
計	24,230	19,620	43,850

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

(8) 図書館開催講座等

図書館では、館内で活動するボランティアの育成を図るとともに、市民の文化・教養を深める手助けをし、さらに読書意欲の向上を促すために各種講座等を開催している。

ア 中央図書館

(令和6年度実績)

名 称	内 容	日数	開催時期
古文書翻刻ボランティア	館内地域資料の古写本について、利用者の利便性向上を図るため翻刻を行う。	12	毎月第3月曜日
ストーリーテリングにおいてよ！ボランティア養成講座	絵本を使わずおはなしを語るストーリーテリングについて、実践する上での基本的な事項について学ぶ。	3	5、6月
ブックスタートボランティア養成講座	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。	3	5、6月
読み聞かせボランティア養成講座	中央図書館子ども図書室でのおはなし会を行う上で必要となる読み聞かせの基本的な事項について学ぶ。	5	9、10、11月
おはなし会	ボランティアによるおはなし会。年3回（春・夏・冬）テーマのおはなし会実施 午前10時30分から10時50分／ 11時から11時20分（火・木曜日） 午後2時30分から3時（土曜日）	141	毎週火曜日 木曜日 土曜日
おはなしと紙しばいの会	図書館スタッフによるおはなし会。年3回（春・夏・冬）テーマのおはなし会実施 午後4時から4時30分	98	毎週月曜日 木曜日
ストーリーテリングにおいてよ！	絵本を使わずにお話語る、ボランティアによるおはなし会。年3回（春・夏・冬）テーマのおはなし会実施 午後3時30分から4時	6	偶数月 第4土曜日
翻訳者 さくまゆみこさん 講演会	「翻訳のおもしろさと難しさについて～子どもの本で考える～」講話	1	6月
福音館書店 寺久保美園さん 講演会	「言葉の力絵の力～本作りの過程で教わったこと～」講話	1	12月
子ども図書館司書体験	図書館司書となって、図書館の仕事を体験する。	5	4、8月
夏休み読書・自由研究相談	読書や自由研究調べの相談に応じる。	4	7、8月
第22回岡崎図書館まつり	おはなし会やワークショップ、マンドリンコンサートなど、様々なイベントを行	9	7月

	う。		
地域福祉課連携展示関連特別講習会「乳幼児を守る安全講習」	赤十字ボランティア指導員による乳幼児へのAEDの使い方やけがの対処法などの実技指導	1	9月
ハロウィンイベント	ハロウィンをテーマとしたおはなし会とフォトスポットの設置	1	10月
プロジェクターを使ったおはなし会	子ども図書室を暗くしてスクリーンに絵本を大きく映して読み聞かせをする。	1	12月
手話と声のおはなし会	ネイティブ・サイナー（手話を母語とするかた）と職員による手話と声のおはなし会	2	4、12月
ティーンズビブリオバトルin りぶら	市内高校生・短大生のパトラーたちが紹介する図書の中から観客が読んでみたいと思った一冊を選び、「チャンプ本」を決める書評合戦	1	12月
市民病院連携展示関連「これからの“みらい”を担うあなたへメディカルスタッフからのお仕事紹介」	「これからの“みらい”を担うあなたへメディカルスタッフからのお仕事紹介～医療職という選択肢～」各職種の仕事内容紹介	1	2月
岡崎むかし館 季節のおはなし会	図書館職員によるおはなし会。岡崎むかし館でいつもと違う雰囲気の中で季節のイベントにあわせた読み聞かせをする。	6	5、7、10、 12、2、3月
法律セミナー 「やさしい相続・生前贈与」	弁護士による法律解説と有料データベース「TKCローライブラリー」の活用セミナー	1	12月

イ 額田図書館

(令和6年度実績)

名 称	内 容	日数	開催時期
おはなし会	図書館スタッフによるおはなし会 午前10時30分から11時（土曜日） 午後4時から4時30分（金曜日）	24	毎月第2土曜日 第3金曜日
絵本作家 わたなべちなつさんトーク&ワークショップ	「かがみのお花カードで「こもればの庭」をつくろう！」講話とワークショップ	1	2月

5 美術館

岡崎市美術館は、美術文化の振興を目的として昭和47年8月に開館した。以来、市民の美術・文化活動の発表・鑑賞の場として、年間約110の美術団体等に利用されている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市明大寺町字茶園11番地3（電話 51-4280）		
構造	本館：鉄筋コンクリート造2階建（延床面積 1,802.53㎡） 東館：鉄筋コンクリート造3階建（延床面積 2,580.29㎡）		
施設内容	本館	1階	展示室2・収蔵庫・事務室・ロビー・常設展示室・荷解室等
		2階	展示室2・収蔵庫2・ロビー・荷解室等
	東館	1階	展示室2・ロビー・デッサンスペース・休憩スペース・控室等
		2階	岡崎アートヴィレッジ（アトライブラリー・ラーニングスペースA.B・岡崎アーティストアーカイブ等）
		3階	資料室等
開館時間	午前10時～午後6時 （入場時間は午後5時30分まで）		
休館日	月曜日、年末年始（12月28日～1月3日）		

(2) 令和6年度展示室利用状況

	利用状況							計	展示延日数（日）	入場者延人数（人）	各催事1日平均入場者数（人）
	市等主催	総合	絵画	書道	写真	工芸	その他				
令和6年4月	0	0	1	0	1	2	0	4	17.5	2,950	168.6
5月	0	3	2	1	3	0	0	9	48.5	3,943	81.3
6月	1	4	3	0	2	2	0	12	61.0	7,218	118.3
7月	0	1	3	3	1	1	0	9	44.0	5,244	119.2
8月	1	1	0	1	0	0	1	4	27.5	4,956	180.2
9月	1	4	2	1	1	2	0	11	59.5	5,063	85.1
10月	1	1	4	1	4	0	0	11	61.5	8,711	141.6
11月	1	0	6	3	3	1	0	14	71.0	6,541	92.1
12月	0	2	1	0	2	1	0	6	28.5	1,680	58.9
令和7年1月	2	2	0	1	2	0	0	7	31.0	11,360	366.5
2月	1	1	1	2	1	1	0	7	41.0	4,673	114.0
3月	1	1	4	5	1	1	0	13	62.0	7,087	114.3
計	9	20	27	18	21	11	1	107	553.0	69,426	125.5

6 美術博物館

岡崎中央総合公園の一角に位置する美術博物館は、平成8年7月6日の開館以来、美術をはじめ歴史・民俗など幅広いテーマを視野に入れた展覧会を年間5本程度開催している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市高隆寺町字峠1番地 岡崎中央総合公園内（電話 28-5000）	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	6,468 m ²	
施設内容	地下1階	特別収蔵庫、収蔵庫1、収蔵庫2、くん蒸室、工作室、スタジオ、作業室
	1階	展示室、セミナールーム、学芸員室、会議室
	2階	レストラン、ミュージアムショップ
開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）	
休館日	月曜日（祝日に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日） 年末年始（12月28日～1月3日）	

(2) 令和6年度展覧会

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均
「ひらいて、むすんで」	4月13日～6月16日	56日	4,457人	80人
「QuizKnockと巡る江戸東京博物館展」	7月13日～9月23日	63日	12,573人	200人
合計		119日	17,030人	143人

※ 9月24日以降は改修工事のため休館。

7 少年自然の家

少年が、自然の中での集団生活（宿泊を伴うものを含む）、集団活動等を通して、情操や社会性を豊かにするとともに心身を鍛錬し、健全な少年の育成を図ることを目的とする。

(1) 施設概要

所在地 岡崎市須淵町字屋名平 44 番地 1（電話 47-2357）

施設敷地面積 211,200.26㎡

名称	構造等	延床面積	収容人数
管理棟	鉄筋コンクリート造2階建	990㎡	
宿泊棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,087㎡	208人
体育館	鉄骨造2階建	649㎡	250人
創作棟	鉄筋コンクリート造木造平屋建	273㎡	96人
毛布小屋	軽量鉄骨造2階建て	65㎡	
天体観測所	鉄筋コンクリート造2階建	56㎡	
丸太小屋	8棟	187㎡	100人
管理小屋	1棟	36㎡	10人
炊事場	3か所	83㎡	
その他建物	倉庫、トイレ等	226㎡	
キャンプ場	2か所		250人
炊飯場	3か所	83㎡	
雨天ファイヤー場	1か所		60人
落葉スキー場	2コース		
遊戯施設	10基		
カヌー場	15艇		
その他	オリエンテーリングコース（28ポイント）、ハイキングコース、広場、旗掲揚塔、火文字塔、遊歩道、避雷針等		

(2) 宿泊施設利用状況

（令和7年3月31日現在）

	31年度		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数
小学校	47	12,099	39	3,394	48	4,249	47	7,819	49	7,958	50	7,885
中学校	0	0	1	31	3	93	2	226	3	511	1	171
少年団体	20	1,222	10	365	9	427	12	497	8	563	13	1,081
一般	19	1,223	15	363	19	697	36	2,057	42	2,759	37	1,717
合計	86	14,544	65	4,153	79	5,466	97	10,599	102	11,791	101	10,854

8 子ども・若者総合相談センター

子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う。

(1) 施設概要

岡崎市十王町二丁目9番地（福社会館内） 電話 64-6665
分室：岡崎市上六名三丁目3番地4（六名会館内）

(2) 相談員 計12人

(3) 主な取り組み

ア 一般相談

社会生活を営む上での困難を抱えている子ども・若者（39歳以下）に関する悩みについて、本人や家族から相談を受け、支援先となる窓口や制度を案内するなど解決策を提案する。

イ 専門相談

一般相談において継続的な相談が必要と認められた方に対し予約制で実施。豊富な知識や経験を有する相談員がカウンセリングを行い、支援計画を作成した上で、継続的に助言や指導を行う。

ウ アウトリーチ

センターへの来所が困難と認められた方に対し、相談員が自宅等へ訪問し相談に応じたり、関係機関等へ同行したりする。

エ 初期支援（居場所づくり）

社会に出ることを難しいと感じている若者への初期支援として、生活習慣や社会生活の基本を身につけるためのセミナーを開催する。

（令和6年度実績）

■ 相談の状況

延べ相談件数 (件)	実人数 (人)	うち新規相談 (人)
2,166	472	216

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

■ 新規相談の内訳

【性別】

男性	女性	その他
112	104	0

【相談者】

本人	本人と保護者	母	父	父と母	その他親族
41	27	113	9	9	14
友人	学校	地域	支援機関	その他	
0	1	0	2	0	

【相談内容】（重複項目あり）

不登校	ひきこもり	いじめ	親子関係	学業進路	虐待	暴力	非行犯罪	発達障がい
58	27	2	86	62	2	7	6	53
精神疾患	生活困窮	就労仕事	対人関係	LGBT	ヤングケアラー	ケアリーバー	その他	
31	10	78	31	2	7	0	37	

《少年愛護部門》

青少年の健全育成の推進と非行防止のための活動を行う。

街頭補導において、センター職員、地域指導員などが市内中心部や各学区を巡回し、少年への声掛けや必要に応じて現場指導等を行う。また、センター職員が市内中学校の校内フリースクールへの訪問を行い、義務教育期間中からの早期対応を行う。

(1) 指導員 計 128 人 (令和7年4月現在)

岡崎警察署少年係	10人	少年補導職員	5人	地域指導員	80人
中学校教員	20人	児童相談センター	1人	社会教育課職員	7人
子ども・若者総合相談センター職員			5人		

(2) 街頭補導

街頭補導は、ぐ犯少年・不良行為少年の早期発見・指導をし、少年非行の早期防止を目的とする。また少年の愛護善導を行う。

ア センター補導 月～金：1日1回（午前または午後）

夜間補導（随時）、市内中心部・繁華街等巡回

イ 学区補導 月1回（午後）、20 中学校区
各小中学校指導教員と地域指導員が集まり情報交換と併せて実施
(令和6年度結果)

		未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	合計
行 為	家 出	0	0	0	0	0	0	0
	怠学・怠業	0	0	0	0	0	0	0
	喫 煙	0	0	0	0	0	0	0
	飲 酒	0	0	0	0	0	0	0
	はいかい	0	26	147	284	3	0	460
	危険行為	0	0	0	0	0	0	0
	不良交友	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	119	270	167	0	3	561
	刑罰法令に 触れる行為	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	2	145	417	451	3	3	1,021

(3) 少年相談

少年非行や問題行動について、面談又は電話による相談業務を行う。

令和6年度実績

面接相談	55 件	計 73 件
電話相談	18 件	

第 3 文化財

1 文化財保護

市内に点在する歴史上・学術上の価値の高い文化財の適切な保護・保存と文化財の持つ意義と大切さを啓発するとともに、常に十分な調査研究を行う。

(1) 文化財保護の主要事務・事業

- ア 文化財の保存・管理の指導助言
- イ 文化財の調査・研究及び指定

(2) 岡崎ゲンジボタル増殖事業

国指定天然記念物「岡崎ゲンジボタル発生地」、及び岡崎市指定天然記念物「ゲンジボタル」についてその発生地である矢作川水系、乙川、山綱川、鉢地川、男川等の河川敷の環境浄化活動並びにホタルの保護・増殖事業を、地元の岡崎ゲンジボタル河合保存会（河合中学校生徒協力）と生田螢保存会（美合小学校児童協力）、鳥川ホタル保存会に委託して実施

(3) 指定文化財及び登録文化財

ア 指定文化財数

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

種 別	国 指 定	県 指 定	市 指 定	計
建 造 物	13	2	16	31
絵 画	6	8	57	71
彫 刻	5	10	45	60
工 芸 品	3	11	40	54
書 跡・典 籍・古 文 書	1	1	21	23
考 古 資 料	0	2	2	4
歴 史 資 料	0	0	4	4
無 形 民 俗 文 化 財	1	1	6	8
有 形 民 俗 文 化 財	0	2	7	9
史 跡	3	3	25	31
天 然 記 念 物	1	6	28	35
計	33	46	251	330

イ 登録文化財数

国登録建造物 20 件 県登録天然記念物 1 件

ウ 新たに指定・登録された文化財

指定	名 称	所有者
国指定重要無形民俗文化財 令和7年3月28日指定	瀧山寺鬼祭り	瀧山寺鬼祭り 保存会
市指定天然記念物 令和7年3月28日指定	愛知教育大学附属岡崎小学校の くすのき	国立大学法人 愛知教育大学



瀧山寺鬼祭り



愛知教育大学附属岡崎小学校のくすのき

(4) 指定文化財保存事業に対する補助

- ア 国指定文化財滝山東照宮本殿ほか2棟保存修理事業
- イ 国指定文化財防災設備等保守点検事業
- ウ 県指定文化財絹本著色二十五菩薩来迎図保存修理事業
- エ 市指定文化財須賀神社祭礼山車及び祭りばやしの花車保存修理事業
- オ 無形民俗文化財保存育成活動事業

(5) 文化財看板の設置・修繕

文化財説明看板（藤川宿本陣跡、本多忠勝誕生地、西大平藩陣屋跡）の修繕

(6) 旧本多忠次邸管理運営事業

施設の管理運営・展示

(7) 六ツ美歴史民俗資料室管理運営事業

資料室の管理運営・展示

(8) 埋蔵文化財調査事業

市内遺跡の発掘・試掘調査

(9) 岡崎城跡整備業務

- ア 岡崎城跡整備委員会の開催
- イ 岡崎城跡龍城堀石垣発掘調査
- ウ 石垣測量
- エ 石垣変位計測

(10) 文化財保存活用地域計画の推進

文化庁長官の認定を受けた「文化財保存活用地域計画」事業を推進

(11) 旧額田郡公会堂及物産陳列所の保存・修理

「旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画」に基づき、看守人室曳家の入札及び関係機関との調整等を実施

2 旧本多忠次邸

旧本多忠次邸は、旧岡崎藩主本多家（本多忠勝系）の末裔にあたる本多忠次（1896-1999）が昭和7年（1932）に東京・世田谷に建てた住宅と壁泉の一部を移築復原したものである。2階建ての建物は、屋根にフランス瓦を葺き、1階の西側には車寄せをつけた玄関、南側中央には三連アーチのアーケード・テラス、東端には2階までの半円形のボウ・ウインドウを配置している。内部は日本間と洋間を共存させた住宅形式となっており、当時流行したステンドグラスやモザイクタイルの装飾、照明器具や家具などをオリジナルのままに設置している。また、前庭では、日本のスパニッシュ建築様式には欠かせないといわれる壁泉を見ることができる。

岡崎市では、建築や意匠等に価値がある旧本多忠次邸を保存し、その活用を通じて、文化財の保護についての関心や理解を深めることを目的として一般に公開している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市欠町字足延 40 番地 1（電話 23-5015）
利用時間	午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 展示替期間
用途	建物展示、館内での常設・企画・季節展示や 講座の開催等、有料貸ギャラリー
入場料	通常無料、企画展示は有料の場合あり
開館日数	307 日
入場者数	10,307 人



(2) 令和 6 年度開催の展示

・イベント

イベント名	会期	日数	参加者数
開館 12 周年記念「涼月祭」	7 月 5 日～7 月 7 日	3 日	147 人
蓄音機演奏会	11 月 30 日、12 月 1 日	2 日	98 人

・企画・季節展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
旧本多忠次邸の端午の節句（五月人形の展示）	4 月 16 日～5 月 6 日	19 日	685 人
あいちの“折り紙” たてもの展 in 旧本多忠次邸	11 月 9 日～11 月 17 日	8 日	413 人
旧本多忠次邸のひなまつり「春～桃の節句を祝う」	2 月 4 日～3 月 9 日	30 日	2,920 人

・貸ギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
不二真直民俗仮面の不思議な世界展	10 月 9 日～10 月 14 日	6 日	280 人
岡崎面寿会作品展（能面）	3 月 27 日～3 月 30 日	4 日	279 人

Ⅲ 生涯学習 第 3 文化財

(3) 令和6年度開催の講座

開催日	講座名	講師	参加者数
10月19日、11月16日	ワークショップ「ペーパークラフトで旧本多忠次邸をつくろう」と建物見学ツアー	笥清澄 村瀬良太	18人
2月23日	歴史文化講座「ひなまつりと五人囃子」	笥清澄 笥侃大	22人
3月2日	体験講座「伝統の香袋づくり」	竹内香織	8人

第4 社会体育

1 体育振興

(1) スポーツ推進委員

ア 人数 119人

イ 選出母体

各小学校区（原則人口9,000人以上3名、人口9,000人未満2名）

ウ スポーツ推進委員連絡協議会事業

（令和6年度実績）

期 日	事 業 内 容	会 場	参 考
4月4日	総 会	岡崎市福祉会館	全員
4月5日	理事会	岡崎市役所分館	理事
6月9日	大平ブロック研修会	美合小学校	研修部
6月22日	西三河地区スポーツ推進委員実技研修会	岡崎中央総合公園	全員
9月7日	愛知県スポーツ推進委員研修会	大府市	希望者
9月24日	理事会	岡崎市役所分館	理事
10月26日	岡崎スポーツフェスティバル2024	岡崎中央総合公園	全員
11月14日	全国スポーツ推進委員研究協議会（～15日）	宮崎県宮崎市	希望者
11月17日	おかざきマラソンv	岡崎中央総合公園及び 周辺道路	ボランティア
11月22日	ラリージャパン	岡崎中央総合公園及び 周辺道路	ボランティア
12月8日	学区交歓ファミリーバドミントン大会	岡崎市体育館	理事、事業部 広報・事業部
12月18日	理事会	岡崎市役所分館	理事
1月19日	岡崎市民駅伝競走大会	市内一円	3人学区2名 2名学区1名
1月31日	東海四県スポーツ推進委員研究大会（～2月1日）	三重県四日市市	希望者
2月22日	岡崎市スポーツ推進委員研修会	岡崎市体育館	全員
3月4日	理事会	岡崎市役所分館	理事

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(2) スポーツ大会等開催事業

期日	行 事 名	会 場	参加者数
4月	第61回岡崎市民春季総合ソフトボール大会	岡崎中央総合公園 球技場他	1,028
	第26回岡崎市民グラウンド・ゴルフ大会	岡崎中央総合公園 多目的広場	379
	第51回岡崎馬術大会	羽根乗馬場	9
	令和6年度岡崎市民射撃大会	藤川射撃場	24
	第58回岡崎市民軟式野球選抜選手オールスター大会	岡崎中央総合公園 野球場	120
	第53回岡崎市アーチェリー大会	岡崎中央総合公園 アーチェリー場	35
	第59回岡崎市民サッカー大会	渡橋河川緑地運動場他	510
	第70回岡崎市民総合バレーボール大会	岡崎市体育館他	372
	第52回岡崎市民ボウリング大会	サンボウル・グラウンドボウル	80
	第54回グライダー市民体験飛行の会	グライダー練習場	22
	令和6年度岡崎市民テニス大会	岡崎中央総合公園テニスコート	274
	第61回岡崎市民弓道大会 近的の部	岡崎中央総合公園 弓道場	281
	第22回岡崎市民オリエンテーリング大会	岡崎中央総合公園第1錬成道場S・G	159
5月	第41回岡崎市民ゲートボール大会	六名公園運動場	76
	第70回岡崎市民総合バレーボール大会 ソフトバレーの部	岡崎中央総合公園 武道館	140
6月	第59回岡崎市空手道大会	岡崎中央総合公園 武道館	158
7月	第2回岡崎市パドルテニス大会	岡崎中央総合公園 武道館	82
8月	令和6年度夏季岡崎市民総合卓球大会	岡崎中央総合公園 体育館	808
	第45回岡崎市民バスケットボール選手権大会	岡崎市体育館	459
9月	第77回岡崎市民水泳大会	愛産大三河高等学校室内プール	136
	第56回岡崎市民陸上競技選手権大会	龍北総合運動場 陸上競技場	643
	第19回岡崎市サイクリング大会	おかざき世界子ども美術博物館S・G	246
	第44回岡崎市小中学生すもう選手権大会	岡崎中央総合公園 相撲場	28
	第9回岡崎市民マレットゴルフ大会	大門河川緑地マレットゴルフコース	48
	令和6年度少林寺拳法岡崎大会	岡崎市体育館 武道場	76
	第65回岡崎市総合剣道大会	岡崎中央総合公園 総合体育館	372
10月	第7回岡崎レクリエーションバドミントン大会	岡崎市体育館	172
	第61回岡崎市総合ソフトテニス大会	岡崎中央総合公園テニスコート	216
	第40回岡崎市総合ハンドボール選手権大会	岡崎市体育館他	324
	第22回健康ウォーク21岡崎大会	吹矢橋公園スタート・ゴール	85
	第53回岡崎市カヌー大会	カヌー練習場	55
	第4回岡崎ミニテニス市民交歓会	岡崎市体育館	66
11月	令和6年度秋の市民ラグビー祭り	龍北総合運動場 陸上競技場他	240
	第109回岡崎市ママさんバレーボール大会	岡崎市体育館	700
	第22回Let'sインディアカ大会	岡崎市六ツ美体育館	82
12月	第49回岡崎なぎなた選手権大会	岡崎中央総合公園 第1錬成道場	46
	第26回岡崎市民綱引き大会	岡崎市体育館	145
	第44回岡崎市民柔道大会	岡崎中央総合公園 第1・2錬成道場	155
	第7回岡崎市民スポーツウエルネス吹矢大会	岡崎中央総合公園 第1錬成道場	81
	第42回岡崎市居合道大会	岡崎中央総合公園 第1錬成道場	43
1月	第40回合気道演武大会	岡崎中央総合公園 第2錬成道場	43
2月	第65回岡崎市民スキー大会	平湯温泉スキー場	22
	第6回岡崎市フルコンタクト空手道選手権大会	岡崎中央総合公園 第1・2錬成道場	57
		合 計	9,097

(3) 学校体育施設スポーツ開放事業

ア 学校体育施設利用状況

(令和6年度)

開放時間数	学 校 名	備 考
420 時間	梅園根石男川美合緑丘 羽根岡崎六名三島竜美丘 連尺広幡井田愛宕福美岡 竜谷藤川山中外本宿生平 秦梨常磐東常磐恵田奥殿 細川岩津大樹寺大門矢作東 矢作北矢作西南矢作南六美中部六美北部 六美南部城南上地小豆坂北野 六美西部豊富夏山宮崎形埜 下山	小学校 46 校
	甲山美川南 竜海葵 城北福岡東海常磐岩津 矢作六ツ美矢作北新香山 北 六美北額田翔山南	中学校 19 校
300 時間	河合	中学校 1 校
	常磐南	小学校 1 校
45 時間	岡崎盲	県立学校 1 校

イ 学校運動場（夜間照明設備）

(令和6年度)

学 校 名	開設年月日	内 容
連尺小学校	(照明 S 55. 8. 17)	7,000 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均204Lx
大樹寺小学校	H14. 4. 1 (移設)	3,500 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均373Lx
矢作北中学校	(照明 S 59. 4. 1)	6,200 m ² ◎軟式野球 1面照明設備 1kw水銀灯60灯平均555Lx
根石小学校	(照明 S 59. 7. 25)	4,900 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均330Lx
竜美丘小学校	(照明 S 59. 7. 26)	4,400 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均281Lx
城南小学校	(照明 S 59. 7. 27)	4,700 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均291Lx
梅園小学校	(照明 S 59. 7. 29)	4,000 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均348Lx
羽根小学校	(照明 S 60. 4. 1)	4,200 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均344Lx
大門小学校	(照明 S 60. 8. 6)	6,400 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均363Lx
小豆坂小学校	(照明 S 60. 8. 8)	6,400 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均293Lx
岡崎小学校	(照明 S 60. 8. 9)	5,000 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均276Lx
上地小学校	(照明 S 61. 9. 27)	5,200 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均307Lx
緑丘小学校	(照明 S 61. 9. 28)	5,200 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均200Lx
井田小学校	(照明 S 62. 9. 4)	5,300 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均218Lx
細川小学校	(照明 H 1. 4. 1)	5,000 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均200Lx
本宿小学校	(照明 H 2. 4. 14)	4,900 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均319Lx
三島小学校	(照明 H 2. 10. 7)	5,900 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均147Lx
六ツ美中部小学校	(照明 H 3. 9. 29)	5,130 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均171Lx
男川小学校	(照明 H 4. 9. 26)	5,454 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯40灯平均177Lx
豊富小学校	(照明 S 53. 3. 29)	7,035 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 1kw水銀灯48灯平均402Lx
福岡小学校	(照明 R 6. 3. 5)	6,250 m ² ◎ソフトボール1面照明設備 LED投光器

2 公益財団法人岡崎市スポーツ協会

(1) スポーツ協会加盟団体

(令和7年3月31日現在)

加盟競技団体	人数	加盟競技団体	人数
岡崎弓道会	148	岡崎市居合道連盟	30
岡崎市サイクリング協会	38	岡崎市アーチェリー協会	54
岡崎水泳協会	51	岡崎市合気道連盟	100
岡崎市相撲連盟	40	岡崎バドミントン協会	630
岡崎卓球協会	1,097	岡崎なぎなた連盟	27
岡崎ソフトテニス協会	309	少林寺拳法岡崎連合会	80
岡崎軟式野球協会	1,040	岡崎市ゲートボール協会	94
岡崎バスケットボール協会	1,878	岡崎市グラウンド・ゴルフ協会	292
岡崎市バレーボール協会	1,175	岡崎市綱引連盟	90
岡崎陸上競技協会	349	岡崎市インディアカ協会	158
岡崎市剣道連盟	832	岡崎オリエンテーリング協会	27
岡崎射撃協会	75	岡崎市ウォーキング協会	60
岡崎市柔道会	145	岡崎市マレットゴルフ協会	53
岡崎乗馬会	6	岡崎市フルコンタクト空手道連盟	121
岡崎市スキー協会	52	岡崎市スポーツウエルネス吹矢協会	94
岡崎ソフトボール協会	938	岡崎ミニテニス協会	58
岡崎ハンドボール協会	453	岡崎パドルテニスクラブ	26
岡崎テニス協会	776	加盟学校体育団体	
岡崎市空手道連盟	378	岡崎市中小学校体育連盟	-
岡崎サッカー協会	700	加盟スポーツ団体	
岡崎市カヌー協会	70	婦人スポーツ教室	338
岡崎市ボウリング連盟	70	六名公園ラジオ体操会	30
岡崎ラグビーフットボール協会	218	混合ソフトミニバレー愛好会	240
岡崎飛行クラブ	30	岡崎アクションスポーツアソシエーション	11
		合計(45団体)	13,481

(2) スポーツ教室開設状況

(令和6年度)

種 目	対 象	参加人員 (延人数)		期 間	回 数	活動時間
カヌー	中・高校生	10	人	6月	1回	480分
居合道	一般	10	人	6～7月	8回	120分
弓道	一般	30	人	6～7月	15回	120分
相撲	小・中学生	24	人	4～11月	32回	150分
ウオーク	一般	29	人	3～11月	20回	180分
柔道	小学生～一般	30	人	4～3月	41回	120分
バドミントン	小学生～一般	190	人	4月2月	20回	120分
ソフトテニス	小学生～一般	180	人	4～7月	15回	120分
テニス	一般	20	人	4～8月	15回	90分
バレーボール	一般女性	120	人	4～3月	36回	150分
ハンドボール	小・中学生	70	人	4～3月	25回	150分
なぎなた	一般	10	人	4～9月	45回	120分
サッカー	小学生	120	人	4～3月	41回	120分
婦人スポーツ (バスケット・卓球・エアロダンス・水泳・テニス・ボウリング・ゴルフ)	一般女性	334	人	4～3月	30回	120分
合計 (14教室)		1,177人				

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(3) スポーツ少年団活動状況

(令和7年3月31日現在)

区 分	対 象	団員数	指導者数
岡崎こども体育教室	小1～小6	51	3
岡崎子供バスケットボール	小4～小6	93	2
岡崎乗馬	小3～高2	12	2
岡崎なぎなた	小1～高3	8	4
少年空手道市体育館	年長～高3	32	6
岡崎子ども女子体操	年少～小4女	41	2
岡崎子供バレーボール教室	小1～小6	29	6
岡崎ラグビー	年少～中3	27	4
岡崎市ソフトボール	小1～小6	16	3
福岡サッカー	小4～小6	38	4
福岡剣道	小2～小6	2	3
福岡バレーボール	小3～小6女	6	2
福岡バスケットボール	小2～小6	96	4
福岡バドミントン	小3～小6	25	2
矢作バレーボール	小2～小6	42	7
岡崎西少年サッカー	年長～小6	156	14
岡崎ハッピー乗馬	年少～高2	4	2
岡崎ボウリング	小1～中3	18	4
岡崎少年野球教室(軟式野球)	小1～小6	10	2
矢南アローズ(軟式野球)	小1～小5	17	2
矢作バンビーズ(軟式野球)	年長～小6	13	2
岡崎南少年野球クラブ(軟式野球)	小1～小6	38	12
六ッ美JVC(バレーボール)	小1～中3	4	3
六南クラブ(バレーボール)	小1～小6女	13	4
岡崎ジュニアバドミントンクラブ	年長～小3	25	4
岡崎北バドミントンクラブ	小3～小6	8	3
上地クラブ(バレーボール)	小1～小6	16	5
岡崎市組討道	3歳～高3	129	11
岡崎竜の子JVC	小1～中3男	12	2
岡崎JVC	小1～小5女	17	5
常磐JVC	小学生女子	13	3
松涛館流空手道教室	年中～中3	39	3
少年空手道大樹寺	年長～中3	29	2
龍城会少年空手道六名城南	年長～中3	13	2
少年空手道矢作	小1～高3	6	2
花園こども空手教室	年少～高3	41	4
少年空手道六ッ美	年長～高3	15	1
美川バレーボール	小学生女子	13	2
Bondsクラブ	小3～小6	21	3
羽根バレーボールクラブ	小2～小6女	12	2
少年空手道美合	年長～中3	14	1
幼児体育教室	年少・年長	56	5
子ども体育トレーニング	年中・小3	126	1
LinkJVC	年中～小6	7	2
合 計 (44 団体)		1,403	165

《 MEMO 》

IV 資料

第1 教育委員会関係

第2 学校関係

第3 体育施設

第1 教育委員会関係

1 歴代教育委員会委員

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
石川 亮	S 27. 11. 1				地方教育委員会制度の改正により S 31. 9. 30 退任
足立 一平	S 27. 11. 1				〃
本間 淳治	S 27. 11. 1				〃
河合 正男	S 27. 11. 1				〃
浅沼 かつ	S 27. 11. 1				〃
石川 小一郎	S 31. 10. 1	S 33. 10. 1	S 37. 10. 1	S 41. 10. 1	S 45. 9. 30 退任
稲垣 利作	S 31. 10. 1				S 33. 9. 5 退任
服部 貞弘	S 31. 10. 1				S 35. 9. 30 退任
佐々木 静江	S 31. 10. 1	S 32. 10. 1	S 36. 10. 1	S 40. 10. 1	S 44. 9. 30 退任
三ツ井 源四郎	S 33. 6. 23	S 34. 10. 1			S 38. 9. 30 退任
内藤 潮邦	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1		S 47. 9. 30 退任
志貴 彦人	S 38. 10. 1	S 42. 10. 1			S 46. 9. 30 退任
永屋 満	S 44. 10. 1	S 48. 10. 1			S 52. 9. 30 退任
内田 克治	S 45. 10. 1	S 49. 10. 1			S 53. 9. 30 退任
石川 巖夫	S 46. 10. 1	S 50. 10. 1			S 54. 9. 30 退任
松野尾 潮音	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1			S 55. 9. 30 退任
中西 かづ	S 52. 10. 1				S 56. 9. 30 退任
稲葉 浅吉	S 53. 10. 1				S 57. 9. 30 退任
岩瀬 敬司	S 54. 10. 1				S 58. 9. 30 退任
天野 一太	S 55. 11. 17				S 59. 11. 16 退任
矢田 香子	S 56. 10. 1	S 60. 10. 1			H 1. 9. 30 退任
糟谷 正孝	S 57. 10. 1	S 61. 10. 1			H 2. 9. 30 退任
後藤 朋美	S 58. 10. 1				S 62. 9. 30 退任
深田 三太夫	S 59. 11. 17	S 63. 11. 17			H 4. 11. 16 退任
前川 修	S 62. 10. 1				H 3. 9. 30 退任
内藤 美智子	H 1. 10. 1	H 5. 10. 1			H 9. 9. 30 退任
太田 清美	H 2. 10. 1	H 6. 10. 1			H 10. 9. 30 退任

IV 資 料

第1 教育委員会関係

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
築 瀬 正 邦	H 3. 10. 1				H 7. 9. 30 退任
杉 山 光	H 4. 11. 17	H 8. 11. 17			H12. 11. 16 退任
杉 浦 壽 康	H 7. 10. 1	H11. 10. 1			H15. 9. 30 退任
仲 井 さ ち	H 9. 10. 1	H13. 10. 1			H17. 9. 30 退任
鈴 木 聰 一	H10. 10. 1	H14. 10. 1			H18. 9. 30 退任
寺 部 曉	H12. 11. 17	H16. 11. 17			H20. 11. 16 退任
大 原 憲 一	H15. 10. 1	H19. 10. 1			H23. 9. 30 退任
畔 柳 美奈子	H17. 10. 1	H21. 10. 1			H25. 9. 30 退任
平 野 有 行	H18. 10. 1				H22. 9. 30 退任
櫻 井 敬 子	H20. 11. 17	H24. 11. 17			H28. 11. 16 退任
土 屋 武 志	H22. 10. 1	H26. 10. 1			H30. 9. 30 退任
小 出 義 信	H23. 10. 1	R 1. 10. 1			R 5. 9. 30 退任
福 應 謙 一	H25. 10. 1	H29. 10. 1			R 3. 9. 30 退任
岡 田 京 子	H28. 11. 17	R 2. 11. 17			
上 原 三 十 三	H30. 10. 1	R 4. 10. 1			
千 野 智 子	R 3. 10. 1				
小 森 保 生	R 5. 10. 1				
田 口 千 代	R 6. 11. 17				

※ 教育長を除く。

2 歴代教育委員会委員長

氏名	就任	退任	氏名	就任	退任
足立 一平	S27.11.1	S29.10.31	深田 三太夫	S61.10.1	S62.9.30
本間 淳治	S29.11.1	S31.9.30	矢田 香子	S62.10.1	S63.9.30
稲垣 利作	S31.10.1	S32.9.30	糟谷 正孝	S63.10.1	H1.9.30
石川 小一郎	S32.10.1	S33.9.30	前川 修	H1.10.1	H2.9.30
服部 貞弘	S33.10.1	S34.9.30	深田 三太夫	H2.10.1	H3.9.30
三ツ井 源四郎	S34.10.1	S35.9.30	太田 清美	H3.10.1	H4.9.30
石川 小一郎	S35.10.1	S36.9.30	築瀬 正邦	H4.10.1	H5.9.30
内藤 潮邦	S36.10.1	S37.9.30	杉山 光	H5.10.1	H6.9.30
三ツ井 源四郎	S37.10.1	S38.9.30	築瀬 正邦	H6.10.1	H7.9.30
石川 小一郎	S38.10.1	S39.9.30	太田 清美	H7.10.1	H8.9.30
内藤 潮邦	S39.10.1	S40.9.30	杉山 光	H8.10.1	H8.11.16
石川 小一郎	S40.10.1	S41.9.30	杉山 光	H8.11.17	H9.11.16
志貴 彦人	S41.10.1	S42.9.30	杉浦 壽康	H9.11.17	H10.11.16
内藤 潮邦	S42.10.1	S43.9.30	仲井 さち	H10.11.17	H11.11.16
石川 小一郎	S43.10.1	S44.9.30	杉山 光	H11.11.17	H12.11.16
志貴 彦人	S44.10.1	S45.9.30	鈴木 聰一	H12.11.17	H13.11.16
内藤 潮邦	S45.10.1	S46.9.30	杉浦 壽康	H13.11.17	H14.11.16
内藤 潮邦	S46.10.1	S47.9.30	仲井 さち	H14.11.17	H15.11.16
内田 克治	S47.10.1	S48.9.30	寺部 暁	H15.11.17	H16.11.16
石川 巖夫	S48.10.1	S49.9.30	鈴木 聰一	H16.11.17	H17.11.16
松野尾 潮音	S49.10.1	S50.9.30	鈴木 聰一	H17.11.17	H18.9.30
内田 克治	S50.10.1	S51.9.30	大原 憲一	H18.10.5	H19.9.30
石川 巖夫	S51.10.1	S52.9.30	寺部 暁	H19.10.1	H20.9.30
松野尾 潮音	S52.10.1	S53.9.30	畔柳 美奈子	H20.10.1	H21.9.30
石川 巖夫	S53.10.1	S54.9.30	平野 有行	H21.10.1	H22.9.30
稲葉 浅吉	S54.10.1	S55.9.30	大原 憲一	H22.10.1	H23.9.30
岩瀬 敬司	S55.10.1	S56.9.30	櫻井 敬子	H23.10.3	H24.9.30
稲葉 浅吉	S56.10.1	S57.9.30	畔柳 美奈子	H24.10.1	H25.9.30
天野 一太	S57.10.1	S58.9.30	土屋 武志	H25.10.1	H26.9.30
矢田 香子	S58.10.1	S59.9.30	小出 義信	H26.10.1	H27.9.30
糟谷 正孝	S59.10.1	S60.9.30	福應 謙一	H27.10.1	H28.3.31
後藤 朋美	S60.10.1	S61.9.30			

※ 平成28年4月1日から新教育委員会制度への移行により委員長職を廃止

IV 資 料

第1 教育委員会関係

3 歴代教育長

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
桑子好次	S27.11.1				S31.9.30 退任
羽田洋	S31.10.1	S35.10.1	S39.10.1	S43.10.1	S47.9.30 退任
鈴木正弘	S47.10.1	S51.10.1	S55.11.21		S55.9.30 退任 S55.11.17 教育委員会委員就任 S57.3.31 退任
横井滋	S57.4.1	S59.11.17			S63.3.31 退任
伊豫田壽夫	S63.4.9	S63.11.17	H4.11.17	H8.11.17	S63.4.1 教育委員会委員就任 H12.11.16 退任
藤井孝弘	H12.11.17	H16.11.17			H12.11.17 教育委員会委員就任 H19.3.31 退任
江村力	H19.4.2	H20.11.17			H19.4.1 教育委員会委員就任 H24.11.16 退任
高橋淳	H24.11.17				H24.11.17 教育委員会委員就任 H28.3.31 退任
	H28.4.1				H28.4.1 新教育委員会制度移行 H30.3.31 退任
安藤直哉	H30.4.1	H31.4.1	R4.4.1	R7.4.1	

《 MEMO 》

第2 学校関係

1 市内学校数

区分	国立法人	県立	市立	私立	計
大 学	0	0	0	4	4
短期大学	0	0	0	3	3
高等学校	0	7	0	4	11
中 学 校	1	0	20	0	21
小 学 校	1	0	47	0	48
幼 稚 園	0	0	0	22	22
盲 学 校	0	1	0	0	1
聾 学 校	0	1	0	0	1
特別支援学校	1	2	0	0	3
計	3	11	67	34	115

2 進路別卒業生数の推移(中学校)

区分	総数	高等学校	専修学校 (高等課程)	専修学校 (一般課程)	就職 その他	高等学校 進学率
平成19年3月卒業	3,586	3,495	0	3	88	97.5%
〃 20 〃	3,632	3,538	2	1	91	97.4%
〃 21 〃	3,722	3,634	1	4	83	97.6%
〃 22 〃	3,672	3,578	0	1	93	97.4%
〃 23 〃	3,614	3,544	2	3	65	98.1%
〃 24 〃	3,652	3,566	0	3	83	97.6%
〃 25 〃	3,639	3,560	0	1	78	97.9%
〃 26 〃	3,766	3,705	0	2	59	98.4%
〃 27 〃	3,680	3,617	1	2	60	98.4%
〃 28 〃	3,753	3,707	2	3	41	98.8%
〃 29 〃	3,675	3,630	1	1	43	98.8%
〃 30 〃	3,698	3,655	3	2	38	98.8%
令和元 〃	3,548	3,500	4	4	40	98.9%
〃 2 〃	3,554	3,512	4	0	38	98.8%
〃 3 〃	3,508	3,446	11	1	50	98.2%
〃 4 〃	3,664	3,618	7	0	39	98.7%
〃 5 〃	3,607	3,565	10	2	30	98.8%
〃 6 〃	3,601	3,555	8	1	46	98.7%
〃 7 〃	3,741	3,675	12	4	49	98.2%

3 児童・生徒定期健康診断

区分	性 別	男										
	小・中別	小 学 校							中 学 校			
	年 齢	6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計
受 検 者 数		1,708	1,659	1,801	1,828	1,857	1,907	10,760	1,842	1,929	1,975	5,746
裸眼視力	1.0 未満 0.7 以上	194	161	167	187	141	145	995	171	182	187	540
	0.7 未満 0.3 以上	86	139	177	178	173	191	944	192	200	224	616
	0.3 未 満	10	23	47	60	74	71	285	77	111	95	283
眼	アレルギー性結膜炎	53	60	52	66	46	71	348	39	49	40	128
	結 膜 炎	16	21	23	17	30	16	123	33	41	20	94
	他 の 眼 疾 患	26	35	40	36	36	38	211	43	45	30	118
耳	難 聴 の 疑 い	48	33	26	7	25	1	140	15	6	24	45
	中 耳 炎	8	16	2	6	3	2	37	5	0	3	8
	他 の 耳 疾 患	44	105	35	24	106	20	334	97	21	16	134
鼻・咽喉	副 鼻 腔 炎	21	20	4	8	19	6	78	18	4	1	23
	扁 桃 肥 大	11	11	5	4	5	2	38	1	0	0	1
	鼻炎 (アレルギー含)	164	331	203	204	361	224	1,487	276	193	173	642
	他 の 鼻 ・ 咽 喉 疾 患	7	12	3	5	4	4	35	13	8	3	24
歯	う 歯 の な い 者	1,201	1,144	1,162	1,052	1,197	1,402	7,158	1,424	1,431	1,452	4,307
	処 置 完 了 者	159	253	283	365	313	248	1,621	248	239	178	665
	未処置歯保有者	267	244	298	304	224	154	1,491	101	88	104	293
	他 の 口 腔 疾 患	38	40	68	45	76	99	366	106	112	134	352
尿	蛋 白 陽 性	2	1	2	7	2	10	24	28	32	51	111
	潜 血 陽 性	8	6	5	4	4	5	32	7	5	5	17
	糖 陽 性	1	0	1	2	3	2	9	0	3	7	10
そ の 他	肥 満 傾 向	16	20	27	42	54	55	214	27	28	38	93
	脊 柱 側 わ ん	14	13	19	22	21	20	109	29	46	50	125
	その他の脊柱異常	0	0	0	4	1	2	7	3	2	4	9
	四 肢 の 異 常	15	12	5	11	13	8	64	16	27	19	62
	アトピー性皮膚炎	29	21	45	36	47	51	229	53	68	57	178
	他 の 皮 膚 疾 患	17	16	25	30	18	20	126	21	18	26	65
	心 臓 疾 患	26	9	13	13	16	13	90	25	29	32	86
	ぜ ん 息	60	66	53	43	33	44	299	39	37	18	94
	腎 臓 疾 患	1	1	3	0	0	3	8	2	2	4	8
	糖 尿 病	1	2	0	1	1	1	6	0	1	2	3
貧血 (中1・中2の一部は血液検査実施)	1	0	0	3	2	2	8	81	5	2	89	

IV 資料
第2 学校関係

(令和6年度)

女											性 別	区 分	
小 学 校							中 学 校				小・中別		受 検 者 数
6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計	年 齢		
1,616	1,694	1,805	1,691	1,733	1,806	10,345	1,834	1,832	1,767	5,433			
185	191	201	174	169	161	1,081	182	163	125	470	1.0 未満 0.7 以上	裸 眼 視 力	
94	120	181	151	200	225	971	190	172	143	505	0.7 未満 0.3 以上		
12	29	51	56	56	57	261	109	74	78	261	0.3 未 満		
41	33	42	34	48	40	238	22	22	20	64	アレルギー性結膜炎	眼	
20	10	16	12	20	14	92	14	20	20	54	結 膜 炎		
40	28	30	32	29	30	189	38	21	22	81	他 の 眼 疾 患		
63	22	38	5	18	8	154	17	15	14	46	難 聴 の 疑 い	耳	
6	9	4	1	4	1	25	2	8	1	11	中 耳 炎		
27	117	28	17	93	14	296	81	7	13	101	他 の 耳 疾 患		
3	2	5	0	4	1	15	3	1	1	5	副 鼻 腔 炎	鼻・ 咽 喉	
8	8	2	1	6	1	26	0	0	0	0	扁 桃 肥 大		
85	177	112	97	215	122	808	125	115	108	348	鼻 炎 (アレルギ-含)		
6	7	3	0	6	2	24	5	5	0	10	他 の 鼻 ・ 咽 喉 疾 患	歯	
1,203	1,208	1,119	1,045	1,194	1,374	7,143	1,391	1,272	1,187	3,850	う 歯 の な い 者		
135	202	334	310	268	215	1,464	267	277	238	782	処 置 完 了 者		
199	263	288	236	180	124	1,290	117	104	107	328	未 処 置 歯 保 有 者		
54	43	72	53	63	54	339	95	70	78	243	他 の 口 腔 疾 患		
6	8	4	12	18	18	66	18	34	18	70	蛋 白 陽 性	尿	
5	10	15	11	8	27	76	41	53	42	136	潜 血 陽 性		
0	1	0	1	2	4	8	0	4	2	6	糖 陽 性		
12	6	16	34	28	31	127	18	21	19	58	肥 満 傾 向	そ の 他	
4	12	15	20	17	22	90	32	44	70	146	脊 柱 側 わ ん		
0	1	0	3	4	0	8	2	1	0	3	そ の 他 の 脊 柱 異 常		
9	1	8	9	9	6	42	15	7	18	40	四 肢 の 異 常		
32	27	40	39	38	46	222	58	59	49	166	アトピー性皮膚炎		
21	29	23	13	21	23	130	21	19	22	62	他 の 皮 膚 疾 患		
20	23	11	11	12	8	85	29	35	32	96	心 臓 疾 患		
49	31	33	24	24	19	180	25	26	19	70	ぜ ん 息		
3	0	0	0	1	2	6	1	1	4	6	腎 臓 疾 患		
0	2	0	0	3	2	7	0	1	1	2	糖 尿 病		
1	1	0	1	0	2	5	129	41	8	178	貧 血		

4 学校事故

(日本スポーツ振興センター統計情報) 令和6年度

(1) 場所別事故発生件数

区分	学 校 内									学校外	合計
	校 舎 内					校 舎 外					
	教室	体育館	廊下	昇降口 階段	他	運動場 校庭	体育遊 戯施設	プール	他		
小学校	139	171	43	31	20	358	0	8	5	81	856
中学校	44	267	14	28	21	233	0	5	5	110	727
合計	183	438	57	59	41	591	0	13	10	191	1,583

(2) 場合別事故発生件数

区 分	各教科	特別活動	学校行事	課外指導	休憩時間	通学中	その他	合 計
小学校	241	92	34	100	336	53	0	856
中学校	264	47	56	265	74	21	0	727
合 計	505	139	90	365	410	74	0	1,583

(3) 月所別事故報告件数

区 分	小 学 校			中 学 校		
	発 生	継 続	計	発 生	継 続	計
4 月	77	44	121	57	70	127
5 月	54	60	114	28	34	62
6 月	69	34	103	50	57	107
7 月	101	43	144	87	77	164
8 月	81	52	133	55	54	109
9 月	16	11	27	29	19	48
10 月	46	46	92	63	78	141
11 月	76	46	122	71	50	121
12 月	86	37	123	68	49	117
1 月	68	38	106	49	48	97
2 月	100	75	175	93	92	185
3 月	82	44	126	77	42	119
計	856	530	1,386	727	670	1,397

IV 資料

第 2 学校関係

(4) 傷害別事故発生件数

区 分		挫創	骨折	捻挫	挫傷・打撲	その他	計
小学校	件数	69	256	100	287	144	856
	割合	8.06%	29.91%	11.68%	33.53%	16.82%	100.00%
中学校	件数	26	233	129	200	139	727
	割合	3.58%	32.05%	17.74%	27.51%	19.12%	100.00%
合 計	件数	95	489	229	487	283	1,583
	割合	6.00%	30.89%	14.47%	30.76%	17.88%	100.00%

(5) 体育的活動時の種目別事故発生件数

区 分	水 泳	体 操	器 械 操	陸 上	ド ッ ジ ボ ー ル	サ ッ カ ー	テ ニ ス	ソ フ ト ボ ー ル	野 球	ハ ン ド ボ ー ル	バ レ ー ボ ー ル	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	卓 球	柔 道	剣 道	他	合 計
小学校	7	0	66	38	10	13	0	18	0	0	28	50	1	0	0	53	284
中学校	3	0	39	78	4	52	15	6	24	23	63	110	5	9	7	58	496
合 計	10	0	105	116	14	65	15	24	24	23	91	160	6	9	7	111	780

(6) 学校医

区 分	人 員	区 分	人 員	区 分	人 員
内 科 医	50 人	耳 鼻 科 医	14 人	薬 剤 師	55 人
眼 科 医	18 人	歯 科 医	70 人		

5 学校保健

児童・生徒の平均体位

(令和6年度)

区 分	年 齢	性 別	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			岡 崎 市	(令 和 5 年 度) 愛 知 県	(令 和 5 年 度) 全 国	岡 崎 市	(令 和 5 年 度) 愛 知 県	(令 和 5 年 度) 全 国
小 学 校	6	男	116.9	116.4	116.9	20.8	21.3	21.6
		女	115.0	116.1	116.0	20.4	21.1	21.2
	7	男	122.0	122.6	123.0	23.5	24.1	24.5
		女	121.0	121.6	122.1	22.9	23.5	24.0
	8	男	128.0	127.9	128.6	27.1	27.2	27.8
		女	127.0	127.2	127.8	26.4	26.3	27.0
	9	男	133.4	133.8	134.1	30.5	31.0	31.4
		女	133.4	133.9	134.4	30.0	30.6	31.0
	10	男	138.7	138.9	139.6	34.2	34.7	35.3
		女	140.4	140.8	141.4	34.2	34.6	35.3
11	男	145.5	145.3	146.2	38.5	39.2	39.9	
	女	146.9	147.9	147.9	38.7	40.1	40.2	
中 学 校	12	男	152.6	153.0	154.2	44.2	44.5	45.8
		女	151.8	152.0	152.3	43.3	43.7	44.5
	13	男	159.7	160.3	161.1	49.3	49.9	50.6
		女	154.2	154.8	155.0	47.1	47.3	47.6
	14	男	165.4	165.6	166.0	54.7	55.0	54.9
		女	155.8	156.1	156.4	48.5	49.4	49.8

6 学校施設

(1) 令和6年度主要工事（実績）

区分	学 校 名	内 容
小学校	岡崎小学校、大樹寺小学校、根石小学校、美合小学校	校舎大規模改修
	連尺小学校	便所改修
	岩津小学校	受変電設備改修、校舎復旧
	大樹寺小学校	エレベーター設置
	愛宕小学校ほか6校	防犯カメラ設置
	男川小学校ほか9校	LED照明取替
中学校	甲山中学校、矢作中学校	校舎大規模改修
	甲山中学校	エレベーター設置
	葵中学校	給排水・消火設備改修
	福岡中学校、北中学校	便所改修
	新香山中学校	プールサイド改修
	北中学校	受変電設備改修
	甲山中学校ほか7校	LED照明取替

(2) 令和7年度主要工事（予定）

区分	学 校 名	内 容
小学校	根石小学校、美合小学校	校舎大規模改修
	美合小学校	エレベーター設置
	連尺小学校	給水設備改修、受変電設備改修
	竜谷小学校ほか9校	防犯カメラ設置
	美合小学校ほか11校	LED照明取替
中学校	矢作中学校、岩津中学校	校舎大規模改修
	矢作中学校、岩津中学校	エレベーター設置
	全20校	屋内運動場・柔剣道場空調設備等整備事業
	美川中学校ほか2校	LED照明取替

7 市立小学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	梅 園	M2.9	22-3566 (3567)	稲熊町四丁目 68 番地 1	444-0071	熊谷 清一	665	21
2	根 石	M5.5	22-3646 (3647)	欠町字石ヶ崎 1 番地 2	444-0011	稲垣 祐嗣	570	25
3	男 川	M6.4	22-1159 (1285)	大平町字中道 17 番地	444-0007	小田 幸子	561	31
4	美 合	M26.1	51-1020 (1019)	岡町字南石原 30 番地	444-0005	鈴木 正統	252	11
5	緑 丘	S50.4	51-5693 (5506)	美合町字沢渡 12 番地	444-0802	後田 和紀	669	29
6	羽 根	S10.5	51-1795 (1667)	羽根町字池脇 24 番地 2	444-0813	永井 利昌	699	29
7	岡 崎	M6.7	51-1252 (1315)	針崎町字フロ 1 番地	444-0827	松坂 禎文	768	28
8	六 名	S11.4	51-3536 (3537)	六名三丁目 2 番地 1	444-0856	青木 貴之	866	31
9	三 島	M6.3	51-0568 (0569)	明大寺町字池上 1 番地	444-0864	河合由起子	469	15
10	竜 美 丘	S51.4	52-1275 (1285)	竜美台一丁目 1 番地	444-0873	岩瀬 竜弥	636	25
11	連 尺	M4.2	22-6574 (6575)	城北町 4 番地	444-0064	長坂 博子	412	15
12	広 幡	M7.4	21-0610 (0717)	広幡町 11 番地 1	444-0066	清松 治子	524	49
13	井 田	S26.4	22-2146 (2197)	井田町字茨坪 4 番地 3	444-0077	深津 伸夫	1028	37
14	愛 宕	S31.4	22-4419 (4090)	伊賀町字愛宕山 1 番地	444-0075	小嶋 勝彦	150	12
15	福 岡	M6.9	51-9040 (9082)	福岡町字西市仲 3 番地	444-0825	堀場 雅夫	586	32
16	竜 谷	M25.	53-3865 (3129)	竜泉寺町字松本 34 番地 4	444-3524	手島 露子	118	4
17	藤 川	M5.	48-2029 (2334)	藤川町字西町北 44 番地	444-3523	佐橋 康仁	304	18
18	山 中	M13.9	48-2201 (2430)	舞木町字天神越 1 番地	444-3511	大久保孝治	218	11
19	本 宿	M25.10	48-2504 (3154)	本宿町字三本松入 14 番地 1	444-3505	山口 裕嗣	272	8
20	生 平	M38.4	47-2547 (2172)	生平町字鷺場 25 番地 1	444-3334	尾崎 智佳	40	6
21	秦 梨	M6.	47-2548 (2196)	秦梨町字世土田 2 番地	444-3343	山本 伸	30	3
22	常 磐 南	M6.4	46-2005 (2048)	田口町字岩本 12 番地 4	444-3172	林 幸康	135	3
23	常 磐 東	M25.10	46-2108 (2049)	米河内町字惣作 32 番地	444-3467	伊奈 良晃	34	1
24	常 磐	M6.3	46-2003 (4033)	滝町字入ノ谷 3 番地 4	444-3173	岡村 直美	167	11
25	恵 田	M7.4	45-2225 (2124)	恵田町字三月ヶ入 71 番地 1	444-2107	岡本 弘恵	37	4
26	奥 殿	M5.9	45-2207 (2349)	奥殿町字仲西 73 番地 2	444-2108	池田 芳浩	72	7
27	細 川	M4.	45-2701 (2713)	細川町字石田 45 番地	444-2149	石川 恒彦	596	45
28	岩 津	M6.2	45-2007 (2036)	岩津町字申堂 24 番地 2	444-2144	小林 憲	452	28
29	大 樹 寺	M6.12	22-1419 (6366)	鴨田町字広元 31 番地	444-2121	川本 祐二	591	24
30	大 門	S51.4	23-8709 (8704)	大門四丁目 4 番地 1	444-2135	紀平 高之	742	44
31	矢 作 東	T4.4	31-3233 (2610)	矢作町字切戸 28 番地	444-0943	鈴木 孝広	665	19
32	矢 作 北	M6.7	31-4574 (4579)	橋目町字西遠山 9 番地 2	444-0908	細井 鶴貴	762	45
33	矢 作 西	T13.4	31-3283 (8179)	宇頭町字長合 40 番地	444-0905	原田 真弓	256	15
34	矢 作 南	M5.12	31-2723 (2863)	大和町字西島 13 番地	444-0931	川端 啓介	731	32
35	六ツ美中部	M41.3	43-2260 (5490)	下青野町字井戸尻 71 番地	444-0244	川原場仁子	263	6

IV 資料

第2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
7,038	1,329	11,400	22,930	28	13	25×5	25×3	35.5	1	2	0		(1)	梅 園
6,100	1,295	12,554	30,202	25	16	25×5	25×2	32	1	1	0		①	根 石
4,792	785	10,739	21,426	25	9	25×5	25×2	32.5	1	1	1		①	男 川
4,568	787	8,025	16,076	14	13	25×5	25×2	20	1	1	0		(1)	美 合
6,288	790	9,411	26,915	29	17	25×5	25×2	37	1	1、①	0		①	緑 丘
5,831	773	16,088	23,752	31	11	25×5	25×2	40	1	2	0		1	羽 根
7,951	790	11,626	26,278	31	22	25×5	25×2	39.5	1	2	0		(1)	岡 崎
6,647	1,279	9,746	22,054	34	12	25×5	25×3	44.5	2	2	0		1	六 名
5,046	787	8,115	29,055	20	9	25×5	25×2	27.5	1	1	0		1	三 島
6,551	790	11,244	29,947	27	20	25×5	25×2	37.5	1	2	1		1	竜 美 丘
5,275	1,262	16,082	25,980	19	14	25×5	25×2	27	1	1	0		1	連 尺
5,745	790	12,024	22,726	29	12	25×5	25×2	37	1	2	0		1	広 幡
6,929	1,269	21,389	44,672	40	12	25×7	25×3	50	2	2	0		1(1)	井 田
3,998	1,263	11,678	25,920	11	13	25×5	25×2	12	1	1	0		1	愛 宕
5,708	832	16,277	31,791	27	9	25×5	25×2	34	1	1	0		1	福 岡
3,259	790	12,435	36,952	8	10	25×5	25×2	12	1	1	0		2	竜 谷
4,391	789	5,380	12,312	15	16	25×5	25×2	21	1	1	0		(1)	藤 川
3,741	590	8,631	12,564	14	11	25×5	25×1	22	1	1	0		1	山 中
5,664	790	10,820	40,611	14	24	25×5	25×2	22	1	①	0		(1)	本 宿
2,303	589	8,004	17,400	9	7	25×3	25×1	13	1	1	0		1	生 平
2,009	623	5,201	10,644	6	8	25×3	25×1	10	1	1	0		(1)	秦 梨
2,356	626	8,814	22,476	8	6	25×3	25×1	12	1	1	0		①	常 磐 南
2,341	634	8,502	26,568	7	7	25×3	25×2	11	1	1	0		(1)	常 磐 東
4,003	790	14,155	33,026	9	15	25×5	25×2	14	1	1	0		①	常 磐
2,533	626	10,117	19,498	8	7	25×3	25×1	12	1	1	0		①	恵 田
2,546	832	8,484	20,651	10	7	25×5	25×2	14	1	1	0		1	奥 殿
6,763	790	10,573	23,100	28	17	25×5	25×2	35.5	1	2	0		(1)	細 川
4,667	795	8,351	22,085	22	9	25×5	25×2	27	1	1	1		1	岩 津
6,926	1,399	8,120	20,147	25	16	25×5	25×2	33.5	1	1	0		(1)	大 樹 寺
5,935	790	10,996	23,471	33	12	25×5	25×2	41.5	1	2	1		1	大 門
5,577	792	10,189	18,857	26	11	25×5	25×2	36.5	1	1	0		1	矢 作 東
6,271	865	11,605	23,468	33	17	25×5	25×2	42.5	1	2	0		1	矢 作 北
4,357	803	8,783	19,375	14	8	25×5	25×2	20	1	1	1		①	矢 作 西
6,160	818	7,950	17,761	30	17	25×5	25×2	39.5	2	2	1		(1)	矢 作 南
3,743	790	9,749	18,955	13	10	25×5	25×2	19	1	1	1		1	六ツ美中部

IV 資 料

第 2 学校関係

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
36	六ツ美北部	M41.4	52-2257 (2268)	土井町字炭焼 2 番地	444-0204	堀田 史	654	24
37	六ツ美南部	M41.3	43-2105 (1370)	中島町字下井ノ上 9 番地 1	444-0226	山本 和代	590	26
38	城 南	S52.4	52-2913 (2423)	城南町一丁目 11 番地	444-0835	二村 久	356	25
39	上 地	S58.4	53-0501 (0506)	上地三丁目 31 番地	444-0823	柴田 泰枝	681	34
40	小 豆 坂	S59.4	54-1651 (1652)	戸崎町字藤狭 13 番地 5	444-0841	塚谷 保	470	30
41	北 野	S60.4	31-1112 (1113)	北野町字山下 1 番地 1	444-0951	本郷 一毅	495	19
42	六ツ美西部	H9.4	71-2971 (2973)	赤渋町字道本 33 番地	444-0241	浅野 博志	664	35
43	豊 富	M7.3	82-3073 (3713)	櫻山町字西之沢 3 番地	444-3622	加藤 環	176	5
44	夏 山	M7.8	82-3015 (3649)	夏山町字細田 7 番地 1	444-3621	村田 貴志	28	0
45	宮 崎	M6.	83-2260 (2270)	石原町字古城 9 番地	444-3601	都筑 香理	21	1
46	形 埜	M6.9	84-2002 (2003)	桜形町字中嶋 13 番地	444-3435	内田 雅之	38	4
47	下 山	M5.8	84-2204 (2209)	保久町字市場 16 番地	444-3442	平岩 文子	16	3
		(47 校)					19529	930

IV 資料

第2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
6,722	792	11,183	22,553	28	14	25×5	25×2	36.5	1	1	0		(1)	六ツ美北部
5,435	790	10,892	19,798	25	9	25×5	25×2	33	1	1	1		(1)	六ツ美南部
6,101	790	12,739	25,783	17	21	25×5	25×2	25	1	1	0		(1)	城 南
5,992	832	10,856	24,901	31	10	25×5	25×2	40	1	2	0		1	上 地
5,644	833	8,492	22,289	23	16	25×5	25×2	31	1	1	0		①	小 豆 坂
5,752	834	10,131	19,543	22	16	25×5	25×2	29.5	1	1	0		1	北 野
6,312	1,252	12,504	21,698	30	15	25×5	25×2	40	1	2	0		(1)	六ツ美西部
3,687	1,159	10,722	22,311	8	11	25×6	25×2	13.5	1	1	0		(1)	豊 富
1,841	684	4,746	11,096	3	11	25×3	なし	6	1	①	0		(1)	夏 山
1,815	986	5,961	12,051	5	8	25×4	25×1	9	1	1	0		①	宮 崎
1,820		9,351	17,854	6	8	25×5	25×2	10	1	1	0		(1)	形 埜
1,612	1,137	6,466	15,887	5	8	25×4	25×1	9	1	1	0		(1)	下 山
226,745	40,431	487,300	1,075,409	925	584			1246.5	50.0	58③	8	0	21⑩⑪	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を0.5人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

8 市立中学校概要

番号	校名	創立年月	電話 (FAX)	所在地	郵便番号	校長	生徒数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	甲山	S22.4	22-2664(2665)	中町字北野東 20 番地 1	444-0015	加藤 嘉一	731	16
2	美川	S22.4	21-1898(4688)	丸山町字ハサマ 4 番地 1	444-0006	石原 昌仁	514	25
3	南	S22.4	51-4664(4665)	戸崎町字野畔 8 番地 1	444-0840	岡 秀之	447	18
4	竜海	S22.4	51-4538(4539)	明大寺町字栗林 48 番地 1	444-0864	安藤 眞樹	1064	25
5	葵	S22.4	21-0171(0172)	伊賀新町 31 番地 1	444-0078	太田 幹也	691	32
6	城北	S36.4	21-8103(8104)	城北町 3 番地 1	444-0064	山本 則夫	473	19
7	福岡	S22.4	51-9057(9099)	福岡町字井杭 3 番地	444-0825	手島 英樹	452	10
8	東海	S22.4	48-2821(2822)	山綱町字中柴 51 番地	444-3513	長谷川勝一	442	9
9	河合	S22.4	47-2012(2023)	茅原沢町字上平 7 番地	444-3335	鈴木 淳司	54	3
10	常磐	S22.4	46-2028(2054)	滝町字山籠 109 番地	444-3173	近藤 善紀	244	3
11	岩津	S22.4	45-2022(2595)	東蔵前二丁目 36 番地	444-2145	丹下 義輝	393	14
12	矢作	S22.4	31-3808(3809)	暮戸町字蓮代 18 番地	444-0941	浅井 貞人	667	14
13	六ツ美	S22.4	43-2071(2398)	下青野町字井戸尻 72 番地	444-0244	兵藤 輝徳	453	7
14	矢作北	S56.4	31-3611(3612)	東大友町字筆屋 43 番地 1	444-0903	荒河 昌吾	864	16
15	新香山	S59.4	45-2026(7803)	桑原町字大沢 20 番地 86	444-2141	林 正彦	467	10
16	竜南	S61.4	54-4400(4401)	緑丘二丁目 17 番地	444-0806	竹平 真仁	572	10
17	北	S63.4	22-8740(8739)	上里一丁目 10 番地	444-2136	板倉 眞介	587	19
18	六ツ美北	H4.4	54-2431(2432)	井内町字六反 2 番地	444-0203	成田 隆行	789	25
19	額田	S47.4	82-3160(3283)	檜山町字原新田 88 番地	444-3622	夏目 弘之	158	9
20	翔南	H25.4	71-1122(1188)	針崎町字春咲 1 番地 2	444-0827	小田 英宣	708	21
		(20 校)					10770	305

IV 資料

第2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース) 標準	県費負担職員				市費職員		校名
				普通教室	特別教室		校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
8,761	1,399	15,103	37,634	25	21	25×7	49	1	2	0		1①	甲山
6,740	1,621	13,107	25,885	21	25	25×6	38.5	1	2	0		1	美川
8,009	1,621	13,600	26,523	17	28	25×7	32	1	1	0	(1)	1	南
8,946	1,966	17,968	44,794	35	20	25×6	65.5	2	2	0		①	竜海
6,678	1,384	23,033	52,852	25	16	50×8	46	1	2	0		1	葵
6,423	1,840	15,799	26,913	18	20	25×7	32	1	1	0	(1)	1	城北
6,325	1,707	19,043	32,136	17	15	25×7	30	1	1	1	(1)	①	福岡
7,027	1,586	15,535	29,562	15	27	25×7	28	1	2	1		①	東海
2,364	743	8,322	15,937	6	8	25×4	14	1	1	0		①	河合
4,421	1,929	9,601	17,450	10	11	25×5	19.5	1	1	0		1	常磐
5,188	1,883	18,740	30,117	16	15	25×7	28.5	1	1	1		1	岩津
7,435	1,493	20,831	34,766	22	21	25×7	30	1	2	0		①	矢作
7,183	850	15,770	28,839	15	23	25×7	39	1	1	0	(1)	①	六ツ美
7,579	870	15,992	28,439	29	20	25×7	27.5	2	2	1		1	矢作北
6,309	1,273	18,727	35,649	16	21	25×7	53	1	1	0	(1)	①	新香山
6,735	1,146	16,779	29,001	18	24	25×7	32	1	1	0	(1)	①	竜南
7,408	1,153	16,276	30,507	20	22	25×7	37.5	1	2	0	(1)	1	北
8,471	1,177	18,096	30,242	27	18	25×7	51	2	2	0		①	六ツ美北
5,769	3,362	20,479	53,031	8	25	25×7	16	1	1	0		①(1)	額田
8,028	1,510	17,026	31,584	24	18	25×7	45	1	2	0		①	翔南
135,799	30,513	329,827	641,861	384	398		714	23.0	29.0	4	(7)	9②(1)	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を0.5人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

9 児童生徒数一覽

区分	番号	学 校 名	1年					2年					3年							
			男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級
小	1	梅 園	51	6	46	1	104	4	68	2	39	0	109	4	50	3	42	2	97	3
	2	根 石	33	3	53	0	89	3	39	4	43	2	88	3	45	3	48	1	97	3
	3	男 川	50	3	47	0	100	4	42	2	45	1	90	3	63	2	49	3	117	4
	4	美 合	22	0	28	0	50	2	22	2	16	1	41	2	19	1	13	0	33	1
	5	緑 丘	52	7	47	2	108	4	62	7	58	2	129	4	57	4	55	1	117	4
	6	羽 根	55	3	52	1	111	4	67	1	63	2	133	5	58	4	69	2	133	4
	7	岡 崎	65	5	52	1	123	4	66	8	57	1	132	4	60	2	68	0	130	4
	8	六 名	73	7	62	1	143	5	68	5	73	1	147	5	66	3	74	2	145	4
	9	三 島	32	3	45	1	81	3	35	1	29	0	65	2	29	1	34	0	64	2
	10	童 美 丘	49	5	41	0	95	3	60	2	50	0	112	4	40	2	61	1	104	3
	11	連 尺	25	1	35	0	61	2	29	3	45	1	78	3	37	1	32	0	70	2
	12	広 幡	45	5	35	0	85	3	34	12	44	3	93	3	41	5	48	1	95	3
	13	井 田	69	7	68	0	144	5	77	3	75	5	160	5	91	8	97	1	197	6
	14	愛 宕	14	1	7	1	23	1	9	0	15	0	24	1	14	2	13	4	33	1
	15	福 岡	42	4	42	2	90	3	46	8	54	0	108	4	49	3	37	1	90	3
	16	竜 谷	10	0	15	1	26	1	7	0	8	0	15	1	11	1	6	0	18	1
	17	藤 川	28	3	26	1	58	2	32	1	17	2	52	2	17	3	27	1	48	2
	18	山 中	15	1	21	0	37	2	14	1	22	1	38	2	17	1	22	0	40	2
	19	本 宿	20	2	29	0	51	2	17	1	21	1	40	2	18	1	27	1	47	2
	20	生 平	2	0	3	0	5	1	2	3	3	0	8	1	3	0	2	0	5	1
	21	奏 梨	1	0	1	0	2	1	2	0	2	0	4	0	2	1	0	0	3	1
	22	常 磐 南	6	0	8	0	14	1	11	1	7	0	19	1	14	0	11	0	25	1
	23	常 磐 東	1	0	0	0	1	1	3	0	4	0	7	1	0	0	6	1	7	1
	24	常 磐 磐	13	1	14	0	28	1	10	2	7	1	20	1	18	3	17	0	38	1
	25	恵 田	3	0	2	0	5	1	3	0	2	0	5	1	3	1	4	0	8	0
	26	奥 殿	2	0	10	0	12	1	4	4	5	0	13	1	7	1	5	2	15	1
	27	細 川	32	5	36	2	75	3	45	9	36	1	91	3	43	5	51	1	100	3
	28	岩 津	27	3	33	1	64	2	31	5	37	2	75	3	37	5	42	2	86	3
	29	大 樹 寺	41	2	51	2	96	3	57	1	58	3	119	4	39	3	33	1	76	3
	30	大 門	55	7	45	2	109	4	57	7	67	1	132	4	59	4	64	2	129	4
	31	矢 作 東	61	2	51	1	115	4	63	4	53	1	121	4	49	1	72	2	124	4
	32	矢 作 北	63	4	56	2	125	4	64	7	63	2	136	4	48	8	65	0	121	4
	33	矢 作 西	16	0	13	1	30	1	21	2	14	0	37	2	21	2	26	0	49	2
	34	矢 作 南	59	2	63	2	126	4	57	4	52	1	114	4	51	5	73	1	130	4
	35	六ツ美中部	20	1	22	0	43	2	22	1	28	1	52	2	18	0	14	0	32	1
	36	六ツ美北部	48	7	56	1	112	4	48	6	54	2	110	4	58	0	53	0	111	4
	37	六ツ美南部	59	3	31	1	94	3	46	4	44	3	97	3	56	3	48	2	109	3
	38	城 南	30	0	25	0	55	2	25	0	34	0	59	2	32	4	23	3	62	2
	39	上 地	53	2	57	0	112	4	48	3	62	2	115	4	50	6	61	1	118	4
	40	小 豆 坂	30	3	34	1	68	2	37	3	44	1	85	3	41	6	35	1	83	3
	41	北 野	36	3	36	1	76	3	45	3	37	1	86	3	44	3	35	0	82	3
	42	六ツ美西部	53	6	44	0	103	4	54	3	57	1	115	4	54	1	55	7	117	4
	43	豊 富	11	0	13	0	24	1	13	0	15	0	28	1	14	1	16	0	31	1
	44	夏 山	1	0	2	0	3	1	1	0	1	0	2	0	3	0	3	0	6	1
	45	宮 崎	1	0	1	0	2	1	3	0	3	0	6	1	1	0	3	0	4	1
	46	形 埜	6	0	2	0	8	1	3	0	3	0	6	1	3	0	3	0	6	1
	47	下 山	1	1	0	0	2	1	0	0	2	0	2	0	3	0	2	0	5	1
	計	1,481	118	1,460	29	3,088	118	1,569	135	1,568	46	3,318	121	1,553	113	1,644	47	3,357	116	
中	1	甲 山	124	4	119	3	250	7	126	2	128	1	257	7	107	5	127	1	240	6
	2	美 川	96	4	71	4	175	5	88	3	80	5	176	5	89	6	90	3	188	5
	3	南	78	4	75	2	159	5	64	6	74	3	147	4	81	2	75	1	159	4
	4	竜 海	161	8	186	2	357	10	157	6	180	3	346	9	186	5	194	1	386	10
	5	葵	100	10	117	6	233	7	129	7	108	1	245	6	127	6	110	2	245	6
	6	城 北	72	1	77	6	156	5	79	2	75	1	157	4	84	5	86	4	179	5
	7	福 岡	70	1	74	4	149	5	95	3	76	1	175	5	65	0	72	1	138	4
	8	東 海	68	2	55	1	126	4	95	3	84	1	183	5	72	1	68	1	142	4
	9	河 合	7	0	8	0	15	1	12	1	7	0	20	1	9	1	11	1	22	1
	10	常 磐	49	2	36	1	88	3	45	0	36	0	81	3	49	0	29	0	78	2
	11	岩 津	63	3	70	1	137	4	63	4	62	1	130	4	74	3	61	2	140	4
	12	矢 作	97	1	114	1	213	7	106	6	127	1	240	6	105	2	118	3	228	6
	13	六ツ美	75	2	64	1	142	4	59	2	84	1	146	4	98	1	73	0	172	5
	14	矢 作 北	151	3	149	2	305	9	132	4	149	1	286	8	148	5	135	1	289	8
	15	新 香 山	78	3	69	1	151	5	65	4	95	0	164	4	80	2	80	0	162	4
	16	竜 南	98	2	89	0	189	6	96	2	95	0	193	5	109	5	85	1	200	5
	17	北	94	5	80	1	180	5	93	5	105	4	207	5	107	4	108	0	219	6
	18	六ツ美北	148	9	136	4	297	9	139	8	119	1	267	7	117	3	130	0	250	7
	19	額 田	27	1	27	0	55	2	29	2	16	2	49	2	32	2	27	2	63	2
	20	翔 南	128	6	117	2	253	7	105	3	101	4	213	6	123	6	134	0	263	7
	計	1,784	71	1,733	42	3,630	110	1,777	73	1,801	31	3,682	100	1,862	64	1,813	24	3,763	101	
	小・中 計	3,265	312	3,193	71	6,718	228	3,346	208	3,369	77	7,000	221	3,415	177	3,457	71	7,120	217	

IV 資料

第2 学校関係

(令和7年5月1日現在)

4年					5年					6年					特別支援			合計					
男	特	女	特	計	男	特	女	特	計	男	特	女	特	計	級	(計)	級	男	女	計	級		
50	3	69	0	122	4	65	2	56	1	124	4	61	1	68	0	130	4	21	5	362	324	686	28
39	2	53	2	96	3	52	2	56	0	110	4	47	3	62	3	115	4	25	5	272	323	595	25
47	4	43	2	96	3	49	4	42	3	98	3	38	4	46	3	91	3	31	5	308	284	592	25
17	0	27	0	44	2	19	1	27	2	49	2	21	3	21	1	46	2	11	3	127	136	263	14
60	3	64	0	127	4	56	0	50	2	108	4	57	1	51	0	109	4	29	5	366	332	698	29
59	5	57	2	123	4	50	7	60	0	117	4	58	2	51	0	111	4	29	6	369	359	728	31
66	1	66	1	134	4	48	1	70	4	123	4	82	4	68	0	154	5	28	6	408	388	796	31
73	1	77	0	151	5	69	5	74	2	150	5	76	4	81	0	161	5	31	5	450	447	897	34
48	3	41	0	92	3	48	4	46	0	98	3	38	2	44	0	84	3	15	4	244	240	484	20
53	2	58	1	114	4	73	4	47	3	127	4	51	3	53	2	109	3	25	6	344	317	661	27
39	2	36	2	79	3	37	2	34	1	74	3	33	1	30	1	65	2	15	4	210	217	427	19
60	5	47	3	115	4	37	8	45	2	92	3	41	4	47	1	93	3	49	10	297	276	573	29
74	3	103	0	180	6	88	4	84	2	178	5	107	2	95	2	206	6	37	7	533	532	1,065	40
11	3	16	0	30	1	8	1	16	0	25	1	16	0	11	0	27	1	12	2	79	83	162	8
55	4	65	1	125	4	48	1	49	2	100	3	38	3	61	3	105	3	32	7	301	317	618	27
10	0	11	0	21	1	3	1	11	0	15	1	18	0	8	1	27	1	4	2	61	61	122	8
33	4	27	0	64	2	19	1	22	0	42	2	35	1	21	1	58	2	18	3	177	145	322	15
14	3	23	0	40	2	21	3	12	1	37	1	22	0	15	0	37	2	11	3	112	117	229	14
16	1	27	0	44	2	34	1	19	0	54	2	22	0	22	0	44	2	8	2	133	147	280	14
4	1	6	0	11	1	5	2	3	0	10	1	6	0	1	0	7	1	6	3	28	18	46	9
1	0	3	0	4	0	3	0	5	0	8	1	4	1	6	1	12	1	3	2	15	18	33	6
12	1	10	0	23	1	14	0	17	0	31	1	14	1	11	0	26	1	3	2	74	64	138	8
3	0	5	0	8	1	3	0	4	0	7	1	4	0	1	0	5	1	1	1	14	21	35	7
11	0	18	1	30	1	13	1	18	0	32	1	12	2	16	0	30	1	11	3	86	92	178	9
1	0	3	0	4	1	6	2	2	1	11	1	5	0	3	0	8	1	4	3	24	17	41	8
6	0	7	0	13	1	8	0	5	0	13	1	5	0	8	0	13	1	7	4	37	42	79	10
55	5	47	2	109	3	68	7	57	2	134	4	66	5	60	1	132	4	45	8	345	296	641	28
39	5	28	1	73	2	43	0	48	0	91	3	45	4	42	0	91	3	28	6	244	236	480	22
54	5	55	1	115	4	53	1	41	2	97	3	67	3	42	0	112	4	24	4	326	289	615	25
68	7	75	1	151	5	64	5	55	4	128	4	60	2	73	2	137	4	44	8	395	391	786	33
55	3	52	0	110	4	53	0	51	2	106	3	56	3	49	0	108	3	19	4	350	334	684	26
78	4	66	4	152	5	62	8	62	4	136	4	67	1	68	1	137	4	45	8	414	393	807	33
25	3	22	0	50	2	20	3	27	1	51	2	25	2	26	1	54	2	15	3	140	131	271	14
68	2	64	4	138	4	57	5	61	1	124	4	63	4	63	1	131	4	32	6	377	386	763	30
27	1	30	2	60	2	18	0	10	0	28	1	25	0	29	0	54	2	6	3	133	136	269	13
51	3	52	1	107	3	58	1	52	0	111	4	64	3	60	0	127	4	24	5	347	331	678	28
56	3	52	1	112	4	44	2	46	3	95	3	60	0	48	1	109	4	26	5	336	280	616	25
33	3	30	2	68	2	35	4	27	2	68	2	31	5	31	2	69	2	25	5	202	179	381	17
58	6	61	0	125	4	72	4	52	1	129	4	52	7	55	2	116	4	34	7	361	354	715	31
37	4	23	2	66	2	49	3	38	0	90	3	47	4	55	2	108	3	30	7	264	236	500	23
44	0	59	1	104	3	48	2	33	2	85	3	41	3	37	0	81	3	19	4	272	242	514	22
57	6	55	4	122	4	71	3	64	1	139	4	56	1	44	2	103	3	35	7	365	334	699	30
18	2	15	0	35	1	16	1	16	0	33	1	20	0	9	1	30	1	5	2	96	85	181	8
0	0	5	0	5	0	1	0	3	0	4	1	3	0	5	0	8	0	0	0	9	19	28	3
3	0	1	0	4	0	2	1	1	0	4	1	0	0	2	0	2	0	1	1	11	11	22	5
1	1	4	0	6	0	3	1	5	0	9	1	2	2	3	0	7	0	4	2	22	20	42	6
3	0	1	0	4	0	2	0	0	0	2	1	2	2	0	0	4	0	3	2	14	5	19	5
1,692	114	1,759	41	3,606	121	1,715	108	1,623	51	3,497	121	1,763	93	1,702	35	3,593	120	930	205	10,454	10,005	20,459	922
				0						0						0		16	6	368	379	747	26
				0						0						0		25	6	286	253	539	21
				0						0						0		18	4	235	230	465	17
				0						0						0		25	6	523	566	1,089	35
				0						0						0		32	6	379	344	723	25
				0						0						0		19	4	243	249	492	18
				0						0						0		10	3	234	228	462	17
				0						0						0		9	2	241	210	451	15
				0						0						0		3	3	30	27	57	6
				0						0						0		3	2	145	102	247	10
				0						0						0		14	4	210	197	407	16
				0						0						0		14	3	317	364	681	22
				0						0						0		7	2	237	223	460	15
				0						0						0		16	4	443	437	880	29
				0						0						0		10	3	232	245	477	16
				0						0						0		10	2	312	270	582	18
				0						0						0		19	4	308	298	606	20
				0						0						0		25	4	424	390	814	27
				0						0						0		9	2	93	74	167	8
				0						0						0		21	4	371	358	729	24
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	305	74	5,631	5,444	11,075	385
1,692	114	1,759	41	3,606	121	1,715	108	1,623	51	3,497	121	1,763	93	1,702	35	3,593	120	1,235	279	16,085	15,449	31,534	1,307

10 市立小中学校以外の学校等(各種学校を除く)

(1) 研究機関

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	自然科学研究機構 (分子科学研究所・基礎生物学研究所・生理学研究所)	明大寺町字西郷中 38 番地	55-7000

(2) 小・中・養護・盲・聾学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	愛知教育大学附属岡崎小学校	六供町字八貫 15 番地	21-2237
〃	愛知教育大学附属岡崎中学校	明大寺町字栗林 1 番地	51-3637
〃	愛知教育大学附属特別支援学校	六供町字八貫 15 番地	21-7300
県 立	岡 崎 盲 学 校	竜美西一丁目 11 番地 5	51-1270
〃	岡 崎 聾 学 校	西阿知和町字御用田 1 番地 23	45-2830
〃	岡 崎 特 別 支 援 学 校	本宿町字古新田 78 番地	48-2601
〃	み あ い 特 別 支 援 学 校	美合町字並松 1 番地 51	57-0013

(3) 高等学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
県 立	岡 崎 高 等 学 校	明大寺町字伝馬 1 番地	51-0202
〃	岡 崎 北 高 等 学 校	石神町 17 番地 1	22-2536
〃	岡 崎 東 高 等 学 校	竜泉寺町字後山 27 番地	52-8911
〃	岡 崎 西 高 等 学 校	日名南町 7 番地	25-0751
〃	岩 津 高 等 学 校	東蔵前町字馬場 5 番地	45-2005
〃	岡 崎 工 科 高 等 学 校	羽根町字陣場 47 番地	51-1646
〃	岡 崎 商 業 高 等 学 校	栄町三丁目 76 番地	21-3599
私 立	人間環境大学附属岡崎高等学校	稲熊町字三丁目 110 番地	22-0274
〃	光ヶ丘女子高等学校	大西町字奥長入 52 番地	51-5651
〃	岡 崎 城 西 高 等 学 校	中園町字川成 98 番地	31-4165
〃	愛知産業大学三河高等学校	岡町字原山 12 番地 10	48-5211

IV 資 料

第 2 学校関係

(4) 大学・短期大学

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
私 立	愛 知 学 泉 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	愛 知 産 業 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-4511
〃	人 間 環 境 大 学	本宿町字上三本松 6 番地 2	48-7811
〃	岡 崎 女 子 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 学 泉 短 期 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	岡 崎 女 子 短 期 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 産 業 大 学 短 期 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-8282

(5) 認定こども園・幼稚園

設置区分	園 名	所 在 地	電話番号
市立	梅 園 こ ど も 園	梅園町字 2 丁目 6 番地 1	22-0469
〃	広 幡 こ ど も 園	広幡町 11 番地 4	21-3723
〃	矢 作 こ ど も 園	矢作町字西河原 49 番地	31-3536
私立	愛 隣 幼 稚 園	六供町字西茶臼 15 番地	21-2538
〃	嫩 幼 稚 園	魚町一丁目 8 番地	21-0708
〃	第 一 早 蕨 幼 稚 園	欠町字狐ヶ入 21 番地	22-1678
〃	第 二 早 蕨 幼 稚 園	洞町字八王子 10 番地 1	22-1923
〃	め ぐ み 幼 稚 園	羽根町字池下 57 番地 1	51-2322
〃	みそのマリア幼稚園	明大寺町字向山 2 番地 120	51-4046
〃	聖カタリナ幼稚園	大西町字奥長入 52 番地	51-7127
〃	竹 の 子 幼 稚 園	菘川町 3 丁目 6 番地 18	52-2554
〃	レオナ第一幼稚園	真伝町字鐘鑄 1 番地 5	24-4859
〃	レオナ第二幼稚園	西阿知和町字御用田 208 番地 5	45-2729
〃	あさひこ幼稚園	桑原町字大沢 29 番地 7	45-5300
〃	本 宿 幼 稚 園	本宿町字下トコフサ 1 番地 9	48-6973
〃	か お る 幼 稚 園	滝町字芳殿 80 番地	46-3251
〃	橋 目 幼 稚 園	橋目町字毘沙門 11 番地	32-2088
〃	た つ み 幼 稚 園	緑丘一丁目 2 番地 3	53-0250
〃	み や こ 幼 稚 園	上地町道ノ後 30	53-0161
〃	ま こ と 幼 稚 園	大門四丁目 5 番地 16	24-7988
〃	長 瀬 台 幼 稚 園	橋目町字割塚 3 番地 3	32-6721
〃	み や こ 第 二 幼 稚 園	宮地町字柳畑 58 番地 3	53-0039
〃	矢 作 白 鳥 幼 稚 園	東本郷町字川原田 39 番地	32-6810
〃	やはぎみやこ認定こども園	富永町字平田 10 番地 1	32-8100
〃	むつみみやこ幼稚園	野畑町字花ノ木原 50	72-4839

※ 市立幼稚園は、平成 29 年 4 月から幼保連携型認定こども園へ移行

第3 体育施設

1 市内体育施設

(令和5年度)

施設名	所在地	開設年月日	内 容
岡崎中央総合公園 総合体育館	高隆寺町峠1	H3.12.15	体育館 8,540㎡ 武道館 6,380㎡ 錬成道場 4,210㎡ エントランス 3,850㎡ エントランス棟 事務室 会議室 応接室 喫茶室 ロビー ホール 観客用エントランスホール 体育館棟 競技場 2,646㎡(63m×42m)移動 ステージ(2.4m×1.2m)49セット 観客席 固定 2,620席 移動収納 2,300席 ◎ バレーボール 4面 バスケットボール 3面 卓球 50台 バドミントン 12面 武道館棟 競技場 1,722㎡(42m×41m) ステージ(36m×8m) 観客席 固定 1,550席 移動収納 620席 ◎ 剣道 4面 柔道 4面 バレーボール 2面 バスケットボール 2面 錬成道場棟 第1錬成道場 客席 180席 ◎ 剣道 540㎡(18m×30m) 2面 第2錬成道場 客席 180席 ◎ 柔道 540㎡(18m×30m) 2面 トレーニングルーム ◎ トレーニング器具 31種 56台 ランニングコース 約120m
岡崎市体育館	六名本町7	S51.7.1	敷地 12,996㎡ 延床面積 13,256㎡ 競技場 2,524㎡ 剣道場 182㎡ 柔道場 182㎡ トレーニング室 187㎡ 会議室 食堂 観 客席 2,544席 駐車場 300台 ◎バレーボール 4面 バスケットボール 3面 ハンドボール 1 面 テニス 3面 卓球 30台 バドミントン 12面 体操競技 1式
岡崎市矢作体育館	宇頭町小藪49	S56.4.1	延床面積 1,186㎡ 競技場 651㎡ ◎バレーボール 1面(練習2面可能) バスケットボール 1面 バドミントン 3面 テニス 1面 卓球 10台
岡崎市井田体育館	伊賀新町10-3	H21.4.1	延床面積 516.6㎡ 競技場 400㎡ ◎バレーボール 1面 バドミントン 2面 卓球 8台
岡崎市六ツ美体育館	下青野町本郷 99-1	S60.4.29	延床面積 1,269.96㎡ 体育室 945㎡ 男・女更衣室各 16.96㎡ 談話室 27.79㎡ 器具庫 83.60㎡ ◎バレーボール 2面 バスケットボール 1面 テニス 1面 バドミントン 6面 卓球 10台
花園体育センター	桑原町大沢 20- 90	S62.8.1	(屋内運動場) 延床面積 1,188㎡ 体育室 864㎡ ミーティング室 40㎡ 男・女更衣室各 12.06㎡ ベビーホール 13.95㎡ 器具庫 108㎡ 事務室 13.95㎡ ロビー ◎バレーボール 2面 バドミントン 3面 バスケットボール 1 面 卓球 16台 (屋外運動場) 大広場 9,032㎡ 照明設備 ◎軟式野球 1面(兼ソフトボール 1面) 中広場 2,672㎡ ◎テニスコート(クレートコート) 2面
龍北総合運動場 軽運動室	真伝町亀山 12- 2	R2.7.5	(約16.5m×7m/約115㎡) ◎ヨガ 体操 ダンス

IV 資料

第3 体育施設

施設名	所在地	開設年月日	内 容
龍北総合運動場 陸上競技場	真伝町亀山12-2	R2.7.5	◎トラック(全天候舗装)8レーン(ホームストレッチは9レーン)
龍北総合運動場 サッカー・ラグビー場	真伝町亀山12-2	R1.12.1	◎サッカー1面 少年サッカー2面 ラグビー1面 人工芝
岡崎中央総合公園 運動広場	高隆寺町峠1	H7.4.1	敷地面積 17,900㎡ グラウンド面積 9,726㎡ ◎ソフトボール2面 サッカー、ラグビー1面 陸上競技場 200mトラック 照明設備 メタルハイドランプ64灯 平均照度 213Lx
龍北総合運動場 多目的運動場	真伝町亀山12-2	R2.7.5	◎サッカー(少年)1面 フットサル2面 グラウンドゴルフ ゲートボール
岡崎中央総合公園 多目的広場	高隆寺町峠1	H10.11.1	敷地面積 26,000㎡ ◎サッカー1面、ラグビー1面 移動式バックネット2組
岡崎中央総合公園 球技場	高隆寺町峠1	H17.4.29	グラウンド面積 16,000㎡ 本部管理棟 147㎡(本部室・更衣室・便所等) スタンド(1,500人収容) 土盛、芝 ◎軟式野球1面 ソフトボール2面 ゲートボール16面程度
境公園運動場	大門一丁目1	S48.2.1 (照明S54.9.15)	9,500㎡ ◎軟式野球2面(兼ソフトボール2面) サッカー1面 照明設備 1KW水銀灯94灯 940Wナトリウム灯36灯
明神橋公園運動場	上六名一丁目14	S55.4.1 (照明S55.4.17)	8,000㎡ ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面) 照明設備 1KW水銀灯60灯
日名公園運動場	日名南町13	S42.9.1 (照明S60.4.1)	7,000㎡ ◎ソフトボール1面 照明設備 1KW水銀灯56灯 600Wナトリウム灯32灯
六名公園運動場	六名本町8	S50.9.1 (照明S55.4.3)	13,400㎡ ◎ソフトボール2面(兼陸上競技200mトラック) サッカー1面 テニス練習場3~5人用(壁打ち) 照明設備 1KW水銀灯56灯(ソフトボール1面分)
梅園公園運動場	稲熊町六丁目135-1	H4.3.25	5,000㎡ ◎ソフトボール1面
美合公園運動場	美合町地蔵野1-4	S42.4.1	5,000㎡ ◎ソフトボール1面
みどり公園運動場	緑丘二丁目18	S59.4.1	6,084㎡ ◎ソフトボール1面
矢作公園運動場	中園町大縄1	H4.3.25	12,600㎡ ◎ソフトボール2面
井田公園運動場	井田新町10	S46.4.1	7,000㎡ ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面)
三百田公園運動場	大樹寺三丁目21	S51.4.1	8,000㎡ ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面)
堤下公園運動場	上里一丁目24	S54.6.1	8,500㎡ ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面)
東部運動場	桑谷町平田ヶ入25-3	S58.4.4	14,649㎡ ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面) 駐車場40台
美矢井橋 河川緑地運動場	高橋町地内矢作川 河川敷	S56.4.1 (S63.7.1)	23,363㎡ ◎ソフトボール5面(A、B、C、D、E面)
	上青野町地内矢作 川河川敷	S59.4.8	8,840㎡ ◎サッカー1面
	中之郷町地内矢作 川河川敷	S54.6.10	8,272㎡ ◎ソフトボール1面(大聖寺)
渡橋河川緑地運動場	渡町地内矢作川 河川敷	S55.11.1	7,759㎡ ◎ソフトボール2面(A、B面) ゲートボール場6面
	天白町地内矢作川 河川敷	H8.4.1	8,500㎡ ◎サッカー1面
日名橋河川 緑地運動場	触越町地内矢作川 河川敷	S57.10.1	5,860㎡ ◎子どもソフトボール1面 少年サッカー1面
額田運動場	南大須町トドメキ5	S63.4.1 (照明H4.8.27)	14,114㎡ ◎軟式野球1面(兼ソフトボール1面) 照明設備 1KW水銀灯108灯

IV 資料
第3 体育施設

施設名	所在地	開設年月日	内 容
龍北総合運動場 テニスコート	真伝町亀山12-2	R1.12.1	◎テニスコート8面 人工芝(砂入り ナイター施設あり)
岡崎中央総合公園 庭 球 場	高隆寺町峠1	H5.5.22	敷地面積 18,230㎡ クラブハウス センターコート 砂入人工芝 観客席 1,200人 ◎ 全天候 1面 一般コート 砂入人工芝 観客席 2,350人◎ 全天候 16面 練習コート 砂入人工芝 ◎ 全天候 2面 照明灯 53基
梅園公園庭球場	稲熊町六丁目 135-1	1コート H2.4.1 2コート H3.4.1	1,680㎡ ◎全天候型(砂入人工芝) 2面
緑丘テニスコート	緑丘一丁目2-9	S55.4.1	2,754㎡ ◎クレールコート3面
乙川テニスコート	板屋町290-1	H2.5.1	5,440㎡ ◎全天候型(ハードコート) 4面 ローラースケート場 900㎡
牧平公園庭球場	牧平町岩田3-35	S59.2.10	722㎡ ◎クレールコート1面 練習用壁打ちコート1面
中 伊 西 テニスコート	中伊西町坂口3-1	H10.2.13	1,994.40㎡ ◎全天候型(砂入人工芝) 1面 練習用壁打ちコート 1面 照明設備 1KW ハログン灯 10灯
岩津運動広場	岩津町東山18-1	S56.11.1	1,800㎡ ◎子どもソフトボール1面
大幡運動広場	大幡町一仏33-3	S59.4.1	7,951㎡ ◎ソフトボール1面
舞木運動広場	舞木町仏石10-1	S60.5.1	11,693㎡ ◎ソフトボール1面
奥殿運動広場	奥殿町仲西68-2	S61.4.27	8,252㎡ ◎ソフトボール1面
美合運動広場	岡町原山2	S61.10.26	12,820㎡ ◎ソフトボール1面
藤川運動広場	藤川町西大連筋1-2	H1.4.16	10,700㎡ ◎ソフトボール1面
六南あおみ野 (定国町運動広場)	定国町郷外41-1	H13.4.1	13,395㎡ ◎ソフトボール1面
岡崎中央総合公園 野球場(市民球場)	高隆寺町峠1	H3.5.18	グラウンド面積 14,536㎡ 収容人員 20,000人(内野 8,000人 外野 12,000人) スコアボード(3色LED表示) 照明灯基数 6基 平均照度 バッテリー間 2,000Lx 内野 1,500Lx 外野 750Lx
龍北総合運動場 野 球 場	真伝町亀山12-2	R2.7.5	両翼 99.1m・中堅 122.0m(野球) 両翼・中堅 68.58m(ソフトボール) 硬式野球2面 軟式野球2面 ソフトボール 2面
岡崎中央総合公園 弓 道 場	高隆寺町峠1	H6.4.16	敷地面積 9,800㎡ 鉄骨造平家建 延床面積 1,525.38㎡ 射場 近的(距離28m) 12人立 遠的(距離60m) 6人立 主要室面積 近的射場 250.00㎡ 遠的射場 130.00㎡ 巻わら室 84.00㎡ 研修室 80.00㎡ 控室、更衣室、便所、倉庫等 981.38㎡
岡崎中央総合公園 相撲場	高隆寺町峠1	H6.4.16	鉄骨造平家建 延床面積 121.00㎡ 付属設備 更衣室 便所 練習土俵 放送設備
龍北総合運動場 アーチェリー場	真伝町亀山12-2	R1.6.1	シューティングライン 30m 50m 70m (20の設置可能)
岡崎中央総合公園 アーチェリー場	高隆寺町峠1	H8.5.1	敷地面積 1,422㎡ 鉄骨造一部2階建 延床面積 262.92㎡ 競技場 30m 標の数12個 50m 標の数6個(弓道遠的の共用) 主要室面積 クラブハウス 106.01㎡ 射場 112.80㎡ 的場 42.30㎡
藤川射撃場	藤川町堤ヶ入1-35	S35	4,500㎡ クレー射台15台 休憩室
羽根乗馬場	羽根町小豆坂107	S29	4,158㎡
カヌー練習場	桑原町嶋崎5-1	S45.12.3	艇庫 247㎡ カヌーカヤック(9艇) カヌーボロカヤック(5艇) カヌーカナディアン(5艇)(桑原町地内 巴川 水路巾40m 長さ1km)
グライダー練習場	八帖南町地内矢作川 河川敷	S48.4.1	初級機1機 中級機1機 上級機1機 ウインチ車2台 トレーラー3台
グライダー練習場	八帖南町地内矢作川 河川敷	S48.4.1	初級機1機 中級機1機 上級機1機 ウインチ車2台 トレーラー3台

IV 資料

第3 体育施設

乙川河川敷ローラースポーツ場	板屋町 290 番地 1	H2. 5. 1 R2. 3. 6 (リニューアルオープン)	敷地 500 m ²
渡橋河川緑地ゲートボール場	渡町地内 矢作川河川敷(右岸)	S55. 11. 1	6 面
大門河川緑地マレットゴルフコース	上里 1 丁目 大門河川緑地(左岸)	R6. 4. 11	2 コース 36 ホール

2 利用状況

(1) 岡崎市体育館

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
競 技 場	1, 247	91, 798	1, 286	91, 504	1, 269	86, 985
柔 剣 道 場	721	16, 441	797	16, 187	936	18, 066
トレーニング室	—	21, 686	—	21, 778	—	24, 319
会 議 室	298	8, 052	291	7, 822	334	7, 541
個 人 利 用	—	—	—	—	124	1, 027
合 計	2, 266	137, 977	2, 374	137, 291	2, 663	137, 938

(2) 矢作体育館

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	669	13, 110	736	14, 926	720	15, 506
個 人 利 用			4	10	8	23

(3) 井田体育館

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	1, 169	14, 591	1, 094	14, 360	1, 079	14, 109
個 人 利 用	3	8	2	6	3	12

(4) 六ツ美体育館（旧勤労者体育センター）

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	1, 062	22, 566	1, 169	25, 683	1, 190	25, 513

(5) 花園体育センター

区 分	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	965	18, 660	974	18, 222	1, 190	20, 554

IV 資料

第3 体育施設

(6) 運動場

区 分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園	923	20,247	776	18,954		
境 公 園	637	46,096	681	48,726	708	51,584
明神橋公園	443	9,073	484	8,223	485	10,870
日名公園	308	8,909	321	7,673	341	12,914
六名公園	1,117	55,633	1,328	62,850	1,371	57,530
梅園公園	370	10,638	363	9,444	334	12,719
美合公園	419	16,407	415	16,467	411	20,018
みどり公園	582	17,473	544	16,171	596	20,485
矢作公園	1,440	83,542	1,518	83,756	1,549	92,462
井田公園	630	32,464	703	34,517	484	24,683
三百田公園	441	17,305	476	18,025	463	15,333
堤下公園	283	15,795	260	17,198	350	17,426
東 部	591	40,755	622	40,590	606	49,092
美矢井橋河川緑地 (ソフト)	864	72,082	938	76,462	1,160	89,781
美矢井橋河川緑地 (サッカー)	205	27,170	206	28,358	222	13,793
美矢井橋河川緑地 (大聖寺)	456	11,130	399	10,281	350	13,283
渡橋河川緑地 (右岸)	571	35,136	580	34,884	673	61,968
渡橋河川緑地 (左岸)	170	40,915	163	34,660	196	16,260
日名橋河川緑地	321	21,064	293	20,724	278	18,494
花園体育センター	572	19,388	602	17,536	523	17,012
額 田	239	14,479	268	17,536	272	15,225
合 計	11,582	615,701	11,940	622,984	11,372	630,932

(7) 運動広場

区 分		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
学区運動広場	岩 津	7	184	37	252	111	900
	大 幡	680	12,825	454	5,452	424	4,872
	舞 木	636	11,457	638	11,711	693	14,270
	奥 殿	165	2,844	320	7,091	269	5,852
	美 合	663	13,072	508	10,118	722	14,535
	藤 川	310	6,385	290	5,736	302	5,792
	六南あおみ野	1,199	66,184	1,192	68,639	907	66,830
	常 磐 南	28	560				
河川敷運動広場	天 神 橋	173	4,735				
合 計		3,861	118,246	3,439	108,999	3,428	113,051

(8) 庭球場

区 分		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園		3,104	12,392	3,110	11,901		
梅 園 公 園		3,186	19,146	3,196	18,797	3,131	18,305
緑 丘		4,744	25,144	4,473	23,554	4,299	22,219
乙川河川敷		1,869	8,355	1,580	6,843	2,255	14,629
牧 平 公 園		1,084	6,456	1,185	6,518	1,146	7,186
中 伊 西		2,087	10,712	1,841	9,493	1,899	9,638
花 園		1,052	4,303	1,139	4,001	1,081	4,168
合 計		17,126	86,508	16,524	81,107	13,811	76,145

令和 7 年 9 月発行

教育要覧(令和7年度)

編集・発行 **岡 崎 市 教 育 委 員 会**

〒444-8601

岡崎市十王町二丁目9番地

担 当：教育委員会事務局教育政策課

電 話：(0564)23-6419

F A X：(0564)23-6558
